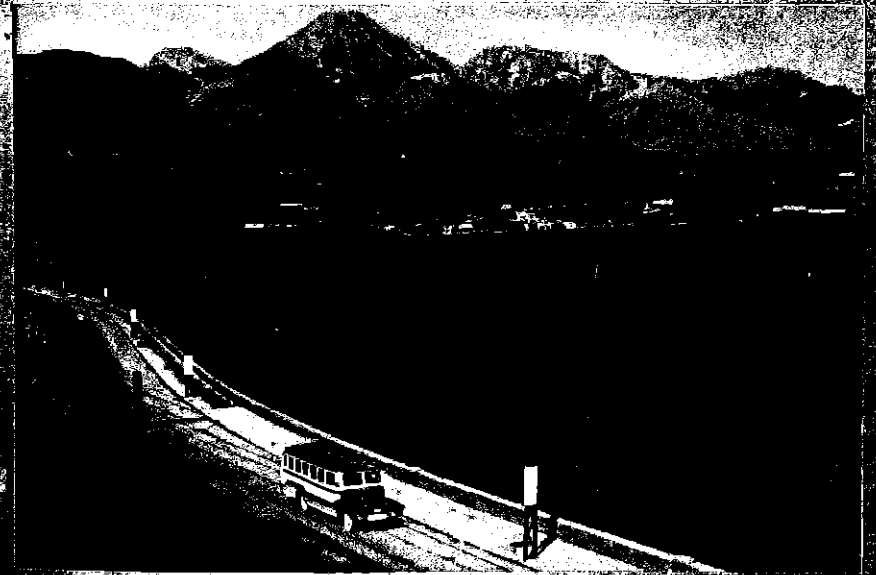


市制 30 周年記念

市勢要覽

1954



別府市



記念

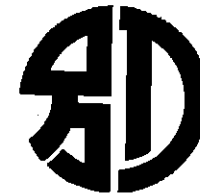
市

府

市制30周年記念

市勢要覽

昭和28年版



別府市

まえがき

本要覽は別府市の概要を知る便に供せんが爲に編纂したもので主として昭和27年度の資料に基き集録したが調査の関係上これと異なるものは調査期日を略記した。

又市役所主管以外と雖も必要と認めたるものは努めて集録した。尙多忙の間に編纂したので各部門に亘り不充分で改善の点があると思ふが逐次整備を加へたいと思ふ。

本書がいささかなりとも市勢の一般を紹介するに役立つならば誠に幸である。

昭和29年3月

別府市役所



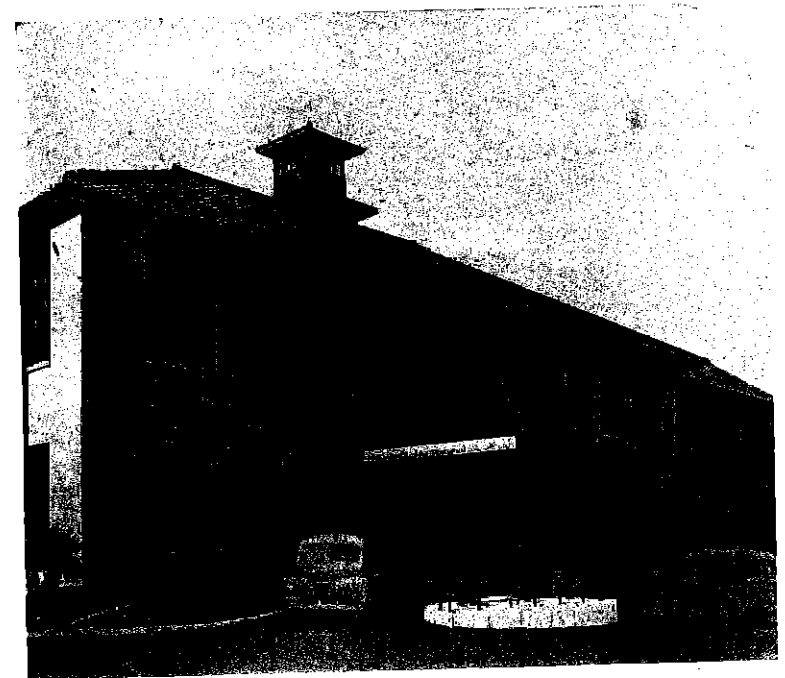
市長 脇 鉄一



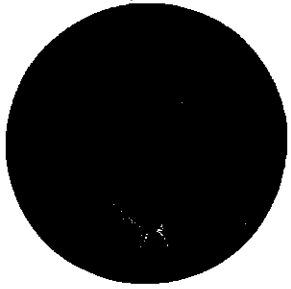
助 役 河 村 友 吉



收入 役 山 田 耕 平



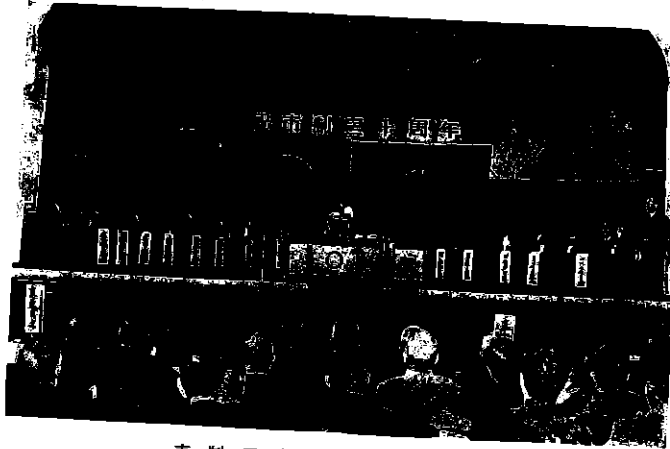
市 庁 舎



市議会議長 平野 国松



市議会議長 永井 正

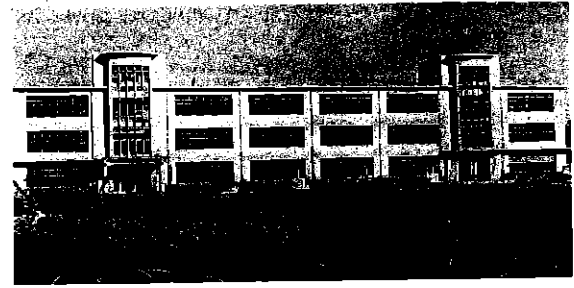


市制三十周年記念式典

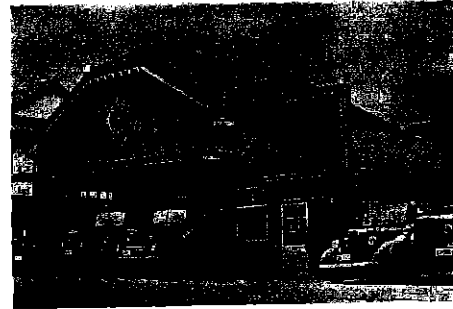
Faint, illegible text, likely a commemorative message or report.

市制30周年を迎えて 伸びゆく別府市

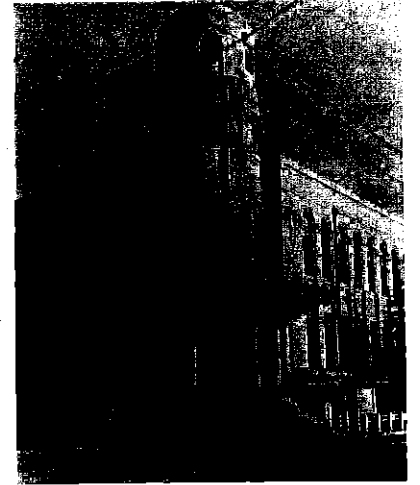




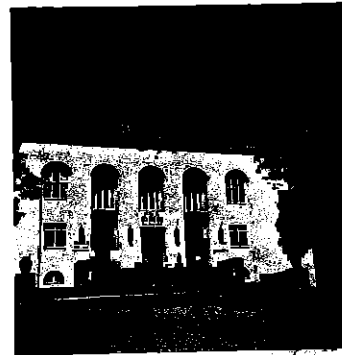
モデルスクール青山中学校



市消防署



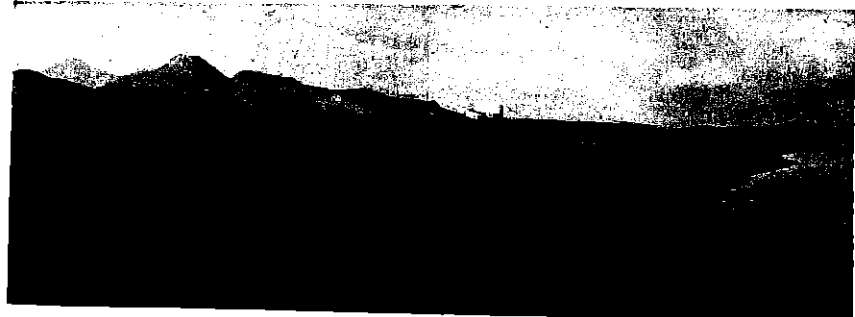
市警察署



別府市公民館



浜脇記念公園



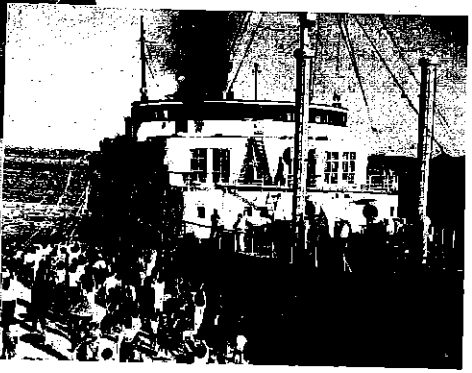
— 別 府 —



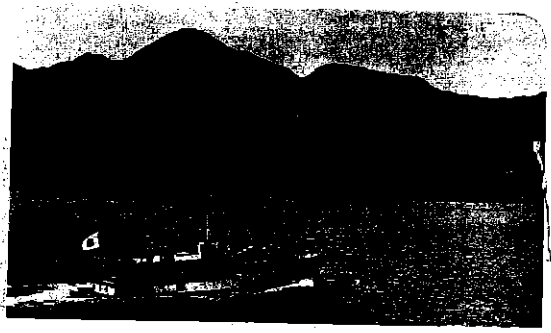
ケーブル楽天地展望台より高崎山を望む



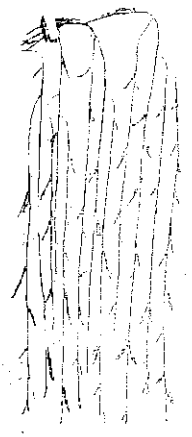
別 府 驛



関西汽船 別府棧橋



別府灣遊覧船 第一かもめ丸



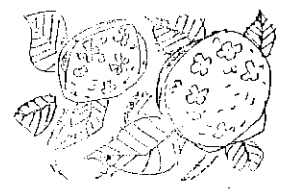
新装なつた 楠銀天街



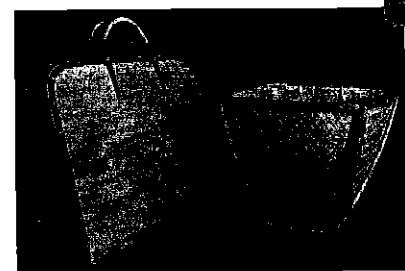
別 府 の 夜 景



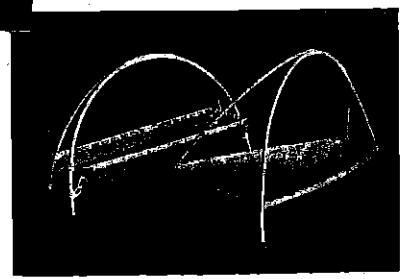
— 別府温泉しぼり —

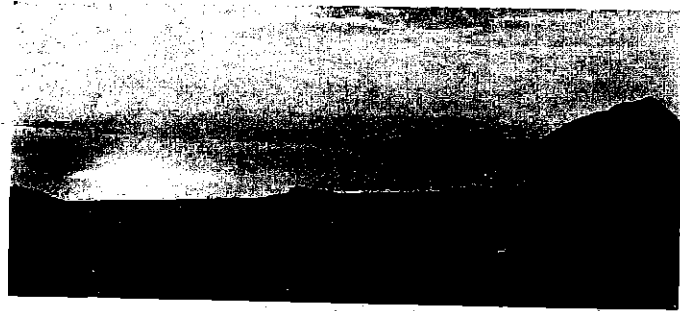


民 藝 竹 製 品



“ おみやげ品 ”





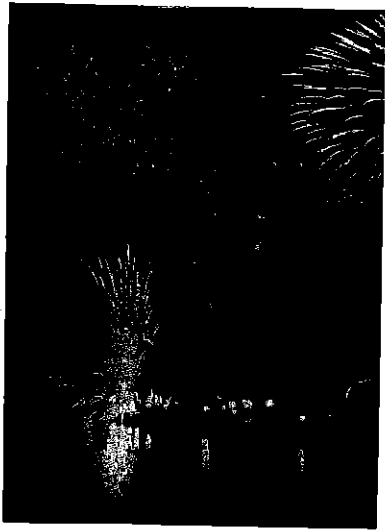
別府湾の遠望



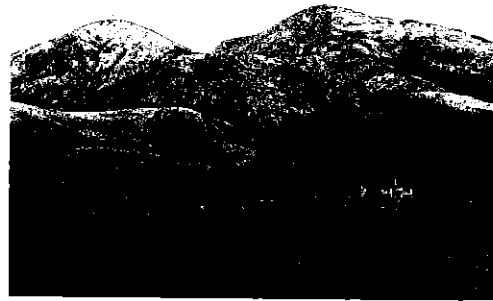
地獄の遠望



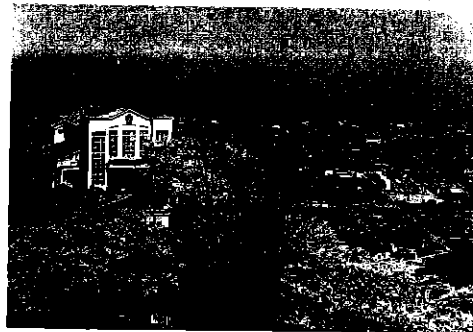
十万地獄



納涼花火大会



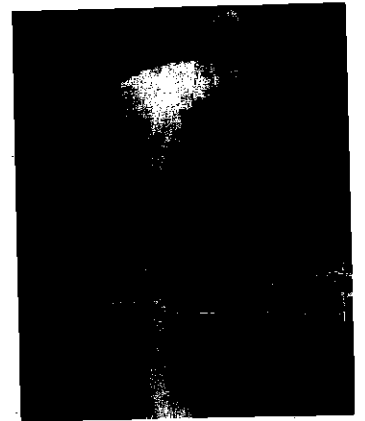
城島高原



樂天地より市内を望む



血の池地獄



海地獄



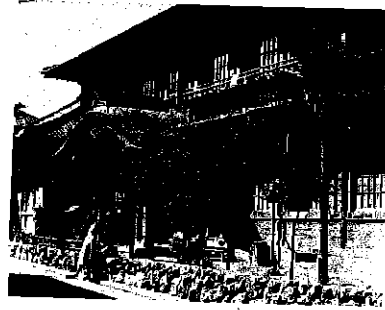
由布岳を望む
城島高原より



明樂温泉場



天然砂湯

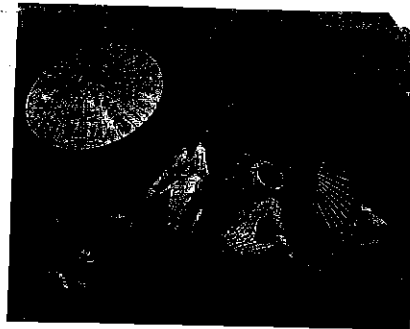


竹瓦温泉

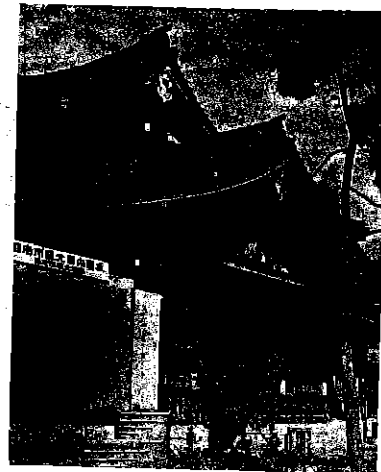
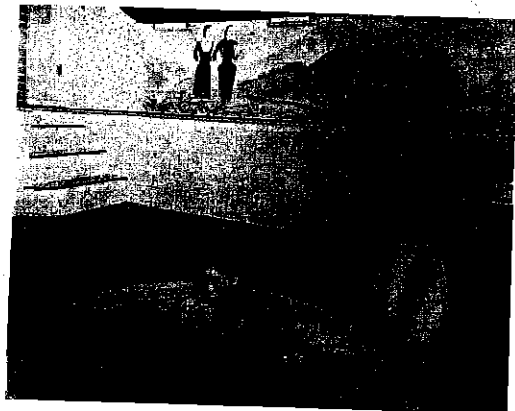


北浜海岸天然砂湯

波の音と潮の香に包まれて



亀川海岸天然砂湯



霊潮泉

昭和28年度
一般会計当初予算



歳入
460,238千円

歳出
460,238千円

国庫支出金 20.40%

国庫交付金 16.73%

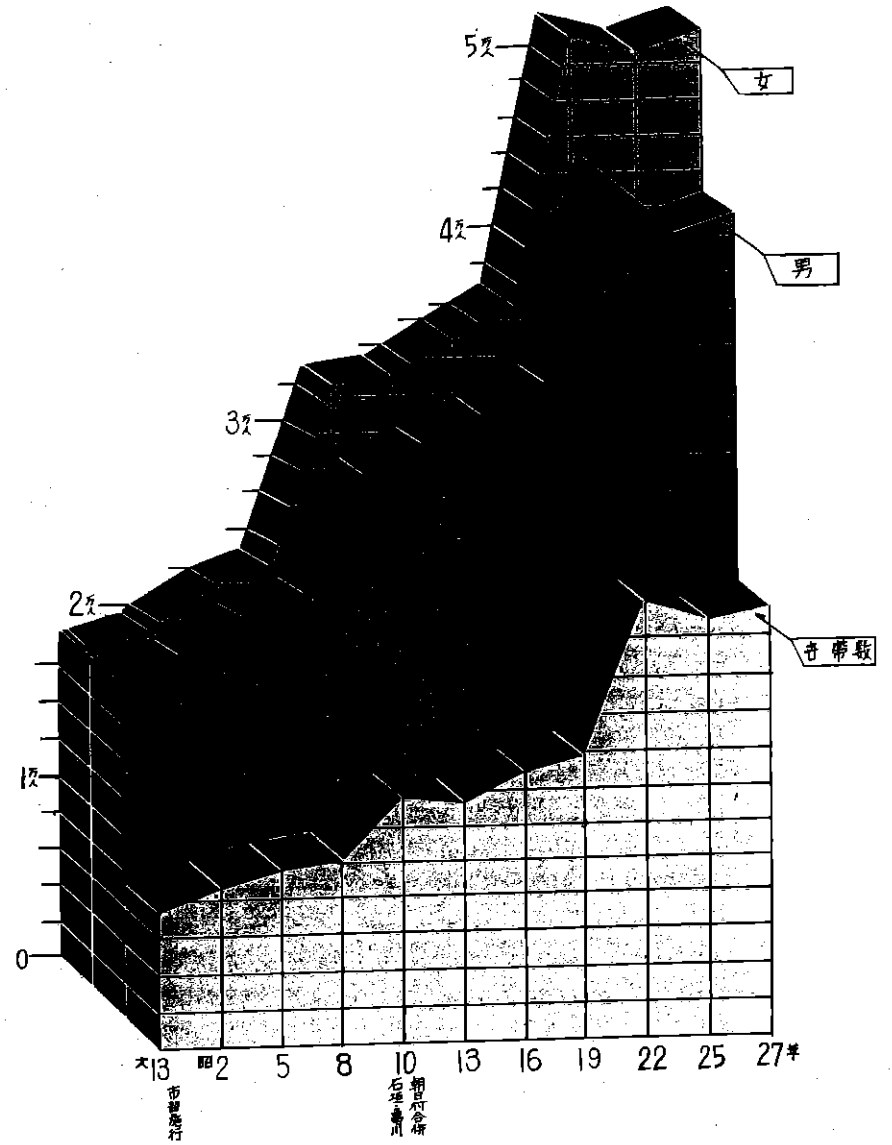
其の他 4.31%

警察消防費 14.54%

教育費 12.55%

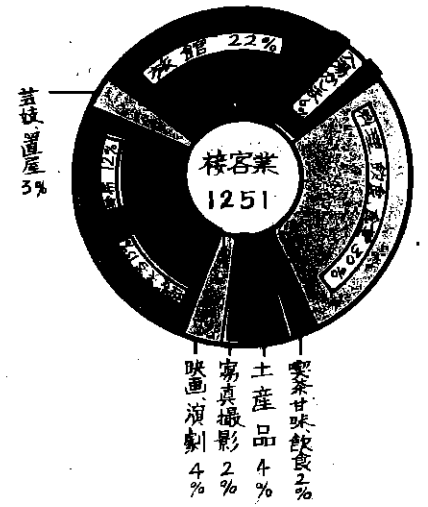
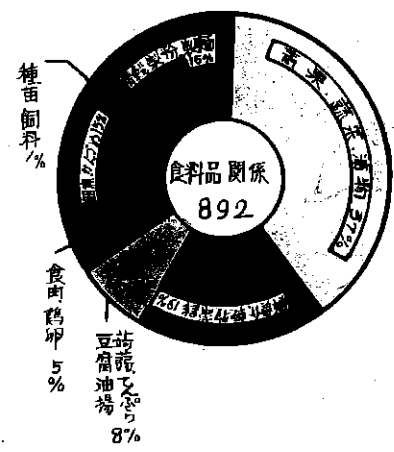
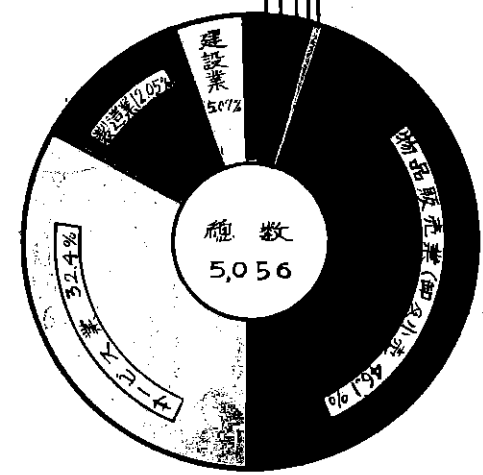
其の他 15.44%

人口動態の推移

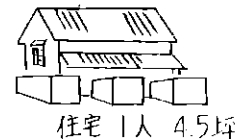
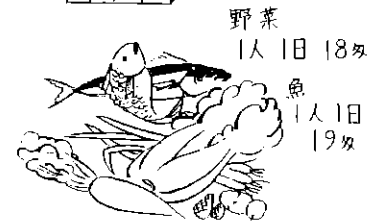
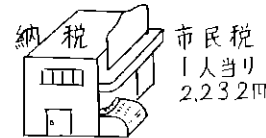
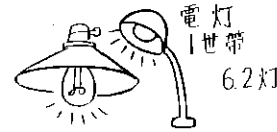
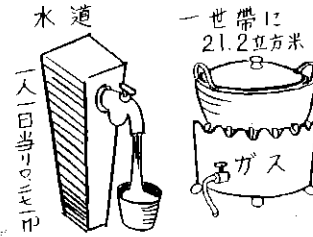
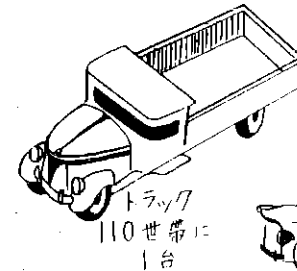
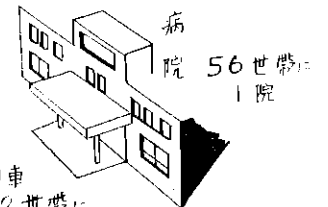
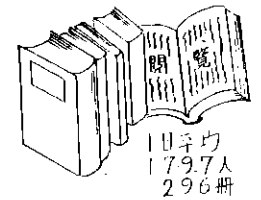
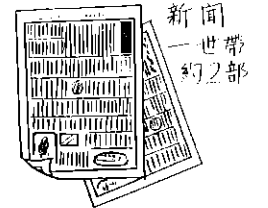
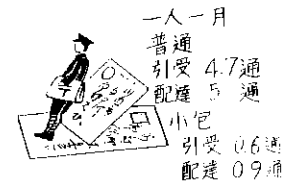
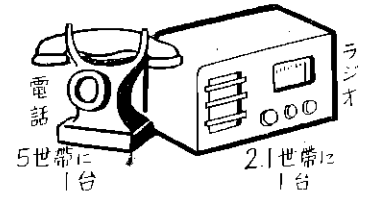


年	月	日	100	90	80	70	60	50	40	30	20	10	%	選舉の種類
21	4	10												衆議院議員選挙
22	4	5												大分県知事選挙
"	"	"												別府市長選挙
"	"	20												参議院全国地方 選出議員選挙
"	"	25												衆議院議員選挙
"	"	30												大分県議会 議員選挙
"	"	"												別府市議会 議員選挙
23	10	5												大分県教育 委員会委員選挙
24	1	23												衆議院議員選挙
"	"	"												最高裁判所裁判官 国民審査
25	6	4												参議院全国地方 選出議員選挙
"	"	15												別府回教長老選挙 及別府回教婦人選挙
"	11	10												大分県教育 委員会委員選挙
26	2	20												別府市議会 議員選挙
"	4	23												別府市長選挙
"	"	30												大分県知事選挙
"	"	"												大分県議会 議員選挙
27	10	1												衆議院議員選挙
"	"	"												最高裁判所裁判官 国民審査
"	"	5												大分県教育委員会 委員選挙
"	"	"												別府市教育委員会 委員選挙
"	"	"												別府市議会議員 補欠選挙
28	4	19												衆議院議員選挙
"	"	24												参議院全国地方 選出議員選挙

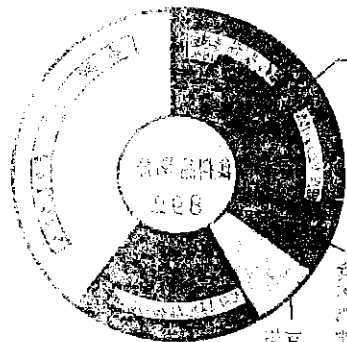
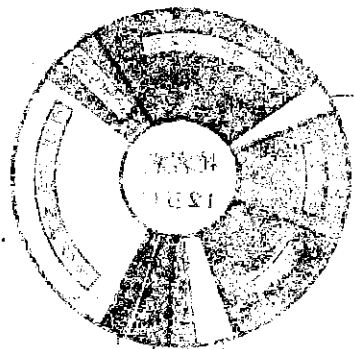
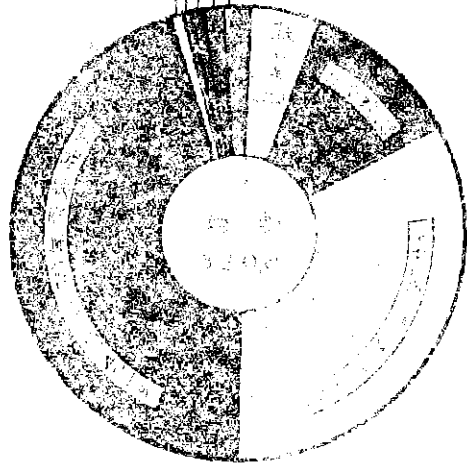
金融及保険業 1.14%
 運輸通信及その公益事業 2.42%
 不動産業 0.3%
 鉱業 0.03%
 非金属鉱業 0.03%



正しい統計 明るい政治 市民生活



昭和二十一年
人口 1,000,000人
世帯数 250,000世帯



昭和二十一年
人口 1,000,000人
世帯数 250,000世帯

—— 別府市勢要覽目次 ——

第 1 編 經 說

1 地 勢	1	
2 沿 岸	1	
3 土 地	2	
イ. 市庁位置	ロ. 面積及広袤	ハ. 山嶽
ニ. 河川	ホ. 池沼	ヘ. 瀧
ト. 官民有地	チ. 民有有租地細別	
4 家 屋	3	
イ. 家屋		
5 氣 象	4	
イ. 氣温	ロ. 天氣	ハ. 氣象細別

第 2 編 人 口

1 人口靜態	5	
イ. 年度別人口趨勢	ロ. 校區別世帯人口面積	ハ. 行政区別人口・世帯数及び面積
ニ. 國籍別人口		
2 人口動態	9	
イ. 人口動態	ロ. 年次別人口動態	
3 都市別人口	10	

第 3 編 行 政

1 執行機關	11	
1. 市長		
イ. 歷代市長		
2. 補助機關		
ロ. 歷代助役	ハ. 歷代收入役	ニ. 機構
ホ. 市職員数	ヘ. 配置	
2 議決機關	14	
イ. 機構	ロ. 歷代市議會議長	ハ. 歷代市議會副議長
ニ. 市議會開會数及議決件数	ホ. 市職會議員	ヘ. 歷代市議會議員
3 選挙管理委員會	17	
イ. 選挙管理委員會及び職員数	ロ. 選挙管理委員	ハ. 各選挙別投票結果
ニ. 各学校区別有権者数		

4 公平委員會	17	
イ. 公平委員		
5 固定資産評価審査委員會	18	
イ. 固定資産評価審査委員		
6 農業委員會	18	
イ. 委員會別議席並開會回数	ロ. 委員會別取上げ数	ハ. 農業委員

第 4 編 財 政

1 一般会計年次別比較(歳入歳出)	19	
2 一般会計歳入歳出予算	20	
イ. 歳入	ロ. 歳出	
3 特別会計歳入歳出予算	21	
イ. 水道費	ロ. 競輪事業費	ハ. 歳入
ニ. 歳出		
4 諸 税	22	
イ. 負担状況	ロ. 市税目別税率	ハ. 市税徴収状況
5 市有財産	23	
イ. 基本財産及び積立金	ロ. 土地	ハ. 建物
ニ. 市有林		
6 別府競輪	24	
イ. 競輪場	ロ. 月別取券売上高	

第 5 編 教 育

1 教育委員會	25	
イ. 機構	ロ. 委員及び職員数	ハ. 委員
ニ. 教育費(歳入)	ホ. 教育費(歳出)	
2 学校教育	26	
イ. 幼稚園	ロ. 小学校	ハ. 中学校
ニ. 高等学校	ホ. 大専科	ヘ. 各種学校
ト. 校地及び校舎	チ. 学校施設状況	リ. 建築経過年数別坪数
ニ. 校舎坪数	ル. 校地坪数	ヲ. 中学校卒業生就業状況

- A 昭和27年度卒業者
- B 就職者の産業別
- C 就職者の職種別
- D 学校所在地及び学校長名
 - A 幼稚園 B 小学校 C 中学校
 - D 高等学校 E 大学校 F 各種学校

3 社会教育 30

- イ. 公民館
 - A 機構 B 分館設置委員職員数
 - C 活用状況 D 社会教育委員
 - E 公民館運営審議会委員
- ロ. 図書館
 - A 年次別蔵書数 B 年次別閲覧冊数
 - C 月別閲覧冊別 D 業種別閲覧人員

第6編 公安

1 司法 33

- イ. 別府簡易裁判所
 - A 職員 B 民事案件
 - C 刑事案件 D 利息請求
- ロ. 別府区検察庁
 - A 職員 B 事件取扱件数
 - C 略式請求罪名別件数 D 特別法犯
 - E 刑法犯
- ハ. 大分地方法務局別府出張所
 - A 職員 B 登記事件甲号
 - C 登記事件乙号 D 供託事件

2 警察 35

- イ. 公安委員
 - ロ. 警察検察
- ハ. 派出所及び駐在所数
 - ニ. 職員数
- ホ. 犯罪発生及検挙件数
 - ヘ. 交通事故
- ト. 自殺者
 - チ. 警察取締費業

3 消防 37

- イ. 消防機関
 - ロ. 消防本部及び消防警備員数
- ハ. 消防団員数
 - ニ. 消防団現勢及び施設
- ホ. 火災発生件数及び損害額
 - ヘ. 水利
 - ト. 建築的意件数

第7編 産業

1 全産業 39

イ. 業種別

2 商業 40

- イ. 業種別店舗数及従業者数
 - ロ. 経営別(個人)
 - ヘ. 経営別(法人)
 - ニ. 組織別店舗数従業者数及び売上額

3 工業 41

- イ. 産業分類別、事業所、従業者数
 - ロ. 組織別、工場数、従業者数

4 農業 42

- イ. 農家及び農家人口
 - ロ. 耕地面積
- ハ. 畜力及び機械力使用の状況
 - ニ. 経営耕地面積別農家数
- ホ. 専業兼業及び自小作別農家数
 - ヘ. しつとらうい. 茶收穫高
 - ト. 農作物收穫高

5 林業 44

- イ. 林業者
 - ロ. 造林面積
- ハ. 公私有林伐採数

6 畜産業 45

- イ. 家畜飼養頭数
 - ロ. 乳及び卵生産高
 - ハ. 畜産品生産高

7 水産業 45

- イ. 漁業者及び漁船数
 - ロ. 漁網数
- ハ. 漁具数
 - ニ. 月別漁獲高

第8編 金融

1 金融機関 47

- イ. 金融機関

2 銀行及び信用金庫業務 47

- イ. 銀行及び信用金庫預金
 - ロ. 銀行及び信用金庫貸付

3 相互銀行業務 48

- イ. 相互銀行協定

4 郵便局業務 49

- イ. 貯金振替貯金爲替
 - ロ. 簡易保険(その1)
 - ハ. 簡易保険(その2)

5 農協協同組合業務 50

- イ. 農協協同組合協定

第9編 市民経済

1 生計 51

- イ. 主要食糧(米穀)配給数量
 - ロ. 家庭用主要食糧(米穀)月別配給日数
- ハ. 蔬菜果実販賣数量
 - ニ. 魚介類販賣数量
- ホ. 精肉販賣数量
 - ヘ. 牛乳月別販賣数量
- ト. 酒類月別販賣金額
 - チ. 酒類別販賣数量
- リ. 酒類別販賣金額
 - ヌ. 煙草販賣高
 - ル. 煙草種類別販賣数量

2 水道 53

- イ. 水道用地配設水管
 - ロ. 給水栓数
- ハ. 水量
 - ニ. 使用料
 - ホ. 消火栓数
- ヘ. 主要工事一覧表

3 電気 55

- イ. 電灯
 - ロ. 動力
 - ヘ. その他

4 ガス 55

- イ. ガス消費量

5 市民文化 55

- イ. 映画入場者数
 - ロ. ラジオ聴取戸数
- ハ. 映画館及び劇場

6 宗教 56

- イ. 神道
 - ロ. 佛教
 - ハ. キリスト教

第10編 社会

1 厚生救護 57

- イ. 生活保護法による被保護状況
 - ロ. 行旅病人及び行旅死亡人
- ハ. 被保護者の保護対象数
 - ニ. 未復員者及び特別未帰還者留守家族に対する給與状況
 - ホ. 公営住宅
- ヘ. 寡金状況
 - ト. 引揚復員関係
- チ. 市内收容福祉施設
 - A 育児事業所 B 養老事業所
 - C 保育事業所 D その他の事業所

2 労 働 59

- イ. 失業保険業務取扱状況
 - ロ. 常用有効求人紹介、就職状況
- ヘ. 安定所への来所

- ニ. 臨時日雇有効人員、求人、紹介就職状況
- ホ. 労働争議
 - A 産業別性別単位労働組合組織状況
 - B 関係法規別労働組合組織状況
 - C 労働協約締結状況 D 無条約状況

3 未亡人の現況 62

- イ. 年令別未亡人数
 - ロ. 寡婦になつた原因別
 - ハ. 寡婦になつてからの年数
 - ニ. 未亡人の学歴
 - ホ. 就業状況
 - ヘ. 生活状況
 - ト. 希望貸付金別
 - チ. 月額収入別

第11編 保健衛生

1 衛生施設 63

- イ. 医療保健課
 - ロ. 保健所機関
- ハ. 取扱件数
 - ニ. 医療従業者数

2 防疫状況 63

- イ. トロホーム検診治療状況
 - ロ. 予防接種実施状況
 - ハ. 定期消毒状況
 - ニ. DDT撒布状況
 - ホ. 定期消毒状況
 - ヘ. ダステン舌成績
 - ト. そ族駆除状況
 - チ. ツヘルクリン反應陽性者数
 - リ. 狂犬病予防状況
 - ヌ. 埋火葬状況
 - ル. 履番票数
 - ヲ. 塵芥
 - ヅ. 尿尿

3 疾病罹患状況 65

- イ. 月別病床利用率
 - ロ. 年令別死亡者数
- ハ. 病名別死亡者数
 - ニ. 伝染病発生数
- ホ. 妊産婦届出数
 - ヘ. 妊娠中絶状況(月別年令別)
 - ト. 妊娠中絶状況(職業別)
 - チ. 法定伝染病発生死亡数の年次の推移
 - リ. 結核死亡数及び死亡率の年次比較
 - ヌ. 最低五ヶ年間の性病発生届出数

第12編 交通々信

1 道 路 69

- イ. 道路
 - ロ. 橋梁

2 国 鉄 70

イ.月別乗降客数 □.貨物発着量
 ハ.収入 ニ.定期券数及び団体券数
 ホ.国鉄年度別乗降人員

3 船 舶 71

イ.航路状況 □.入港船舶
 ハ.入港船舶屯数階級
 ニ.航路別乗降人員 ホ.海上出入貨物

4 軌道及びバス 72

イ.乗車人員 □.貸切バス
 ハ.定期バス輸送実績

5 貸切乗用車 73

イ.貸切自動車月別輸送実績

6 貨物自動車 74

イ.貨物自動車月別輸送実績(屯数)
 □.貨物自動車々輛状況

7 諸 車 75

イ.粘車台数 □.自動車及び荷車

8 通 信 75

イ.郵便局 □.郵便物 ハ.電報

9 電 話 76

イ.年度別加入者数及び電話機数
 □.月別通話数

第13編 温 泉

1 温 泉 77

イ.温泉数 □.噴氣孔数
 ハ.地区別温泉数
 ニ.市營有料温泉入浴者数
 ホ.市營有料温泉入浴者及び料金年次別比較

2 温泉効能 79

イ.温泉効能

3 温泉案内 80

第14編 観 光

1 観光案内 85

2 名所舊蹟 89

3 別府民謡 93

別府観光案内絵図

附 録

1 縣議会議員 1

2 官公署、その他 1

3 新聞支局・印刷物発行通信所 2

4 文化団体 3

5 政治団体 3

6 各種組合 4

7 自治委員 5

8 民生委員 6

附 別 府 市 街 図

第一編 總 說

- 1 地
- 2 沿
- 3 土
- 4 家
- 5 氣

勢 革 地 屋 象

第1編 總 說

1 地 勢

瀬戸内海の白波が西に盡くる所、由布、鶴見の連峰を背に負い、南に四極山を北は國東半島に接し、別府灣を展望する所、湯けむり漂う泉都が世界に比なき我が大別府市である。

地勢は南西に高く四極山、小鹿山、所謂小鹿山脈は西に走り鶴見連峰に連り、南西部一帯は山紫水明郷をなし、鶴見岳にならぶ巖を倒した様な美しい扇山と共に別府の風光を増している鶴見連峰に源する朝見川、春木川、關の江川等 東に流れて別府灣に注ぎ、北西一帯は所謂地獄帯をなし、海地獄、坊主地獄、血の池地獄など 数多の地獄が各々特色ある熱湯、熱氣を吹き上げるさまは、実に凄絶である。別府の生命である 温泉は地獄地帯に限らず谷間、山麓、海浜到所に湧出し現在湧出ヶ所四千三百有余、湧出量一晝夜四十万石に達している。而かも泉質は極めて多様であり、靈泉としての凡ゆる効用を具備している事は温泉として正に理想的である。殊に交通は至便にして陸には日豊本線に依り上りは小倉、門司を経て阪神、關東地方へ、下りは大分より宮崎、鹿兒島へ通じ、大分經由の豊肥線及び久大線により熊本及び北九州各地との交通も多く、亦海では關西汽船により阪神地方或は中國、四國諸港との交通繁く、茲と共に觀光地としての名譽は著く知らるるに至つた。

2 沿 革

東洋のナポリと謳われ世界の樂土と讃えられる我が別府も其の發見は比較的最近であつた。貝原益軒の豊國紀行に「別府は石垣村の南にあり町あり民家百軒許 民家の宅中に温泉十ヶ所あり何れも清し」と記されている。之を現在の別府と比較すれば感慨深きものがある。

別府なる名稱に就ては王朝時代、別勅符湯田に指定せられ、この別府田は 田制の紊れと共に莊園私墾と同様になり郷村と並び稱せられ、遂に地名に轉換したものと傳えられている。

建久七年三月大友能直豊前豊後の守護職となり、以来四百年代々、大友氏の統治する処であつた。文祿二年大友氏國除となり越えて慶長二年福原直高の領する所となつた。慶長四年八月以來細川忠興の管する所となり、徳川幕府時代幕府の直轄として高松代官に依り支配せられた、明治維新の後 別府村として日田縣に屬し、明治二十一年町制の發布に依り自治体となり、二十六年別府町となり、三十九年には浜脇町を合併した。爾來町勢は次第に進展し内には市區改正、耕地整理、温泉改良、上水道施設等の諸事業を完成し、外には 明治四十四年七月十六日、日豊本線別府驛の開通あり、大正九年大阪商船会社の別府港に繋船壁を施設し、海陸交通の便 次第に完備するに隨い、別府温泉の名は漸く宣傳せられ、浴客

の増加に伴い外来者亦多く爲に人口は急激なる膨脹を示し、明治三十九年浜脇町を合併せる当時の六千七百余人の人口は大正九年の國勢調査には二万八千六百余人に増加した。大正十三年四月市制を施行、昭和三年中外産業博覽会を開催し、益々別府市の名を中外に弘め、遊覽都市としての施設も漸く完備した。而かも四圍の狀勢は西北に發展するに至り、昭和十年九月隣接町村石垣村、朝日村、龜川町と合併し、人口六万二千有余となり、温泉政策の統一、遊覽施設の統合、生産者と消費者の融合に依る大別府躍進の基礎を築いた。

昭和十二年には國際温泉觀光大博覽会を開催し温泉の宣傳と觀光客誘致に努め、更に戦災を免れたる別府温泉は終戦後いよいよその名聲を天下に走せ、人口も十万近くに上昇した。昭和二十五年には別府國際觀光温泉文化都市建設法の成立を見、昭和二十六年には大別府港の修築に着工し、各種觀光施設の充實と共に國內各地よりの觀光客は勿論米本國、ハワイ、其の他外國よりこの地を訪り客は累年多きに上りつつある。別府市は偉大な觀光都の將來を約束されつつ發展の一路を邁進している。

3 土 地

イ 市 庁 位 置

市 庁 位 置	別府市大字別府100番地の1
東 経	131度26分56秒
北 緯	33度17分12秒

ロ 面 積 及 廣 表

昭28.1.1. 現在

面 積	方 料	108.469平方料	方 里	0.73 平方里
東 西	9.15料	南 北	11.8 料	
広 域	極 東	別府市大字浜脇下鉄幣		
	極 西	別府市大字東山字西裏野		
字 域	極 南	別府市大字東山字倉喜		
	極 北	別府市大字内窪字北新田		
大 字 数	11	行 政 区 数	104	

ハ 山 嶽

昭28.1.1. 現在

名 稱	位 置	高 さ
由 布 岳	別府市東山	1,584 m
龜 見 岳	別府市龜見	1,375 m
扇 山	別府市石垣	793 m
雨 乞 岳	別府市大分郡境	1,074 m

二 河 川

名 稱	水 源 地 名	流 末 地 名	管 内 経 過 程	
			地 名	里 程
由 布 川	別府市大字東山	大分郡賀来村	大 分 郡	6.0 Km
境 川	別府市龜見	別府市大字南石垣	別 府 市	5.5 Km
香 木 川	別府市内山	別府市大字北石垣	別 府 市	6.7 Km
小 狭 間 川	別府市大字東山	大分郡阿南村	大 分 郡	5.3 Km
朝 見 川	別府市南立石	別府市大字浜脇	別 府 市	5.2 Km

ホ 池 沼

名 稱	位 置	周 囲	面 積	種 類
志 高 湖	別府市城島	1.5 Km	975 m ²	

ヘ 瀧

名 稱	位 置	落 差	幅 員
乙 原 瀧	別府市大字別府字乙原	60 m	13 m
鮎 返 瀧	別府市大字別府字耳取	10 m	15 m
登 龍 瀧	別府市由布川溪谷	30 m	3 m
觀 音 瀧	別府市山の口溪谷	25 m	6 m

ト 官 民 有 地

昭28.1.1 現在

官 有 地	其 の 他			計
	国 有 林 野	其 の 他		
	12,560反	24,639反227		37,199反227
民 有 地	計			
	有 租 地	無 租 地	免 租 年 期 地	
	27,803反710	27,787反521	101反501	55,672反802

チ 民 有 有 租 地 細 別

昭28.1.1 現在

地 目	田	畑	宅 地	礦 泉 地
評 価 総 面 積	8,520反	3,077反	1,179,970坪	2,673坪
総 価 格	219,982,300円	28,536,900円	1,655,232,900円	182,404,400円
地 目	原 野	山 林	其 の 他	計
評 価 総 面 積	5,682反	6,492反	90反900	27,803反710
総 価 格	5,787,800円	16,534,000円	6,814,400円	2,115,442,700円

4 家 屋

イ 家 屋

昭28.1.1 現在

種 別	区 分	個 数 及 棟 数	総 床 面 積	総 價 格	坪 当 価 格
居 家	専 用 住 宅	1,518個	65,363坪	138,265,600円	2,497円
	併 用 住 宅	7,792	187,213	1,229,482,600	6,567
店 舗	併 用 住 宅	3,283	151,193	1,227,800,600	8,120
	店 舗	223	13,236	130,389,600	9,849
工 場	工 場	214	10,066	37,473,600	3,723
	倉 庫	269	7,134	29,444,600	4,126
雑 種 家 屋	雑 種 家 屋	1,530	15,198	83,452,100	5,480
	計	14,829	439,404	2,876,314,600	

5 氣 象

1 氣 溫

昭 27. 4 ~ 28. 3

氣 溫		結 霜		降 雪	
最 高	最 低	初 終	初 終	初 終	終
9月13日 34度3分	1月17日 -2度9分	12月7日 2度0分	3月14日 (度8分)	12月3日 1度7分	3月28日 2度3分

(京都大学理学部附属火山温泉別府研究所調)

2 天 候

快	晴	晴	天	曇	天	降	雨	降	雪	霧
48日		119日		193日		155日		17日		61日

(京都大学理学部附属火山温泉別府研究所調)

3 氣 象 細 別

昭 27. 4 ~ 28. 3

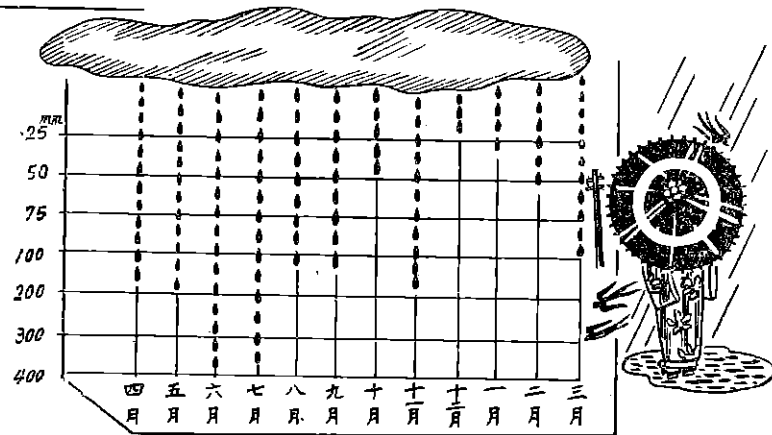
種別 月別	氣 溫			降 水		日 照		風 力		最 多 風 向	氣 壓 平均	濕 度 平均
	平 均	最 高	最 低	總 量	日 數	總 時 間	日 照 率	平 均				
27年 4月	16.7	27.2	5.1	171.70	14	190.1	49.0	米秒	1	NE	1,007.3	66.1
5月	18.8	29.4	7.9	181.90	13	181.0	42.5	1	E	1,001.7	71.0	
6月	20.6	29.4	12.7	309.20	19	100.2	25.0	1	W	998.7	87.3	
7月	25.6	33.1	16.3	358.40	19	128.8	29.9	1	NE	996.6	86.9	
8月	27.6	33.8	18.0	103.30	15	167.4	40.8	1	NE	999.8	84.6	
9月	23.1	34.3	11.3	113.10	14	139.6	35.1	1	NE	1,003.7	83.0	
10月	16.8	26.2	7.8	40.05	6	194.4	55.3	2	NE	1,007.9	74.8	
11月	15.8	23.4	5.2	159.03	9	137.7	40.6	2	W.NE	1,010.4	77.9	
12月	8.04	17.6	-1.6	17.54	11	143.8	46.6	2	NW	1,014.6	87.4	
28年 1月	5.2	18.1	-2.9	29.46	8	151.5	47.5	1	NW	1,011.9	63.2	
2月	5.8	17.3	-2.5	62.53	13	129.9	40.5	1	N	1,015.0	72.3	
3月	9.7	23.2	0.8	94.51	14	157.7	42.6	2	N	1,008.0	72.9	

(京都大学理学部附属火山温泉別府研究所調)

第 二 編 人 口

- 1 人 口 靜 態
- 2 人 口 動 態
- 3 都 市 別 人 口

月 別 降 雨 量



第 2 編 人 口

本市は市制施行後遊覧都市としての設備も漸く完備し又近郊村との合併により逐次市勢の進展を見、昭和27年7月現在では総面積108.469k²に及び人口は市制施行当時の約3倍の94,632人世帯数約3.3倍23,373世帯を擁し大分県人口の約8%を占めるに至つた。性別に人口を見ると女100人に対し男83人で又世帯当りの平均人口は4人である。人口動態についてはまづ婚姻では昭和25年の1,096組を頂点として漸次下降し28年には745組と著しく激減した。一方離婚については終戦後の異常な社会情勢の影響もあつて年々増加の一途をたどり昭和25年には215組と上昇して来たが28年には152組と減少漸次常態に復しつつある共また出生は結婚率の上昇と共にとみに其の数を増し24年は2,984人であつたが27年には1,849人と減じた死亡に於ては24年の2,014人に対し27年は1,164人と減少したが注目すべき現象は最近死産が急激に増加して来た事で人口問題が大きくとり上げられるにつれて産児制限が漸次普及するに至つたことを表はすものである。昭和27年度中一ケ年の自然、社会の両動態は自然増加685人転入13,721人転出14,136人で415人多く自然社会共に増加している。

1 人口 静 態

4 年度別人口趨勢

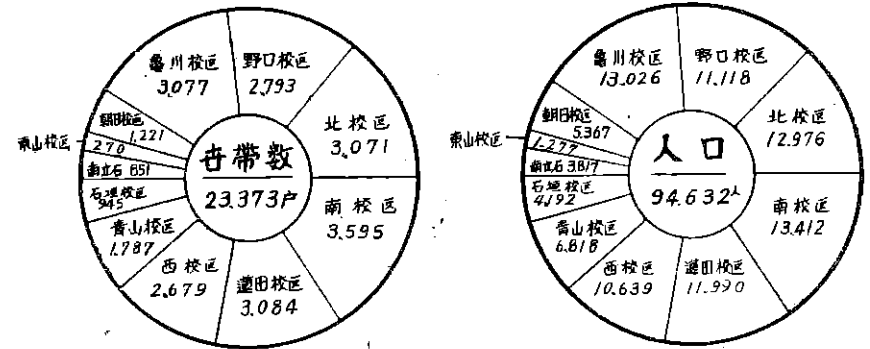
年度別	区 分	世帯数 (世帯)	人 口 (人)		対前年増減 (人)	備 考
			合 計	男		
明 治 1 1 年		766	3,570	1,659	1,812	別府村
		520	2,556	1,258	1,298	浜脇村
1 2		721	3,589	1,794	1,795	19 別府村
		542	2,532	1,246	1,286	-24 浜脇村
1 3		725	3,595	1,798	1,797	6 別府村
		562	2,712	1,712	1,381	180 浜脇村
3 9		1,507	6,794	3,354	3,440	487 別府・浜脇両村合併 別府町となる
4 1		3,120	14,045	6,634	7,411	7,251
大 正 2 年		4,444	21,970	10,450	11,520	7,925
3		4,556	22,578	10,822	11,756	608
4		4,622	22,935	10,990	11,945	357 国勢調査
5		4,668	23,386	11,944	12,042	451
6		4,742	24,043	11,671	12,372	657
7		4,975	25,663	12,513	13,150	1,620
8		5,086	26,084	12,795	13,289	421
9		5,188	28,647	13,789	14,858	2,563 国勢調査
1 0		5,916	28,183	13,885	14,298	-464
1 1		6,628	30,525	15,243	15,282	2,342
1 2		7,032	33,546	16,769	16,777	3,021
1 3		7,404	36,276	18,104	18,172	2,730 市制施行
1 4		8,748	37,529	18,022	19,507	1,253 国勢調査

年度別	区分	世帯数 (世帯)	人口 (人)		対前年増減 (人)	備 考
			合計	男 女		
昭和元年		8,296	38,457	19,190 19,267	928	
2		8,450	39,468	19,730 19,738	1,011	
3		8,905	41,521	20,827 20,694	2,053	
4		9,258	43,640	21,892 21,748	2,119	
5		9,489	43,795	21,869 21,926	155	国勢調査
6		9,639	44,353	22,288 22,065	558	満洲事変勃発
7		9,791	45,184	22,497 22,687	831	
8		9,942	46,009	22,945 23,064	825	
9		10,103	46,974	23,350 23,624	965	
10		13,596	62,346	29,730 32,616	15,372	朝日村・石垣村・龜川町・合併国勢調査
11		13,659	63,597	31,559 32,038	1,251	
12		13,874	64,498	31,639 32,859	901	支部事変勃発
13		13,326	64,435	31,079 33,356	-63	"
14		13,596	65,741	-	1,306	"
15		13,819	66,756	-	1,015	" 国勢調査
16		14,755	68,134	-	1,378	第二次世界大戦ボツ完
17		15,258	70,215	-	2,061	"
18		15,513	72,101	-	1,886	"
19		15,776	71,095	-	-1,006	"
20		16,213	69,989	31,614 38,375	-1,106	終戦
21		19,355	83,801	37,895 45,906	13,812	
22		23,903	98,685	45,223 51,462	12,884	臨時国勢調査
23		23,946	94,380	43,077 51,303	-2,305	常住人口調査
24		23,071	95,221	43,420 51,801	841	
25		22,873	93,033	42,331 50,702	-2,188	国勢調査
26		23,538	95,932	43,586 52,346	2,899	
27		23,373	94,632	42,990 51,642	-1,300	住民登録人口

ロ、校区別世帯人口面積

校区別	区分	世帯数 (世帯)	人口 (人)		面積 (平方米)	人口密度 一平方当 (人)	世帯男女比 女対男 (%)	
			合計	男 女				
野口	野口校区	2,793	11,118	5,078 6,040	665,551	16,718	3.98	84.07
北	"	3,071	12,976	5,351 7,625	474,767	28,401	4.22	70.17
南	"	8,595	13,412	6,113 7,299	342,995	39,276	3.73	83.75
蓮田	"	3,084	11,990	5,693 6,297	6,598,609	1,817	3.88	90.40
西	"	2,679	10,639	4,977 5,662	1,943,972	5,505	3.97	87.90
青山	"	1,787	6,818	2,885 3,933	1,201,709	5,911	3.81	73.35
石垣	"	945	4,192	2,052 2,140	4,722,299	910	4.43	95.88
南立石	"	851	3,817	1,743 2,074	14,127,789	310	4.48	84.04
東山	"	270	1,277	625 652	43,753,009	31	4.72	95.83
朝日	"	1,221	5,367	2,474 2,893	18,584,203	310	4.39	85.51
龜川	"	3,077	13,026	5,999 7,027	16,055,130	811	4.23	85.37
計		23,373	94,632	42,990 51,642	108,470,033	902	4.04	83.24

校区別世帯数及人口



ハ、行政区別人口、世帯数及面積

昭 27. 7. 1 現在

町 名	世帯数	人 口		面積 (平方米)	密度 千平方 米	町 名	世帯数	人 口		面積 (平方米)	密度 千平方 米
		総 数	男 女					総 数	男 女		
北野口	584	2,090	1,012 1,078	244,068	8.56	山家	386	1,396	664 732	249,358	5.60
東野口	188	665	329 336	60,050	11.08	赤松	47	209	110 99	1,185,608	0.15
南野口	188	768	363 405	36,968	21.33	田ノ口	40	169	83 86	1,321,372	0.12
下野口	399	1,518	683 835	82,179	18.51	浦田	81	864	419 445	165,171	5.23
大和	178	668	299 369	27,308	24.74	河内	69	246	127 119	78,160	3.15
富士見	453	1,882	883 999	103,500	18.27	柳	46	212	97 115	2,099,937	0.10
行合	510	2,157	941 1,216	74,078	29.14	鳥越	54	234	113 121	1,216,083	0.19
北町	417	1,570	668 902	37,400	42.43	山田	251	897	440 457	78,306	12.28
老松	331	1,255	502 753	69,607	18.18	南末瓜	257	942	459 483	14,192	67.28
的ヶ浜	213	881	379 502	39,106	22.58	錦	440	1,745	797 948	83,608	21.02
上のヶ浜	257	964	464 500	34,595	28.35	比ノ花	318	1,273	613 660	34,512	37.44
弓ヶ浜	399	1,615	765 850	114,632	14.16	栄	254	982	475 507	31,060	31.67
海門寺	306	1,372	539 833	69,800	20.17	朝見	330	1,335	610 725	32,120	41.71
日の出	230	1,069	418 651	23,632	46.47	朝見上	209	903	440 463	153,000	5.90
榎園	225	994	401 593	18,980	57.22	原	319	1,200	601 689	73,616	17.67
北浜	253	979	376 603	27,161	36.25	乙原	72	303	147 156	1,346,000	0.22
仲町	187	741	286 455	23,726	32.21	真光寺	425	1,653	775 878	150,150	11.02
流川	116	503	220 283	7,484	71.85	八幡	312	1,155	519 636	39,906	29.61
滝町	129	630	252 378	17,020	37.05	西野口	216	843	380 463	197,580	4.27
桶町	289	1,377	509 868	18,945	76.50	本町	163	595	246 349	17,750	35.00
桶浜	138	506	240 266	11,769	54.18	不老	430	1,700	693 1,007	64,192	26.56
秋葉	380	1,338	618 720	28,850	47.78	田ノ湯	327	1,148	483 665	82,506	14.00
南町	357	1,244	593 651	33,814	37.69	上田ノ湯	360	1,341	535 806	223,809	6.01
原下	266	1,010	459 551	22,396	45.90	土原	291	1,191	548 643	616,072	1.93

37

前 志	145	662	260	362	6,558	82.75	浜 田	322	1,240	556	684	167,900	7.42
中 浜	190	746	326	410	12,980	61.33	吉 市	321	1,466	717	749	349,400	4.20
浜 町	150	627	280	347	34,864	18.44	内 陸	349	1,912	791	1,121	7,994,361	0.23
北末区	294	1,074	482	592	36,481	29.83	郷 田	113	349	158	191	3,141,818	0.11
南 区	545	2,041	921	1,120	53,455	38.50	平 田	219	888	316	472	328,000	2.70
松 原	498	1,804	620	984	51,218	35.37	西の湯	310	1,266	613	653	471,000	2.68
住 吉	184	714	318	396	9,848	79.39	魚川上	310	1,295	623	672	119,201	10.88
向 浜上	251	913	415	498	8,163	114.12	池川中	252	979	443	536	216,810	4.53
向 浜下	333	1,249	601	648	42,368	29.73	池川下	440	1,726	795	931	238,640	7.25
栗 蓮田	271	1,089	591	498	38,240	28.65	湯 山	56	324	155	169	3,028,100	0.10
西 蓮田	185	732	367	365	23,827	31.82	南立石1	167	857	346	511	1,889,297	0.45
上ノ町	247	861	407	454	19,186	45.31	南立石2	207	944	465	479	1,138,492	0.08
西 町	272	1,006	469	537	21,426	47.90	狂 岡	358	1,664	791	873	650,000	2.56
新 町	122	532	196	346	9,164	59.11	腐 山	72	221	98	123	450,000	0.49
魚 瀬	320	1,164	469	695	27,853	43.11	新 別 府	97	366	157	209	1,280,114	0.28
東 仲町	199	665	301	364	23,888	28.91	馬 場	62	277	133	144	140,000	1.97
東 町	201	772	381	391	31,838	24.90	大 畑	53	209	119	90	160,000	1.30
鶴 見	108	464	219	245	1,236,180	0.37	吉 弘	194	940	449	491	778,907	1.20
竹の内	68	291	127	164	1,632,104	0.17	若 草	154	547	273	274	290,188	1.88
小 倉	75	357	185	172	8,462,420	0.04	南石和	233	1,057	515	542	820,181	1.28
明 穂	75	290	139	151	2,491,513	0.11	枝 郷	65	299	141	158	8,949,914	0.03
火 売	186	800	370	430	1,269,105	0.63	山 1	58	264	123	141	6,517,468	0.04
鉄 輪	473	2,032	891	1,141	931,051	2.18	山 2	57	277	134	113	7,436,968	0.03
北鉄輪	64	281	134	147	981,716	0.28	城 島	37	162	85	77	1,629,366	0.09
上 人	381	1,581	732	849	1,087,000	1.45	山ノ口	54	275	142	133	19,219,293	0.001
北石垣	307	1,407	697	710	1,060,000	1.30							
栗相寺	57	241	118	123	666,023	0.36	計	23,373	94,632	42,990	51,642	108,470,033	0.872

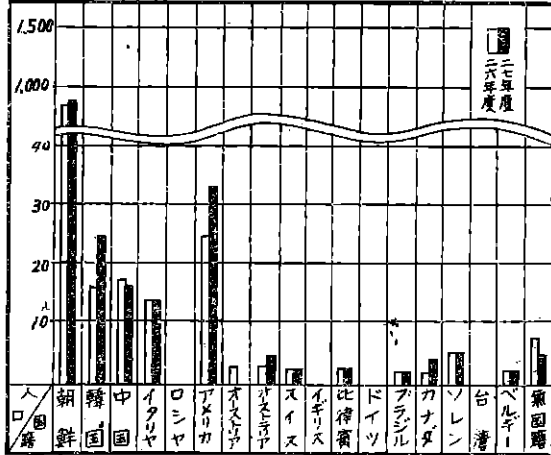
ニ、国籍別人口

12月末現在

国	籍	昭和26年	昭和27年
日 本		95,046	93,730
朝 鮮		703	799
韓 国		17	24
アメリカ		24	32
イタリヤ		14	14
ロシヤ		—	—
ポルチガル		—	—
ベルギー		1	1
ブラジル		1	1
オーストラリア		2	3
スイス		1	1
イギリス		—	—
比 荷 領		1	1
オーストリア		1	1
ドイッチ		—	—
中 国		18	17
台 湾		—	—
カ ナ ダ		1	2
ソ 連 邦		3	3
無 国籍		7	4
計		95,532	94,632

国籍別人口

各手末現在



2.人口動態
1.人口動態

昭27.4~28.3

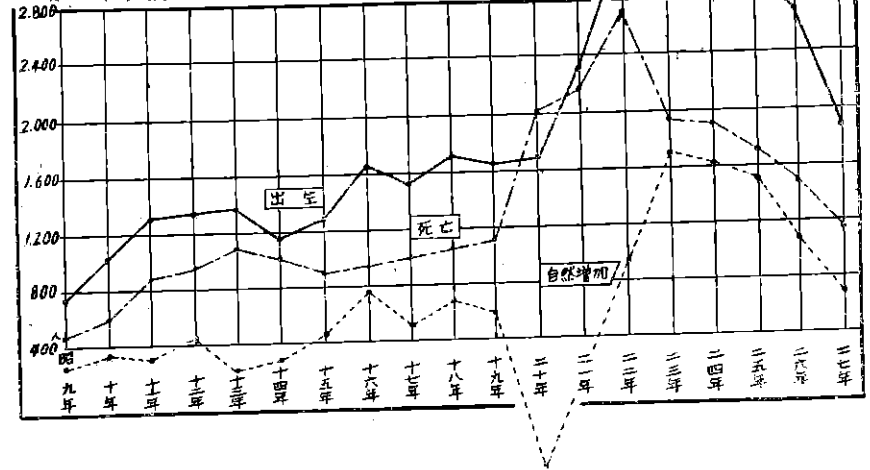
月別	区分	出 生			死 亡			自然増加	死 産	婚 姻	離 婚	転 入	転 出
		男	女	計	男	女	計						
27年	4月	76	79	152	57	55	112	40	54	80	13	1,758	1,561
	5月	66	57	143	54	51	105	38	60	74	9	1,403	1,240
	6月	78	64	142	40	46	86	56	35	119	17	1,247	1,121
	7月	78	77	155	35	44	79	79	49	59	14	1,372	1,270
	8月	90	73	163	43	35	78	85	49	39	7	1,199	1,278
	9月	58	83	141	37	39	76	65	41	51	11	1,317	1,357
	10月	61	82	143	54	38	92	51	43	48	14	1,178	1,228
	11月	75	74	149	50	41	91	58	36	49	15	1,013	780
	12月	79	71	150	56	49	105	45	57	65	12	985	981
28年	1月	103	82	185	63	52	115	70	51	47	15	839	843
	2月	59	92	151	75	49	124	27	37	43	11	761	803
	3月	90	85	175	67	34	101	74	54	71	14	1,074	1,254
	計	933	916	1,849	631	533	1,164	685	566	745	152	14,136	13,721

昭12~27年

年次	区分	出 生			死 亡			自然増加	死 産	婚 姻	離 婚
		男	女	計	男	女	計				
昭	12年	666	556	1,222	439	430	869	353	58	608	80
	13年	650	580	1,230	454	440	894	436	115	749	68
	14年	646	548	1,194	561	468	1,029	167	83	692	89
	23年	1,311	1,213	2,524	1,137	877	2,014	510	241	988	111
	24年	1,531	1,453	2,984	951	806	1,757	1,227	358	1,074	115
	25年	1,152	1,035	2,187	744	634	1,378	809	606	1,096	215
	26年	1,027	956	1,983	682	590	1,272	711	570	668	139
	27年	933	916	1,849	631	533	1,164	685	566	745	152

年次別人口動態

昭9~27年



3. 都市別人口

昭28.1.1現在

都市名	人口	市制施行年月日	都市名	人口	市制施行年月日	都市名	人口	市制施行年月日
札幌市	344,817	大 11. 8. 1	大和高田市	32,137	昭 23. 1. 1	飯塚市	58,774	昭 7. 1. 20
函館市	234,734	" 11. 8. 1	福戸市	906,654	明 22. 4. 1	田川市	93,110	" 18. 11. 3
小樽市	184,667	" 11. 8. 1	尾ヶ崎市	318,167	大 5. 4. 1	柳川市	30,435	" 27. 4. 1
旭川市	134,381	" 11. 8. 1	松江市	80,702	明 22. 4. 1	佐 賀 縣		
室蘭市	121,133	" 11. 8. 1	浜田市	41,108	昭 15. 11. 3	佐賀市	67,779	明 22. 4. 1
青森市	116,898	明 31. 4. 1	島根市	61,779	明 22. 10. 1	唇津市	53,991	昭 7. 1. 1
盛岡市	124,490	" 22. 4. 1	米子市	60,306	昭 2. 4. 1	長 崎 縣		
仙台市	379,632	" 22. 4. 1	岡山市	204,026	明 22. 6. 1	長崎市	266,374	明 22. 4. 1
秋田市	129,289	" 22. 4. 1	倉敷市	75,226	昭 3. 4. 1	佐世保市	223,071	" 35. 4. 1
山形市	105,900	" 22. 4. 1	広島市	315,838	明 22. 4. 1	島原市	39,711	昭 15. 4. 1
福島市	97,921	" 40. 4. 1	呉市	194,962	" 35. 10. 1	諫早市	64,791	" 15. 9. 1
新潟市	229,046	" 23. 4. 1	山口市	78,802	昭 4. 4. 10	大村市	57,024	" 17. 2. 11
富山市	160,250	" 22. 4. 1	下関市	209,796	明 22. 4. 1	熊 本 縣		
金沢市	259,332	" 22. 4. 1	徳 島 縣			熊本市	277,055	明 22. 4. 1
福井市	107,227	" 22. 4. 1	徳島市	139,374	明 22. 10. 1	八代市	49,647	昭 15. 9. 1
長野市	105,219	" 30. 4. 1	鳴門市	42,189	昭 22. 3. 15	人吉市	45,363	" 17. 2. 11
横浜市	1,049,132	" 22. 4. 1	小松島市	31,538	" 26. 6. 1	荒尾市	64,583	" 17. 4. 1
横須賀市	266,143	" 40. 2. 15	香 川 縣			水俣市	47,590	" 24. 4. 1
川崎市	377,139	大 13. 7. 1	高松市	134,127	明 23. 2. 15	大 分 縣		
甲府市	125,143	明 22. 7. 1	丸亀市	40,340	" 32. 4. 1	大分市	98,931	明 44. 4. 1
水戸市	82,351	" 22. 4. 1	坂出市	44,691	昭 17. 7. 1	別府市	94,632	大 13. 4. 1
宇都宮市	127,670	" 29. 4. 1	愛 媛 縣			中津市	55,762	昭 4. 4. 20
前橋市	103,122	" 25. 4. 1	松山市	172,581	明 22. 12. 1	日田市	49,142	" 15. 12. 11
浦和市	124,667	昭 9. 2. 11	今治市	61,867	大 9. 2. 11	佐伯市	41,246	" 16. 4. 29
千葉市	137,600	大 10. 1. 1	宇和島市	58,393	" 10. 8. 1	臼杵市	31,199	" 25. 4. 1
静岡市	259,617	明 22. 4. 1	入幡浜市	41,625	昭 10. 2. 11	津久見市	36,256	" 26. 4. 1
浜松市	182,001	" 44. 7. 1	新居浜市	60,888	" 12. 11. 3	宮 崎 縣		
名古屋	1,168,492	" 22. 10. 1	西条市	47,802	" 16. 4. 29	宮崎市	131,612	大 13. 4. 1
豊橋市	155,798	" 39. 8. 1	高 知 縣			都城市	75,883	" 13. 4. 1
津 市	86,666	" 22. 4. 1	高知市	168,453	明 22. 4. 1	延岡市	94,590	昭 8. 2. 11
四日市市	130,727	" 30. 8. 1	福 岡 縣			日南市	42,697	" 25. 1. 1
大阪市	2,263,421	" 22. 4. 1	福岡市	420,774	明 22. 4. 1	小林市	42,623	" 25. 4. 1
堺 市	229,290	" 22. 4. 1	久留米市	123,995	" 22. 4. 1	日向市	31,756	" 26. 4. 1
和歌山市	202,403	" 22. 4. 1	門司市	136,046	" 32. 4. 1	鹿 兒 島 縣		
新宮市	35,345	昭 8. 10. 1	小倉市	222,609	" 33. 4. 1	鹿兒島市	248,005	明 22. 4. 1
京都市	1,145,284	明 22. 4. 1	若松市	93,496	大 3. 4. 1	川内市	48,023	昭 15. 2. 11
磐田市	94,050	昭 13. 8. 1	入幡市	238,319	" 6. 3. 1	鹿屋市	64,085	" 16. 5. 27
大津市	104,457	明 31. 10. 1	大牟田市	196,369	" 6. 3. 1	枕崎市	34,800	" 24. 9. 1
彦根市	52,419	昭 12. 2. 11	戸畑市	95,785	" 13. 9. 1	串木野市	34,109	" 25. 10. 1
奈良市	90,373	明 31. 2. 1	直方市	56,756	昭 6. 1. 1	阿久根市	32,237	" 27. 4. 1

第三編 行 政

- 1 執 行 機 關
- 2 議 決 機 關
- 3 選 舉 管 理 委 員 会
- 4 公 平 委 員 会
- 5 固 定 資 産 評 価 審 査 委 員 会
- 6 農 業 委 員 会

第 3 編 行 政

1 執行機関

(1) 市 長

現別府市長脇鉄一氏は昭和21年11月13日第12代市長として就任、その後新憲法及び地方自治法の施行にともない昭和22年4月6日第13代、昭和26年4月25日第14代目の市長として直接市民の手によつて選出された公選市長である。

市長は総合的な市の執行機関として市の行政を統轄し、市の自治事務の外法令によつて委ねられた国の事務をも管理施行する広はんな職権をもっている。

イ、歴代市長

順位	氏 名	就職年月日	退職年月日	備 考
1代	大木 俊 輔	大正 13. 4. 1	大正 13. 9. 26	職務管掌
2代	神 沢 又 市 郎	大正 13. 9. 26	昭和 3. 5. 28	
3代	平 山 茂 入 郎	昭和 3. 5. 29	昭和 7. 5. 28	
4代	平 山 茂 入 郎	昭和 7. 5. 29	昭和 10. 6. 3	
5代	小 坂 登	昭和 10. 6. 4	昭和 10. 8. 30	職務管掌
6代	永 野 潤	昭和 10. 8. 30	昭和 10. 9. 8	
7代	小 野 廉	昭和 10. 9. 22	昭和 13. 4. 11	
8代	内 藤 三 郎	昭和 13. 7. 11	昭和 17. 7. 10	
9代	福 田 潤	昭和 17. 8. 19	昭和 17. 9. 24	臨時代理者
10代	平 山 茂 入 郎	昭和 17. 9. 24	昭和 17. 10. 19	
11代	禾 松 借 一 郎	昭和 17. 10. 20	昭和 21. 10. 19	
12代	脇 鉄 一	昭和 21. 11. 13	昭和 22. 4. 5	
13代	脇 鉄 一	昭和 22. 4. 6	昭和 26. 4. 2	公選による
14代	脇 鉄 一	昭和 26. 4. 25	現 在	"

2 補助機関

市長の補助機関として助役、収入役をはじめ多数の職員をおき市政の円満なる運営がなされている。助役は市長が市議会の同意を得て之を選任、その任期は4年である。市長の最高補佐機関として職員の担任する事務を監督し又市長の職務を代理する。

収入役は市の出納その他会計事務を掌り収入及び支出を命令する市長に対し独立の地位を有し命令を審査する権限がある。任期は4年であつてこれが選任には市議会の同意を要するが任期中は解任できない。本市が大正13年に市制をして以来の歴代、助役、収入役は次の通りである。

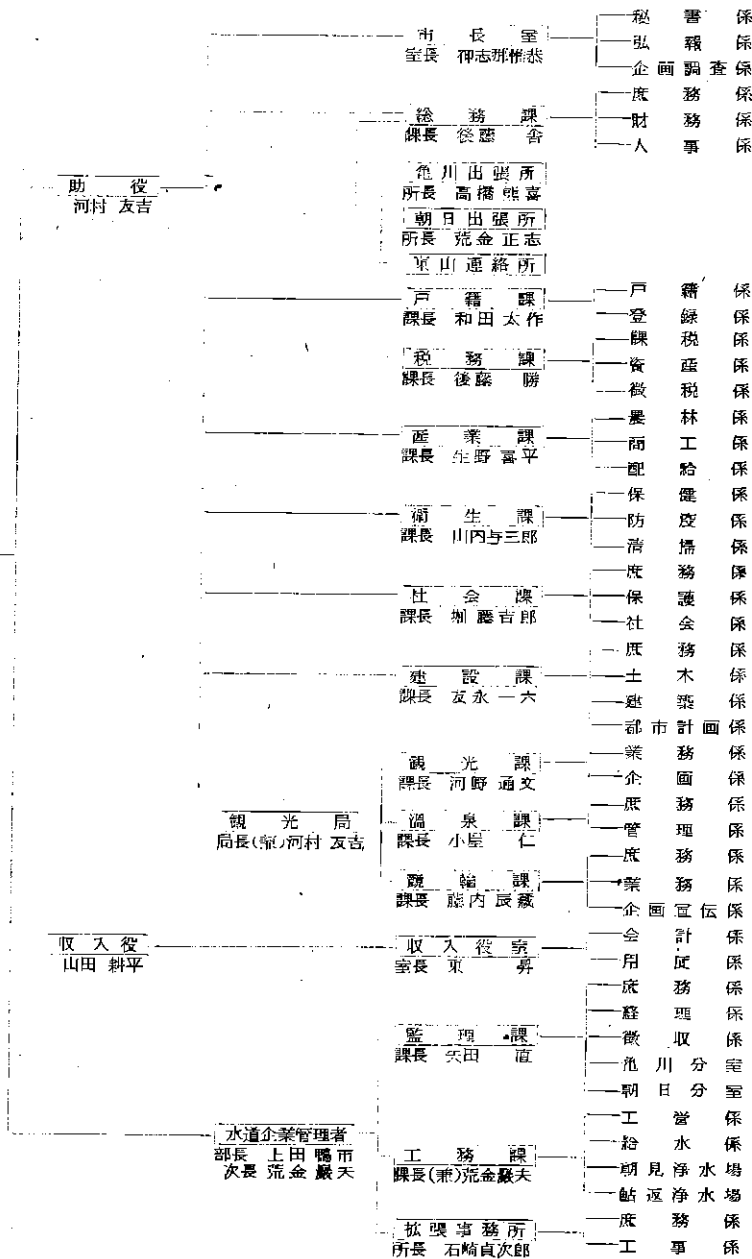
ロ、歴代助役

順位	氏 名	就職年月日	退職年月日	備 考
1代	笠置 雪治	大正13.10.11	昭和 3.10.10	
2代	藤井 文雄	昭和 3.10. 6	昭和 7. 8.29	
3代	相良 律蔵	昭和 7.10. 5	昭和10.12.21	
4代	猪俣 寛成	昭和11. 3.17	昭和13. 7.19	
5代	福 田 潤	昭和13. 8.19	昭和17. 8.18	
6代	福 田 潤	昭和17. 9.29	昭和18. 5.29	
7代	鷗海 文蔵	昭和18. 5.31	昭和22. 4. 6	昭和22年勅令第三号該当
8代	幸 珠一 河村 友吉	昭和22. 7.28	昭和26. 7.27	助役三人制
9代	幸 珠一 河村 友吉	昭和26. 7.28	現 在	助役二人制 幸珠一昭28.2.5退職

ハ、歴代収入役

順位	氏 名	就職年月日	退職年月日	備 考
1代	永井 相次	大正13.10.11	昭和 3.10.10	
2代	藤沢 徳三	昭和 3.10.18	昭和 7.10.17	
3代	原 龍橋	昭和 7.10.22	昭和11.10.21	
4代	末綱 文生	昭和11.12.16	昭和15.12.16	
5代	山田 耕平	昭和15.12.17	昭和19.12.16	
6代	山田 耕平	昭和19.12.17	昭和23.12.16	
7代	山田 耕平	昭和23.12.17	昭和27.12.16	
8代	山田 耕平	昭和27.12.17	現 在	

二、機 構



ホ、市職員数

職名	市長	助役	収入役	主事	技師	書記	技手	社会福祉 主事	嘱託	雇	その他	合計
員数	1	1	1	50	10	89	16	14	13	77	235	507

ハ、配 置

昭 29. 8. 1 現在

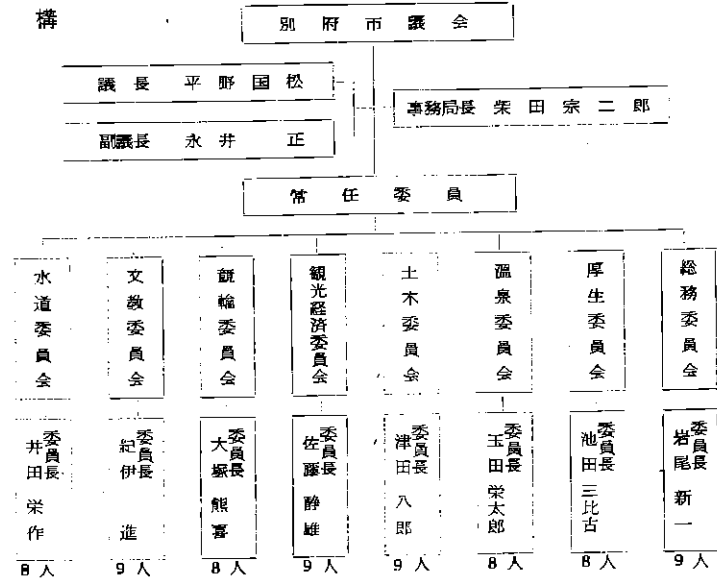
職名 区分	局課室所長						嘱託	雇	その他	計
	事務吏員	技術吏員	事務吏員	技術吏員	事務吏員	技術吏員				
市長室	1	—	1	—	3	2	1	5	1	14
総務課	1	—	2	—	5	1	—	5	13	27
戸籍課	1	—	2	—	6	—	—	5	1	15
税務課	1	—	3	—	26	—	—	11	4	45
産業課	1	—	1	—	6	6	—	1	4	19
衛生課	1	—	2	—	6	—	—	3	47	59
社会課	1	—	3	—	22	—	—	4	11	41
建設課	—	1	1	2	2	5	—	7	6	24
観光課	1	—	1	—	2	—	—	2	2	8
温泉課	1	—	1	—	3	—	—	2	78	85
競輪課	1	—	—	—	2	—	—	2	1	6
収入役室	1	—	1	—	3	—	—	4	1	10
亀川出張所	1	—	—	—	3	—	—	2	—	6
朝日出張所	1	—	—	—	3	—	—	1	1	6
市長事務部局計	13	1	18	2	92	14	1	54	170	365
監理課	1	—	2	—	11	1	—	7	12	35
工務課	1	—	—	1	5	—	—	2	39	48
拡張事務所	—	嘱託 1	1	—	1	3	—	2	5	13
水道事務部局計	3	1	3	1	17	4	—	11	56	96
総務課	1	—	—	—	2	—	—	3	1	7
学校教育課	—	—	1	—	1	—	—	3	—	5
体育保健課	—	—	1	—	—	—	—	1	—	2
社会教育課	—	—	—	—	1	—	—	1	8	10
教委事務局計	1	—	2	—	4	—	—	8	9	24
議会事務局	1	—	—	—	5	—	—	1	—	7
選管事務局	1	—	—	—	5	—	—	1	—	7
警 察	5	—	7	—	122	—	—	—	21	155
農委部局	—	—	—	—	6	—	—	2	—	8
消 防	1	—	—	—	45	—	—	—	—	46
合 計	25	2	30	3	236	18	1	77	256	708

2 議決機関

別府市議会は條例の定むる所により36名の議員によつて構成されている。その任期は4年である。市議会は市住民の代議機関であつて議決権のほか監査の請求、行政事務の調査など広汎な権限が附与されている。議員の選挙権は満20才以上の日本国民で3ヶ月以上引つづいて市内に居住することを要件とし被選挙権はこの選挙権を有するもので、満25才以上でなければならない。

市議会の議長及び副議長は議員の中から市議会に於て選挙される。議長は会議を主宰し市議会に関する事務を統理し議会を代表する。なほ市議会には市議会の庶務一般を処理するため事務局が設けられ、これに事務局長、書記等がおかれている。

イ、機構



ロ、歴代市議会議長

順位	氏名	就職年月日	退職年月日
1代	山田耕平	大正13.6.28	大正15.7.8
2代	高橋敏哉	大正15.7.8	昭和3.6.19
3代	山田耕平	昭和3.6.29	昭和7.6.20
4代	川野直吉	昭和7.7.1	昭和9.12.10
5代	川野直吉	昭和10.3.15	昭和11.6.20
6代	藤八治	昭和11.7.6	昭和13.8.18
7代	川野直吉	昭和13.8.18	昭和15.1.19
8代	近幸雄	昭和15.3.11	昭和15.6.20
9代	手島森太郎	昭和15.7.9	昭和17.9.10
10代	宇都宮則綱	昭和17.9.10	昭和21.10.30
11代	岡重喜	昭和21.10.30	昭和22.4.29
12代	垣迫杉太	昭和22.5.24	昭和25.11.17
13代	佐藤福治	昭和25.11.17	昭和26.1.10
14代	平野国松	昭和26.3.7	昭和28.3.7
15代	平野国松	昭和28.3.7	現在

ハ、歴代市議会副議長

順位	氏名	就職年月日	退職年月日
1代	和田嘉七	大正13.6.28	大正15.7.8
2代	河村観三	大正15.7.8	昭和3.6.29
3代	岩尾恒吉	昭和3.6.29	昭和5.6.30
4代	藤沢良吉	昭和5.6.30	昭和7.6.20
5代	鶴田道遠	昭和7.7.1	昭和10.3.27
6代	安部諱吾	昭和10.3.27	昭和11.5.1
7代	手島森太郎	昭和11.5.9	昭和11.6.20
8代	毛井睦治	昭和11.7.6	昭和13.7.4
9代	近幸雄	昭和13.8.11	昭和15.3.11
10代	牧福一	昭和15.3.11	昭和15.6.20
11代	小野孝平	昭和15.7.9	昭和17.10.3
12代	豊田謙一	昭和17.10.3	昭和21.10.30
13代	牧福一	昭和21.10.30	昭和22.4.29
14代	安部卓夫	昭和22.5.24	昭和25.11.17
15代	池田一好	昭和25.11.7	昭和26.1.10
16代	永井正	昭和26.3.7	昭和27.7.28
17代	星野数夫	昭和27.10.20	昭和28.6.30
18代	永井正	昭和28.6.30	現在

ニ、市議会開会数及議決件数

昭27.4~28.3

区別	回数	日数	提案件数	原案可決	修正可決	保留	撤回	協議会
定例会	4	12	128	113	12	3	—	5
臨時会	2	4	48	43	4	—	1	—
計	6	16	176	156	16	3	1	5

ホ、市議会議員

昭28.1.1現在

氏名	席順	職名	職業	電話番号	住所
平野国松	1	議長	旅館業	86	別府市海門寺
永井正	2	副議長	会社社長	1,061自宅1,541	向浜下
中村佐太郎	3	観光経済、文教	会社員	自宅949 814	北野口
吉岩権六	4	温泉、厚生	貸座業	1,326	北浜
松村利吉	5	総務、土木	硝子業	8,068	古市
津田八郎	6	総務、土木	飲食業	1,177	北町
畑泰二郎	7	総務、土木	食料品店	518	不老町
垣迫杉太	8	水道、競輪	会社重役	673	松原
原田時市	9	総務、土木	食料品店	8,067	亀川中
中村辨助	10	水道、競輪	興行	自宅569 プ1,640	新町
荒金進	11	水道、競輪	会社員	次1,404	北石垣
佐藤静雄	12	観光経済、文教	会社重役	697	港町
阿部新	13	水道、競輪	旅館貸座業	50・1,225	行合
紀伊進	14	観光経済、文教	会社重役	別府青果793・559	亀川下
安藤千代喜	15	観光経済、文教	雑貨商	799	八幡
岩尾新一	16	総務、土木	貸座業	768	梅園
池田三比古	17	温泉、厚生	靴製設計業	1,747	原
小池親蔵	18	温泉、厚生	病院長	424	魚瀬
井田栄作	19	水道、競輪	会社重役	1,624	原
玉田栄太郎	20	温泉、厚生	貸座業	786	南区
友永勘三郎	21	総務、土木	製パン業	969	羽衣
星野数夫	22	観光経済、文教	精米業	444	南区
横江征一	23	観光経済、文教	食料品店	66	南野口
原良三	24	温泉、厚生	旅館業	8,958	鉄輪
松野達雄	25	水道、競輪	旅館業	629・750	海門寺
石坂一馬	26	温泉、厚生	会社重役	136	弓ヶ浜
荒金重平	27	観光経済、文教	無職	—	亀川四ノ湯
佐々木国五郎	28	総務、土木	請負業	952	南立石
河野賢次郎	29	温泉、厚生	旅館業	381	老松
木村男也	30	水道、競輪	旅館業	960	仲町
井上要平	31	総務、土木	電気業	1,134	桶町
宇都宮秀綱	32	総務、土木	無職	次39	不老町
高橋直利	33	観光経済、文教	無職	次8,025	亀川下
斎藤一三三	34	温泉、厚生	請負業	1,681	本町
大塚熊喜	35	水道、競輪	洋品雑貨	1,626	流川
甲斐コウメ	36	観光経済、文教	旅館業	929・1,356	梅園

ハ、歴代市議會議員

(イ) 当選年月日 大 13. 6. 20

高橋 欽哉	藤原 勝	吉田 貞吉	金居 晋三	川野 直吉	豊田 藤助
山田 耕平	藤沢 良吉	神 龍二	広谷 壽市	長田 稻匱	反永 平次郎
岩尾 恒吉	糸永 岡一郎	安部 栄次	南波 保	小林 夏	河村 万平
河村 観三	荒金 作八	甲斐 大蔵	西村 真五郎	望月 兼太郎	兄玉 定五郎
宇都宮 則綱	武田 荒太	和田 嘉七	手島 森太郎	利光 律次	河村 士五郎

(ロ) 当選年月日 昭 3. 6. 20

毛井 隆治	豊田 藤助	松尾 角太郎	荒金 作八	河村 観三	藤沢 良吉
藤 八治	阿部 紉	永見 永左門	野々下 辰五郎	糸永 幸四郎	甲斐 大蔵
甲斐 保尾	鶴田 道造	新山 猪八郎	安部 孫一郎	手島 森太郎	反永 兼太郎
川野 直吉	近 幸雄	金居 晋三	平居 伊三郎	南波 保	岩尾 恒吉
堤原 万右門	御 纈藏	藤原 勝	神 龍二	広谷 壽市	山田 耕平

(ハ) 当選年月日 昭 7. 6. 20

平野 国松	村田 寛蔵	守屋 救雄	豊田 藤助	近 庄六	毛井 隆治
宇都宮 則綱	森 入治	神 龍二	広田 太市	安部 雅也	永見 永左門
山田 耕平	高橋 豊之進	安部 謙吾	近 幸雄	神 纈藏	免田 直一
村田 源次郎	幕 丞	岡 重喜	垣迫 杉太	牧 福一	鶴田 道造
手島 森太郎	二見 政一	入江 文雄	松尾 角太郎	阿南 重忠	川野 直吉

(ニ) 当選年月日 昭 11. 6. 20

近 庄六	鶴田 道造	宇都宮 次郎	永見 永左門	阿南 重忠	加藤 鏡大
毛井 隆治	豊田 謙一	手島 森太郎	森 入治	伊藤 潤治	岡 重喜
二見 政一	川野 直吉	小野 孝平	安部 佐市	高橋 健市	高橋 豊之進
井田 与次郎	近 幸雄	平野 国松	安部 雅也	金田 源太郎	
高橋 豊之進	加藤 紉	免田 直一	高橋 作市	反永 源七	
甲斐 兵吉	田沢 周平	大橋 智神	熊二 佐藤 福治		
垣迫 杉太	西山 盛夫	奥之山 敬亮	牧 福一	岡本 寛平	

(ホ) 当選年月日 昭 15. 6. 20

近 幸雄	荒金 啓治	岡 登喜	鶴田 道造	垣迫 杉太	甲斐 兵吉
宇都宮 則綱	加藤 紉	後藤 達吾	牧 福一	近 庄六	宮内 徳太郎
高橋 豊之進	高橋 作市	手島 森太郎	豊田 謙一	村井 康一	末友 皆男
佐藤 福治	伊藤 遠治	横江 駒太郎	神 纈藏	国次 勇	
上田 孝伯	神 龍二	小名川 彦三郎	毛井 隆治	内田 初三郎	
平野 国松	原田 時市	宮崎 広市	井田 与次郎	安部 卓夫	
西田 熊太郎	永見 永左門	金田 源太郎	小野 孝平	宇都宮 次郎	

(ヘ) 当選年月日 昭 22. 4. 30

星野 数夫	堀 泰二郎	龍鳳 栄吉	吉良 秀男	南 秀市	松野 逸雄
松村 利吉	大野 彰一	池田 一好	久間 敏弘	原田 時市	大野 一郎
阿部 新	安倍 卓夫	永井 正	岩尾 新一	垣迫 杉太	安部 英吉
前田 松夫	佐々木 国五郎	井上 司	荒金 進	江藤 直次	佐藤 勇
三ヶ尻 米市	中村 佐太郎	平野 国松	大野 虎雄	甲斐 コウメ	井田 栄作
橋本 珍種	渡辺 賢文	池田 穰	大塚 将憲	佐藤 福治	寺岡 岩吉

3 選挙管理委員会

選挙管理委員会は選挙の民主化と公正を保障するため設けられた。公選首長に対して独立の地位を有する執行機関であつて、その委員の構成を不偏不党たらしめ選挙権を有する者より市議会において選挙した委員3名をもつて構成し、その任期は3年である。委員会は本市または国、その他公共団体の選挙に関する事務並に一般投票に関する一切の事務を管理し、合議制によつて会議の運営をはかる。

イ、選挙管理委員会委員及職員数

選挙管理委員	補充員	委員余開催数	局	長	書記	庶
3	3	3		1	5	1

ロ、選挙管理委員

職名	氏名	生年月日	職業	現住所	電話番号
委員長	宇佐美 鉄雄	明治38.11.29	税理士	朝見町	1743
委員	三浦 直政	明治30.1.21	教授	上原町	
委員	毛利 敬止	明治32.12.1	無職	不老町	188
事務局長	秋元 猛	明治42.3.10	公吏	鉄輪町	8551

ハ、各選挙別投票結果

種別	執行年月日	有権者数			投票者数			投票率
		男	女	計	男	女	計	
衆議院議員選挙	昭 27. 10. 1	23,588	31,991	55,582	18,666	24,057	42,723	76.86%
最高裁判所裁判官国民審査	昭 27. 10. 1	23,588	31,991	55,582	18,636	24,039	42,669	76.77%
大分県教育委員会委員選挙	昭 27. 10. 5	22,187	29,699	51,886	16,004	20,091	36,095	69.57%
別府市教育委員会委員選挙	昭 27. 10. 5	22,187	29,699	51,886	15,990	20,086	36,076	69.53%
別府市議会議員補欠選挙	昭 27. 10. 5	22,187	29,699	51,886	15,974	20,085	36,059	69.50%

ニ、各学校区別有権者数

校區別	男		計	校區別	女		計
	男	女			男	女	
野口	3,660	5,042	8,702	石垣	2,537	3,192	5,729
北	3,136	5,117	8,253	朝日	1,414	1,717	3,131
南	9,454	4,722	14,176	電川	2,841	3,748	6,589
選田	3,185	4,105	7,290				
西	3,471	4,506	7,977	計	23,698	32,149	55,847

4 公平委員会

昭和25年12月13日公布された地方公務員法の完全な実施を確保し、その目的を達成するために同法第7條の規定に基づいて昭和26年7月27日に本市の公平委員会が設置された。委員会は一般職の職員の人事行政に関して調査企画を行い、研究の結果を市議会または任命権者に提出し、人事行政の運営について任命権者に勧告し判定する等の職務権限がある。委員会は市長が市会の同意を得て選任する3名からなり委員の任期は4年であるが最初選任された委員の任期は4年、3年、2年各一人となつている。現在の公平委員は次の通りである。

イ、公平委員

氏名	住所	氏名	住所	氏名	住所
二宮 威徳	北浜	末友 皆男	南区	佐藤 勇	吉弘

第 4 編 財 政

戦前は、市勢の進展に伴う漸進的な正常増加の形をとつて居つたが戦後新しい地方自治法が制定され、急激な負担の増加を生じ更に経済変動が加つて地方財政の窮乏に一段の拍車をかけるに至つた。昭和28年度予算は、本市財政の現況に鑑み、徹底した緊縮予算を執り、収入の確保に努めると共に、経常経費については極度に節減に努力している。

1. 一般会計年次別比較(歳入)

年 別	当初予算額	予算現額	課 定 額	収入済額	予算現額に比し増減 (△印は減)
昭和12年	1,045,769.00	1,662,499.00	1,737,414.83	1,630,389.05	△ 32,109.95
13	955,838.00	1,827,693.00	1,637,910.44	1,581,487.01	△ 246,205.99
14	855,632.00	1,313,948.00	1,303,993.28	1,272,886.93	△ 41,061.07
15	990,699.00	1,594,893.00	1,625,558.31	1,607,802.65	12,909.65
16	1,198,686.00	1,663,975.00	1,408,270.96	1,395,331.85	△ 268,643.15
17	1,085,378.00	1,861,192.00	1,800,118.56	1,789,054.38	△ 72,137.62
18	—	2,807,250.00	765,329.78	2,445,074.89	△ 362,175.11
19	—	3,319,180.00	1,103,019.27	2,938,694.65	△ 380,485.35
20	—	4,396,516.00	—	4,011,222.70	△ 385,293.30
21	—	16,011,143.00	—	14,324,374.11	△ 1,686,768.89
22	—	59,381,192.00	—	50,929,203.59	△ 8,451,988.41
23	—	203,769,000.00	80,592,019.86	172,621,015.34	△ 31,147,984.66
24	212,665,869.00	302,568,353.00	295,863,440.79	255,886,987.92	△ 46,681,365.08
25	293,661,800.00	429,254,826.00	386,942,142.55	335,100,223.74	△ 94,154,602.26
26	345,546,800.00	498,266,518.00	501,382,131.67	442,097,267.21	△ 56,169,250.79
27	386,701,947.00	556,662,596.00	571,968,153.30	504,004,428.81	△ 52,658,167.19

一般会計年次別比較(歳出)

年 別	当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不 用 額
昭和12年	1,045,769.00	1,091,485.00	986,782.89	—	70,437.19
13	955,838.00	1,861,957.00	1,313,677.15	184,016.00	364,263.85
14	855,632.00	1,313,948.00	974,618.56	233,824.00	105,475.44
15	990,699.00	1,594,893.00	1,339,327.88	170,513.00	85,052.12
16	1,198,686.00	1,663,975.00	1,143,468.70	301,262.00	219,241.30
17	1,085,378.00	1,861,192.00	1,330,690.56	457,586.00	72,915.44
18	624,618.00	2,807,250.00	1,723,231.07	748,496.00	335,522.93
19	1,743,571.00	3,446,155.22	2,157,193.95	879,537.82	409,423.45
20	1,920,034.00	4,518,552.82	3,225,421.74	747,653.20	575,477.88
21	3,944,761.00	16,011,143.00	13,722,719.30	—	2,288,423.70
22	16,848,088.00	59,381,192.00	47,708,997.56	—	11,672,194.44
23	186,070,518.00	203,769,000.00	158,863,511.23	—	44,905,488.77
24	212,665,869.00	302,568,353.00	254,631,792.98	—	47,936,560.02
25	293,661,800.00	429,254,826.00	333,833,040.53	—	95,421,785.47
26	345,546,800.00	498,266,518.00	437,724,480.24	—	60,542,037.76
27	386,701,947.00	556,662,596.00	503,968,451.43	—	52,694,144.57

2. 一般會計歳入歳出予算

イ、歳 入

(単位円)

科 目	昭和二十八年 度		昭和二十七年 度			
	当初予算額	比率	当初予算額	追加更正予算額	最終予算額	比率
市 税	201,913,100	43.87	179,873,200	33,345,920	213,219,120	38.30
地方財政平衡交付金	77,000,000	16.73	61,302,000	4,034,000	65,336,000	11.74
財産収入	5,928,406	1.28	3,410,162	1,232,000	4,642,162	0.83
使用料及び手数料	30,618,920	6.65	27,080,098	2,726,920	29,807,018	5.36
国庫支出金	93,866,431	20.39	74,518,970	63,989,569	138,508,539	24.88
県支出金	6,514,787	1.41	3,704,326	8,270,332	11,974,658	2.15
寄附金	300,001	0.06	1	1,665,000	1,665,001	0.30
繰入金	20,000	0.04	20,000	-	20,000	0.01
繰越金	1,620,317	0.35	1,000,000	3,456,181	4,456,181	0.80
雑収入	5,436,919	1.18	3,144,200	4,883,227	8,027,427	1.44
市 債	37,000,000	8.04	32,000,000	46,300,000	78,300,000	14.07
負担金	-	-	648,990	37,500	686,490	0.12
歳入合計	460,238,881	100.00	386,701,947	169,960,649	556,662,596	100.00

ロ、歳 出

(単位円)

科 目	昭和二十八 年度		昭和二十七年 度			
	当初予算額	比率	当初予算額	追加更正予算額	最終予算額	比率
観 念 費	10,734,872	2.33	7,826,451	2,168,916	9,995,367	1.79
市 役 所 費	94,135,454	20.45	580,766,477	△ 18,732,133	62,034,344	11.14
警 察 消 防 費	66,904,591	14.54	55,355,744	1,113,477	56,469,221	10.14
土 木 費	21,713,300	4.72	21,722,964	48,488,101	70,211,065	12.92
教 育 費	57,741,323	12.55	37,445,110	63,050,696	100,495,806	18.05
社会及び労働施設費	127,731,493	27.75	103,392,895	24,686,046	128,078,944	23.01
保 健 活 動 費	11,826,330	2.57	18,826,124	8,521,748	27,351,372	4.91
灌 漑 費	7,706,701	1.67	11,216,871	7,988,507	19,205,378	3.46
観 光 費	20,850,256	4.53	16,624,500	1,250,000	17,874,500	3.21
産業経済費	12,826,902	2.79	9,870,369	813,227	10,686,596	1.92
財 産 費	2,462,970	0.54	3,015,459	801,497	3,816,656	0.69
統計調査費	1,204,000	0.26	727,500	250,076	977,576	0.15
運 送 費	2,563,019	0.56	1,927,600	721,212	2,648,812	0.48
公 債 費	11,377,252	2.47	8,091,835	9,715,526	17,807,361	3.19
繰 戻 金	48,698	0.01	48,698	-	48,698	0.01
請 支 出 金	9,411,720	2.04	8,839,850	20,030,971	28,870,821	5.19
予 備 費	1,000,000	0.22	1,000,000	△ 910,221	89,779	0.02
歳出合計	460,238,881	100.00	386,701,947	169,960,649	556,662,596	100.00

3 特別会計歳入歳出豫算

本市特別会計は水道、競輪の2企業である。特別会計は原則として独立採算を目標に、市民の税などによる負担をさけるよう運営している。

1、水 道 費

(単位円)

昭和二十八年 度 (収入)			昭和二十八年 度 (支出)		
科 目	当初予算額	比率	科 目	当初予算額	比率
事業収益	56,858,500	45.54	事業費	56,816,657	45.51
営業収益	46,448,300	37.20	営業費	18,880,065	15.12
附帯事業収益	6,349,200	5.09	附帯事業費	6,073,365	4.87
営業外収益	61,000	0.05	一般管理費	19,968,195	15.99
期間外収益	4,000,000	3.20	委託、経管費	5,667,133	4.54
資本収入	67,999,018	54.46	営業外費	6,227,899	4.99
資本取入	67,999,018	54.46	建設改良費	67,833,109	54.33
計	124,857,518	100.00	計	124,857,518	100.00

ロ、競輪事業費

A 歳 入

科 目	昭和二十八 年度		昭和二十七年 度			
	当初予算額	比率	当初予算額	追加更正予算額	最終予算額	比率
入 場 料	240,000	0.08	720,000	△ 180,000	540,000	0.14
勝者投票券発売金額	280,000,000	97.96	480,000,000	△ 120,000,000	360,000,000	98.42
勝者投票事故収入	1,000	0.01	1,000	-	1,000	0.01
繰 越 金	1,000	0.01	1,000	893	1,893	0.01
雑 収 入	5,549,400	1.94	1,015,100	4,200,000	5,215,100	1.42
計	285,791,400	100.00	481,737,100	△ 115,979,107	365,757,993	100.00

B 歳 出

(単位円)

科 目	昭和二十八 年度		昭和二十七年 度			
	当初予算額	比率	当初予算額	追加更正予算額	最終予算額	比率
競輪場費	4,281,237	1.49	3,004,029	-	3,004,029	0.84
競輪開催費	256,842,200	89.87	427,292,600	△ 106,557,900	320,734,700	87.69
国庫納付金	4,200,000	1.47	12,769,100	△ 3,600,000	9,169,100	2.53
交 付 金	8,400,000	2.94	14,400,000	△ 3,600,000	10,800,000	2.97
公 債 費	11,370,230	3.98	14,054,500	△ 7,171,500	6,883,000	1.89
請 支 出 金	431,380	0.16	9,804,100	4,976,406	14,780,506	4.05
予 備 費	266,353	0.09	412,771	△ 26,113	386,658	0.03
計	285,791,400	100.00	481,737,100	△ 115,979,107	365,757,993	100.00

4. 諸 税

1 負担状況

昭28. 5. 31 現在

種 別	額 定 額	一 世 帯 当 一 人 当
市 税	211,282,827	9,039
県 税	260,574,994	11,148
直 接 国 税	269,879,000	11,547
合 計	741,736,821	31,734

ロ、市税目別税率

税 目	昭和二十八年度 税 額	税 率	納 期
市 民 税	84,300,000	所得割……所得金額の10%以内(4表改正案) 均等割……個人500円 法人1,800円	4 期 6月、8月、10月、1月
固 定 資 産 税	93,371,200	土地家屋償却資産評価額の1.6%	4 期 4月、7月、12月、2月
自 転 車 税	1,628,000	二輪車1台につき200円、三輪車1台につき400円	5 月 末
荷 車 税	486,000	荷 車 半馬車 一台につき 800円 " 大 車 " 400円 " 小 車 " 200円	5 月 末
電 気・ガ 斯 税	11,500,000	使用料金の100分の10	翌 月 の 10 日
鉱 産 税	50,000	鉱物又は砂鉄価格の100分の1	随 時
木 材 引 取 税	27,600	素材引取価格の100分の5	随 時
入 湯 税	4,678,000	入湯一日に付 15円	翌 月 の 10 日
接 客 人 税	1,297,000	一人につき 100円	毎 月 末 日

ハ、市税徴収状況

昭28. 9. 30 現在

税 目	予 算 額	額 定 額	収 入 額	収 入 率 課定 %	手 算 %	未 徴 収 額
① 普 通 税	176,011,200	210,751,644	184,189,560	87.40	104.65	26,562,084
1 市 民 税	79,432,000	95,538,706	89,361,461	87.25	104.95	12,177,245
2 固 定 資 産 税	81,311,200	91,043,708	77,662,457	85.30	95.51	13,381,251
3 自 転 車 税	1,240,000	1,994,900	1,687,810	84.61	136.11	307,090
4 荷 車 税	524,000	574,800	450,400	78.36	85.95	124,400
5 電 気 ガ 斯 税	11,500,000	15,636,760	15,636,760	100.00	135.97	—
6 鉱 産 税	50,000	115,632	115,632	100.00	231.26	—
7 木 材 引 取 税	20,000	46,580	26,100	56.03	130.50	20,480
8 広 告 税	34,000	46,700	26,700	57.17	78.53	20,000
9 入 湯 税	3,000,000	4,443,558	4,096,340	92.19	136.54	347,218
10 接 客 人 税	900,000	1,310,300	1,125,900	85.93	125.10	184,400
② 暫 税 法 收 入	51,000	153,269	97,192	72.93	190.57	36,077
1 事 業 税 附 加 税	50,000	126,376	92,419	73.13	184.83	33,963
2 都 計 事 業 税 制	1,000	6,893	4,779	69.33	477.90	2,114
③ 舊 法 による 税	35,156,920	52,092,781	16,465,724	31.61	46.83	35,627,057
総 計	211,168,120	262,977,694	200,752,476	76.34	95.07	62,225,218

5 市 有 財 産

本市財産は基本財産(積立金と有価証券)の他に、庁舎や学校の敷地、宅地、鉱泉地、山林、原野等の土地と建物、それに立木がある。次に財産の内訳をのぞいて見ると、土地は4861.801坪建物は350棟で28,614坪となっている。立木は10年未満95町5反、20年未満220町9反、30年未満184町9反、40年未満175町1反、50年未満39町、50年以上35町1反計750町5反となっている。その他有価証券と積立金が47万余円ある

イ、基本財産及積立金

財 産 別	26年未現在高		本 年 中 異 動		27年末現在高	
	金 銭	有 価 証 券	金 銭	有 価 証 券	金 銭	有 価 証 券
基 本 財 産	356,816.01	1,000.00	63,380.96	—	420,196.97	1,000.00
学 校 基 本 財 産	5,271.79	10.00	768.41	—	6,039.60	10.00
罹 災 救 助 資 金	32,980.78	—	3,422.80	—	36,403.58	—
奨 学 資 金	9,314.01	—	1,315.97	—	10,629.98	—
計	404,381.99	1,010.00	68,888.14	—	473,270.13	1,010.00

ロ、土 地

基 本 財 産			行 政 (公 共 用) 財 産		
区 分	面 積	摘 要	区 分	面 積	摘 要
宅 地	16,588坪		市 庁 舎 敷 地	6,052坪	庁 舎 敷 地
鉱 泉 地	979坪		温 泉 用 地	4,910坪	住 宅 用 地
山 林	273,881坪		水 道 用 地	34,611坪	保 安 林
原 野	3,474,274坪		公 園 用 地	12,029坪	学 校 用 地
耕 地	18,489坪		警 察 用 地	353坪	そ の 他
池 沼 溜 池	23,401坪		消 防 用 地	30坪	小 計
雑 種 地 新 開 地	11,933坪		共 同 墓 地	6,586坪	986,603坪
墓 地 埋 葬 地	55,653坪		火 葬 場 用 地	231坪	
小 計	3,875,198坪		合 計	4,861,801坪	

ハ、建 物

種 別	棟 数	坪 数	備 考	種 別	棟 数	坪 数	備 考
庁 舎 (公 用 建 物)	68	1,839	市 庁 舎、そ の 他	学 校 建 物	71	21,075	
公 共 建 物	67	1,751	遊 楽 舎、そ の 他	貸 家 建 物	9	470	
温 泉 建 物	51	1,933					
公 営 住 宅	84	1,546	庶 民 住 宅、そ の 他	合 計	350	28,614	

ニ、市 有 林

昭和27.12.31現在

樹 種	杉	ひ の き	ま つ	く ん ぎ	雑	竹	栗	は ぎ	く る み	合 計
計	149町5反	76町1反	285町2反	196町7反	9町	25町	4町	2町3反	7反	750町5反歩

6 別府競輪

競輪事業は、窮乏せる本市財政打開の方策として、昭和25年4月設けられ同年5月開催の運びとなり、漸次成績の向上を見、其の後各種施設の改良経営の合理化とサービス改善に努めている。

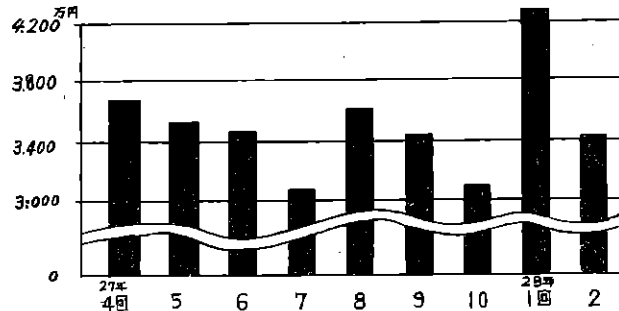
1、競輪場

レースの使用面積		収容人員	場内総坪数	従事員数	施設工事費
延長	幅員				
330m	9m	10,000人	12,000坪	420人	27,658,000円

ロ、月別車券売上高

区分 回別	開催月日	従業員数	出場選手数 (純)	入場者数 (純)	連勝式		湯川(本場)	勝式		計
					単勝式	複勝式		場内	場外	
27年	3月21.22.23.30			10,585				別府 3,252,000 大分 2,005,500	36,782,500	
	4回 4月 1.2	381	576	(2,187)	142,900	608,600	30,773,500	中津 2,966,400		
	4月 27.28.29			16,507				別府 2,966,400 大分 1,655,300	35,560,700	
	5回 5月 3.4.5	410	"	(2,502)	195,700	816,300	29,391,500	中津 525,500		
	5月 24.25.26.31			13,973				別府 2,977,200 大分 1,533,600	34,603,000	
	6回 6月 1.2	395	"	(2,002)	124,800	648,600	28,267,900	中津 1,050,900		
	7月 12.13.14			17,284				別府 2,612,300 大分 1,261,200	30,680,900	
	7月 18.19.20			(15,781)	79,400	455,000	25,209,900	中津 1,062,500		
	8回 8月 23.24.25	396	"	25,567				別府 2,219,400 大分 1,252,700	36,023,900	
	9月 3.4.5			(2,654)	134,500	646,500	30,517,300	中津 1,253,500		
28年	9回 11月 1.2.3	370	"	10,845				別府 3,609,700 大分 1,477,300	34,513,900	
	8.9.10			(1,790)	70,200	482,700	27,911,600	中津 1,062,400		
	10回 12月 6.7.8	366	"	9,572				別府 3,344,400 大分 1,405,000	31,087,100	
	13.14.15			(1,301)	14,300	302,000	24,825,400	中津 1,196,000		
	1回 1月 2.3.4			13,100				別府 3,614,200 大分 1,269,500	42,808,600	
	13.14.15			(2,387)	25,200	361,400	36,463,800	中津 1,074,500		
	2回 3月 14.15.16	389	"	18,100				別府 3,235,000 大分 1,755,200	34,215,000	
	21.22.23			(1,802)	8,700	151,100	28,587,000	中津 1,078,000		
	計		3,482	130,713	(32,406)	795,700	4,472,200	261,847,900	別府 27,830,600 大分 13,015,300 中津 8,303,300	316,265,000

車券売上



第五編 教 育

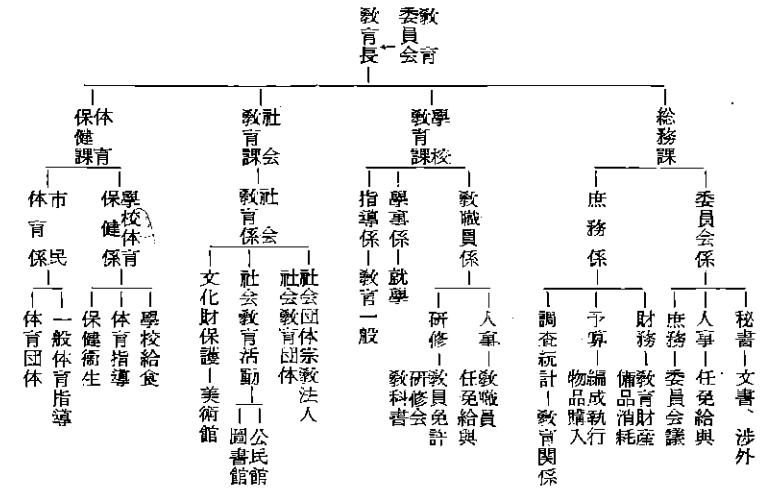
- 1 教育委員会
- 2 学校教育
- 3 社会教育

第 5 編 教 育

昭和22年3月教育基本法及學校教育法が公布され新憲法にかなつた民主的な教育制度の基本が確立され本市に於ても特に教育の重大性に鑑み、新教育の普及徹底をめざし、畫一的教育から個性尊重の教育、個人の尊嚴を重んじ眞理と平和を愛し、自主的精神にみちた心身共に健全な國民の育成に努めている。亦學校施設の充実に重点を置きモデル・スクール青山中學校も完成され、生徒の増加收容対策も着々と完成されつつある。

1 教育委員會

イ 機 構



ロ 委員及職員数

昭28.8.1.現在

委 員	教 育 長	委員會事務局	學 校 教 諭	學校その他の教育機關の事務局
5	1	14	475	54

ハ 委 員

昭29.3.31.現在

職 名	氏 名	就 任 期	生 年 月 日	住 所	職 業	経 歴
委員長	松本 亀雄	4年	明41.12.22	別府市 不老町	醫師	人権擁護委員、醫學博士
副委員長	田尻 芳雄	4年	明30.11.8	全 北 町	程 築 業	PTA會長、商工會議所議員
委 員	佐 藤 福 治	4年	明26. 1.10	全 港 町	旅 館 業	元市會議長 PTA會長
委 員	荒 金 利 喜 太	4年	明34. 5. 8	全 南 石 垣	酒 類 販 賣	元舊制中學教諭
市議會選出議員	石 坂 一 馬	議 員 任 期 中	明29. 3.24	全 弓ヶ濱	會社事務	市議會議員

ニ 教育費（最終予算）歳入

(単位円)

項目別	区分	補助金	使用料	雑収入	市債	合計
予算総額		29,931,200	4,468,880	50,100	66,045,786	100,495,886
備考	國庫、縣費支出金		幼稚園保育料、公民館 學校建物、別府球場	財産収入、児童生 徒委託料	平衝交付金を含む	

ホ 教育費（歳出）予算

(単位円)

科目	昭和二十八年度		昭和二十七年度			
	当初予算額	比率	当初予算額	追加更正予算額	最終予算額	比率
教育委員会費	5,986,746	10.37	—	3,341,805	3,341,805	3.32
統計事務費	30,400	0.05	—	13,000	13,000	0.01
小學校費	17,311,334	29.98	9,543,546	11,395,541	20,939,089	20.94
中學校費	9,162,864	15.87	7,035,132	43,170,466	50,205,598	49.96
幼稚園費	11,917,903	20.64	6,351,464	1,357,849	7,709,313	7.67
圖書館費	1,619,489	2.80	1,079,637	1,167,215	2,246,852	2.24
公民館費	3,028,625	5.25	2,543,154	6,736,195	9,279,349	9.23
社會教育費	144,000	0.25	143,000	△ 8,000	135,000	0.13
美術館費	298,000	0.52	437,800	△ 70,000	367,800	0.37
体育費	1,105,800	1.92	—	—	—	—
教育諸費	7,136,162	12.35	5,318,000	940,000	6,258,000	6.23
總計	57,741,323	100.00	32,451,735	63,044,671	100,495,886	100.00

2 学校教育

就學狀況 昭和28年8月1日現在に於ける幼稚園は公私立併せて13校園児数2,155人 小學校は公私立併せて12校生徒数11,687人、中學校は公私立併せて8校、生徒数4,836人、高等學校は公私立併せて3校、學生数2,733人で、その外に女子大學校1校、洋裁、和裁、経理その他の専問各種學校が6校、総43校校となつている。

イ 幼稚園

昭28.8.1.現在

公立 私別	区分 名稱	幼 兒 数		學級數	一學級當 幼 兒 數	保 姆 數		教 官 一 人 當 幼 兒 數		
		男	女			男	女			
公	野口幼稚園	119	114	233	5	46.6	1	6	7	33.6
"	北 幼稚園	142	112	254	6	42.3	1	7	8	31.7
"	南 幼稚園	128	138	266	6	44.3	1	7	8	33.2
"	蓮田幼稚園	104	100	204	5	40.8	1	6	7	29.1
"	龜川幼稚園	103	117	220	5	44.0	1	6	7	31.4
"	龜川幼稚園	138	130	268	6	47.0	1	7	8	33.5
"	朝日幼稚園	50	58	108	3	36.0	1	3	4	27.0
"	石垣幼稚園	61	55	116	3	38.7	1	3	4	29.0
"	南立石幼稚園	32	40	72	3	36.0	1	2	3	24.0
"	青山幼稚園	62	62	124	3	41.3	1	4	5	24.8
私	明星幼稚園	37	31	68	2	34.0	0	4	4	17.0
"	眞愛幼稚園	29	25	54	2	27.0	1	3	4	13.5
"	海の星幼稚園	90	78	168	4	42.0	1	4	5	33.6
計		1,895	1,860	2,155	52	41.4	12	62	74	29.6

ロ 小學校

昭28.8.1.現在

公立 私別	区分 名稱	兒 童 数			學級數	一學級當 兒 童 數	教 官 数			教 官 一 人 當 兒 童 數
		男	女	計			男	女	計	
公	野口小學校	709	688	1,397	27	51.7	20	16	36	38.8
"	北 小學校	737	712	1,449	27	53.7	18	17	35	41.4
"	南 小學校	805	789	1,594	31	51.1	18	18	36	44.2
"	蓮田小學校	714	663	1,377	27	51.0	16	18	34	40.5
"	西 小學校	748	712	1,460	28	52.1	16	16	32	45.6
"	青山小學校	378	435	813	16	50.8	9	10	19	42.7
"	南立石小學校	201	189	390	12	32.5	8	6	14	27.8
"	龜川小學校	767	737	1,504	28	53.7	17	19	36	41.7
"	龜川湯山分校	19	6	25	2	12.5	1	1	2	12.5
"	朝日小學校	347	365	712	15	47.4	9	10	19	37.4
"	石垣小學校	331	357	688	15	45.8	9	9	18	38.2
"	東山小學校	43	38	81	3	27.0	4	2	6	13.5
"	東山山口分校	19	13	32	2	16.0	2	1	3	10.6
"	東山校郷分校	17	18	35	2	17.5	2	1	3	11.6
私	明星小學校	54	76	130	6	21.6	0	10	10	13.0
計		5,889	5,793	11,687	242	48.5	149	154	303	38.5

ハ 中學校

昭28.8.1.現在

公立 私別	区分 名稱	生 徒 数			學級數	一學級當 生 徒 數	教 官 数			教 官 一 人 當 生 徒 數
		男	女	計			男	女	計	
公	山ノ手中學校	605	619	1,224	22	55.6	28	7	35	34.9
"	青山中學校	443	456	899	16	56.2	21	5	26	34.5
"	中部中學校	348	367	715	13	55.0	17	4	21	24.1
"	北部中學校	403	374	777	14	55.5	19	5	24	32.3
"	瀧脇中學校	403	385	788	14	56.3	19	4	23	34.2
"	朝日中學校	160	131	291	6	48.5	10	2	12	24.2
"	東山中學校	43	53	96	3	32.0	5	1	6	16.0
私	明星中學校	0	46	46	3	15.3	0	9	9	5.1
計		2,465	2,431	4,836	91	53.1	119	37	156	31.0

ニ 高等學校

昭28.8.1.現在

公立 私別	区分 名稱	学 生 数			學級數	一學級當 学 生 數	教 官 数			教 官 一 人 當 学 生 數	
		男	女	計			男	女	計		
公	別府鶴見ヶ丘 高等學校	全 定	630 163	417 15	1,047 178	18 4	58.2 44.5	38 6	3 0	41 6	25.5 29.6
"	別府緑ヶ丘高等學校	319	560	879	21	41.9	26	12	38	23.1	
私	別府自由ヶ丘高等學校	336	339	669	14	47.8	21	13	34	19.6	
計			1,448	1,325	2,773	57	48.6	91	28	119	23.3

ホ 大學校

昭28.8.1.現在

公立 私別	区分 名稱	学 生 数	學級數	教 授 数	教 授 数 内 課 任			
					専 任	兼 任	男	女
私立	別府大学	137	4	39	26	3	10	0

昭28.8.1.現在

各種學校

Table with columns for school type (public/private), name, district, grade count, and student/official counts by gender.

校地及校舎

Table showing school types, student counts, land area, and building area (classrooms, gymnasiums, playgrounds).

學校施設状況

Table detailing school facility status by type (nursery, elementary, middle school) and count.

建築経過年数別坪数

Table showing building area by construction year (5 years or less, 5-10, 10-15, etc.) and material type.

校舎坪数

Table showing classroom area by school type, including classroom, practice room, and other areas.

校地坪数

Table showing land area by school type, including classroom land, outdoor sports field, and other land.

中學校卒業生就業状況

A 昭和27年度卒業生

Table showing employment status of graduates from 1952, categorized by district and gender.

B 就職者の産業別

Table showing the industry distribution of graduates, including agriculture, industry, and services.

C 就職者の職業別

Table showing the occupational distribution of graduates, including technical, administrative, and other roles.

學校所在地及學校長名

A 幼稚園

Table listing kindergarten names, principals, and establishment dates.

B 小学校

Table listing elementary school names, principals, and establishment dates.

C 中学校

Table listing middle school names, principals, and establishment dates.

D 高等学校

昭28.7.1現在

公立 私別	学 校 名	校 長 氏 名	設 立 年 月 日	位 置	電 話 番 號
公	鶴見ヶ丘高等学校	利田 正男	大7.3.8	鶴 見	1,401
"	緑ヶ丘高等学校	宮崎 豊	昭23.4.1	野 口 原	553
私	自由ヶ丘高等学校	佐藤 義詮	昭25.4.1	北石垣田通寺	8,101

E 大学校

昭29.4.1現在

公立 私別	学 校 名	校 長 氏 名	設 立 年 月 日	位 置	電 話 番 號
公	別府大学校	佐藤 義詮	昭25.4.1	北石垣田通寺	8,101

F 各種学校

昭28.7.1現在

公立 私別	学 校 名	校 長 氏 名	設 立 年 月 日	位 置	電 話 番 號
私	別府高等商業学校	香椎 直	昭22.4.1	松 原	2,019
"	別府ドレスメーカー女学院	仁科 ヨシ子	昭22.5.6	海 門 寺	73
"	生野洋裁女学院	生野 ヌエ	昭16.6.6	秋葉通五丁目	541
"	ミクニドレスメーカー女学院	十川 良子	昭17.10.1	中濱筋六丁目	27
"	別府高等技術学校	溝部 ミツエ	昭18.10.8	亀川湯ノ森	8,280
"	馬場洋裁女学院	比田 百合	昭21.4.1	下 野 口	776

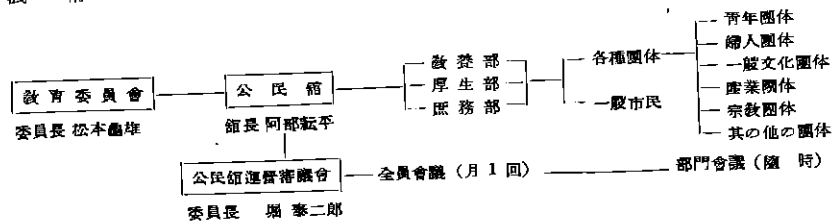
3 社会教育

教育基本法によつて今迄の家庭教育及び社会教育を一括して社会教育と総稱することになった。学校の教育課程として行われる教育活動を除いて主として青少年及び成人に対して行はれる組織的活動である。従つて教育内容も科学、政治、経済、道徳、藝術、純潔、衛生、社会体育に關するなど廣い範囲に及びその指導に重要性を増し、成果に大きな期待がかけられている。

1 公民館

本市公民館は昭和24年6月10日社会教育法第2条により上田の湯区に設置された。本館の運営は下記運営審議会委員20名により企畫され、定期講座の開設、討論会、講習会、講演会、生活刷新等に努力している。昭和28年11月1日現在地区分館5、町内分館28設置されて、地域の文化向上と課題解決に其の成果が期待されている。

A 機 構



B 分館数並委員職員数

昭28.11.1現在

本 館	地区分館	町内分館	運営審議会委員	館 長	主 事	事務職員	狭寫技師	使 丁
1	5	28	20	1	1	9	1	3

C 活用状況

昭27.4~28.3

區 分	大ホール		講 座 室		会 議 室		そ の 他		計	
	開催数	利用者数	開催数	利用者数	開催数	利用者数	開催数	利用者数	開催数	利用者数
公民館行事	12	11,700	139	9,530	152	4,375	186	3,779	489	29,384
外部行事	115	97,500	75	9,340	68	1,780	23	520	281	109,140
計	127	109,200	214	18,870	220	6,155	209	4,299	770	133,524

D 社会教育委員

昭28.11.1現在

氏 名	關係所屬団体	住所	氏 名	關係所屬団体	住所	氏 名	關係所屬団体	住所
利田正男	別府市 鶴見ヶ丘高校	西野口	中川文昌	別府市 徳教連合会	河内	石坂一馬	別府市 市議会文教委員	弓ヶ池
古川 定	" 北小 小学校	下野口	宮崎欽彌	" 亀川文化協会	亀川	津田八郎	"	北 町
田吹繁子	" 八雲短歌会	錦	野上順平	" 学識経験者	堀 町	紀井 進	"	龜 下
須東妙子	" 婦人団体連合会	平田	渡邊隆治	"	沼 町	三浦直政	"	別府大講師 原
濱藤幸隆	" 子供連合会	向窪下	田邊ミツノ	"	仲 町	河村無我	" 婦人有徳者同盟	朝 見
渡多野祐敏	" ボーイスカウト	顧問 秋葉	荒命啓治	"	南 區			
福川雲村	" 史 談 会	大 和	佐藤野華	" 市議会文教委員	南野口			

E 公民館運営審議会委員

昭28.11.1現在

氏 名	關係所屬団体	住所	氏 名	關係所屬団体	住所	氏 名	關係所屬団体	住所
宮崎 豊	別府市 緑ヶ丘高校	原 區	河合藤七	別府市 民生委員連盟	港 町	堀 泰二郎	別府市 市議会財政委員長	不老
栗秋良学	" 瀧 脇 中 学 師 範 區	井口番夫	" 小中校 P.T.A 梅 園	矢田 保	" 石垣地区公民館長	南石垣		
甲斐ユウモ	" 婦人団体連合会	梅 園	岩尾新一	" 市 議 會	"	塩手 直	" 亀川地区公民館長	亀 川
矢野嶺根	" 明 精 舎 富士見	紀井 進	"	亀 川	加藤 番	" 朝日地区公民館長	明 泰	
大野善雄	" 農桑協同組合	原 區	小野勝美	" 泉 都 別 府 社 朝 見	吉武義人	" 南石垣地区公民館長	南立石	
佐藤武夫	" 商工會 藤所北 湖	吉武木 綱	" 別 府 大 学	北石垣	平野 登	" 東山地区公民館長	東 山	
高橋玉治	" 市職員組合代表	龜 川	荒金 逸	" 市議会文教委員	"			

ロ 圖 書 館

別府市立図書館は大正11年6月1日の創立で北小學校に併置してあつたが、昭和8年4月15日今の上田の湯区(公民館内)に移轉し現在に至つている。

蔵書数は昭和11年末2,437冊、昭22年末8,855冊と増加し、昭28年4月1日現在16,141冊に増加した。この1日当り利用冊数を見ると次の通りで、昭和11年60冊が年々増加し、昭和22年は113冊、昭和27年は180冊となっている。閲覧者数は昭和11年14,329人、昭和22年23,518人、昭和27年54,065人と増加し、文化水準向上のため大きな役割を果しつつある。

A 年次別蔵書数

昭和8年~昭和28年

年次別	區 分	神宗	佛教	文語	旅傳	地紀	政統	商農	理學	審美	美術	受作	工 業	児童	郷土	理 記	分類	計
		学教	学育	学学	史記	誌行	法財	工業	学学	学生	術鑑	論書	学 学	童物	史 史	記	外	
昭和8年		29	151	612	230	49	207	21	38	39	31	59	—	126	—	—	—	1,592
13年		56	255	955	460	101	396	53	72	77	47	107	—	146	—	—	—	2,725
23年		223	655	1,282	744	201	692	566	247	139	307	—	—	468	110	713	2,508	8,855
28年		290	1,010	2,524	996	244	1,280	1,473	464	272	551	—	273	1,309	423	2,341	3,691	16,141

大正13年～昭和28年

B 年次別閲覧冊数

区分 年次別	神宗	哲宗	文語	史傳	地紀	政経 法財 統計	商農	理数	術醫	美術	受研	工	児童	月確	新 その他	計
	学教	学教	学学	史記	誌行	工業	学学	生学	術醫	験書	学	童物	刊誌			
大正13年	112	93	662	620	311	109	569	103	160	103	711					3,553
昭和3年	218	408	1,321	1,811	706	285	1,111	198	409	201	1,690					8,358
8年	477	719	1,854	1,893	757	70	1,147	181	652	151	809	734				9,454
13年	311	1,293	3,734	2,796	715	1,917	79	1,032	1,367	482	2,591	—	3,701	4,800	2,520	27,338
18年	661	1,329	3,103	3,597	1,415	1,013	767	1,335	985	942	1,159	1,750	3,243	2,394	2,091	24,784
23年	988	1,779	3,516	2,364	2,012	3,157	1,838	3,105	1,613	1,697	2,860	1,830	2,601	3,513	2,802	35,715
28年	694	2,725	22,161	5,261	4,268	7,430	450	4,535	3,946	4,060	8,251	801	2,292	10,631	11,587	59,052

第六編 公安

- 1 司 法
- 2 警 察
- 3 消 防

C 月別閲覧細別

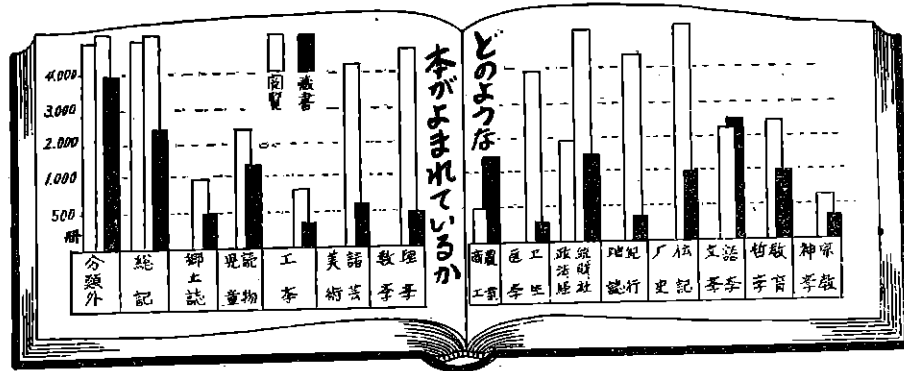
昭和28年1月～12月

区分	月別 28年												計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
閲覧人総数	3,733	4,662	4,393	4,066	4,473	4,577	4,493	4,947	3,458	3,856	4,228	3,516	50,482
閲覧総冊数	5,029	7,159	6,915	7,023	6,609	7,895	7,587	7,845	6,317	7,584	7,591	6,171	84,519
開館日数	23	22	23	25	26	25	26	25	21	26	24	23	289
一日平均人員	164.04	194.25	191.00	162.64	169.65	183.08	172.82	190.26	172.90	142.81	175.75	152.86	172.74
一日平均冊数	253.23	218.29	300.65	281.31	254.19	315.80	291.80	301.73	315.85	280.92	282.19	268.30	289.44

D 業種別閲覧人員

昭和27.4～28.3

性別	区分	児童	学生	公務 自由職	家事 従事者	交通業	商	職工(職)	農林 水産業	その他	無職	計
總計		17,220	24,233	1,635	547	368	594	256	272	6,513	2,447	54,085
男		11,981	17,252	1,629	547	358	594	256	272	6,155	2,076	41,130
女		5,239	6,981	6	0	0	0	0	0	358	371	12,955



第 6 編 公 安

舊制警察制度の改革に依つて国家権力を背景とした中央集権的な警察制度は廃止され警察の地方分権化と民主化の爲に新しく自治体警察が本市に生れ別府市警として發足してより4年「犯罪なき街別府」の理想実現の爲、公安委員会の下に市民の生命・財産の保護に万全を期している。

一方消防組織も制度の改革によつて同じく市消防署を設置し、機動力の整備と火災の撲滅に不斷の努力をしている。

1. 司 法

イ 別府簡易裁判所

A 職 員

昭28.5.1現在

名 稱	判 事	審 記 官	審 記 官 補	事 務 官	雇 員	そ の 他	計
別府簡易裁判所	2	2	1	1	2	5	13

(別府簡易裁判所調)

B 民 事 事 件

昭27.4~28.3

區 分		通 常		和 解	督 促	公 示 催 告	假 差 押 處 分	過 料	共 助	領 事 件	計
		新 受	既 済								
民 事 事 件	新 受	129	72	193	—	—	47	424	58	336	1,256件
	既 済	138	72	193	—	—	47	424	58	331	1,263
	未 済	39	—	—	—	—	—	—	10	6	35
區 分		一 般 調 停			宅 地 建 物		計				
		新 受	既 済	未 済							
調 停 事 件	新 受		46			154		200件			
	既 済		49			150		199			
	未 済		8			19		27			

(別府簡易裁判所調)

C 刑 事 事 件

昭27.4~28.3

區 分		受 理		終 局	未 終 局
		舊 受	新 受		
通 常	刑 法 犯	38人	247人	227人	58人
	特 別 法 犯	22	41	58	5
略 式	刑 法 犯	3	95	98	—
	特 別 法 犯	4	472	476	—

(別府簡易裁判所調)

D 利 息 請 求

昭27.1~27.1

件 数	金 額
287	円 9,425.00

(別府簡易裁判所調)

ロ 別府區檢察廳

A 職 員

昭28.5.1現在

名 稱	副 檢 事	事 務 官	雇 員	そ の 他	計
別 府 區 檢 察 廳	1	6	2	2	11

(別府區檢察廳調)

水利

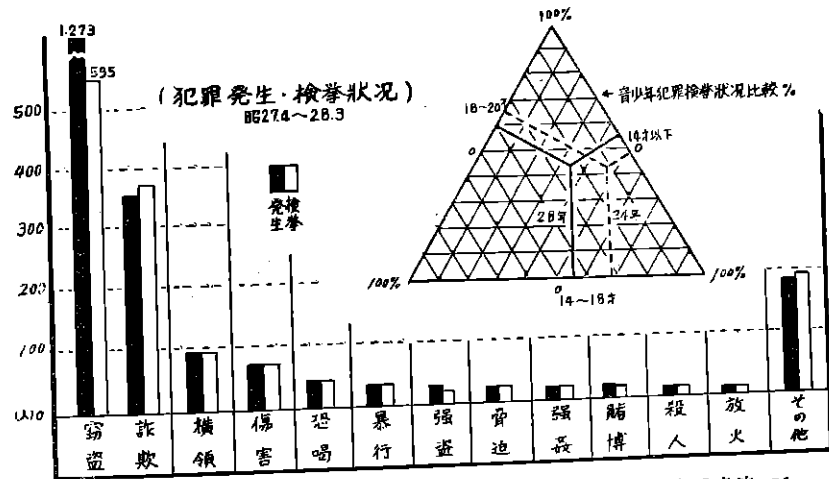
昭28.5現在

消火栓	貯水槽	溜池	河川	計
576	42	10	23	651

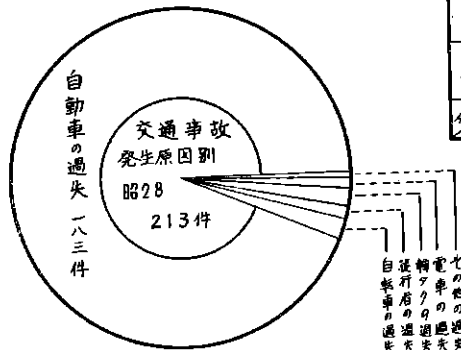
建築同意件数

昭27.4~28.3

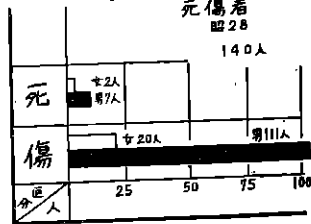
区分	新築	増築	用途変更	改築	修繕	欄柵等	設計変更	移轉	計
住家	203	243	63	30	9	7	3	3	561
非住家	57	91	16	13	3	3	—	4	187
計	260	334	79	43	12	10	3	7	748



交通違反状況 昭28



交通事故による死傷者 昭28



第七編 産業

- 1 全産業
- 2 商産業
- 3 工業業
- 4 農林業
- 5 畜産業
- 6 水産業
- 7 水産業

第 7 編 産 業

本市は温泉地として発展し商業は専ら観光客を対象として經營され駐留軍と浴客の増加によつて接客関係の商業が急増し華かな温泉都市商店街情緒を醸し出し、更に國觀法による都市計畫の実施に伴い漸次商店街が整備充実せられ將來の發展が約束されているが、原動力を大規模に使用する大工場の設置は立地条件に乏しく消費都市として日常の衣食住に應ずる製氷、製材、精米等の工場があるのみで大きな工場はない。

竹製品は家庭工業の振興と土産品改善等の面から之を奨励し、内地は勿論海外にまで販路を求め年々輸出高は向上し市内全工業の約60%に當る竹製品工業は我國竹製品工業の王座を占めている。

1. 全 産 業

イ 業 種 別

昭27.1.1現在

業 種 別	事業所数	業 種 別	事業所数	業 種 別	事業所数
接客業関係	1,251	製 糖、 産 具	15	培 援、 鎖 金、 板 金	17
産 館	275	雜 貨 関 係	150	化 學、 薬 品 関 係	164
入 湯 賃 間	79	百貨店、家庭雜貨	55	醫 藥 品	81
料理、飲食、食堂	382	百貨、書齋、骨董	67	油 脂 及 製 品	12
喫茶、甘味飲食	28	印 判 業	12	ゴ ー ン	6
土 産 品	49	和傘、提灯、摺扇、カレンダー	16	染 料、 塗 装	5
寫 真 産 影	27	身 廻 品、 装 身 具 関 係	258	石 炭、 石 油	5
映畫、演劇、遊技場、遊園	49	時 計、 眼 鏡、 賞 金 屬	45	薪 炭	42
理 髪、 美 容	166	化 粧 品、 小 間 物	63	そ の 他	13
貨 座	142	履 物	62	建 設 事 業 関 係	167
藝 妓 置 屋	34	玩 具、 運 動 具	17	土 建 請 負 業	57
食 料 品 関 係	892	靴 及 皮 産 製 品	44	左 官、 大 工、 石 工、 瓦 葺 水 道	85
精 麦、 精 粉、 製 麵	132	機 械 用 品	24	塗 装、 湯 突	25
青 果、 蔬 菜、 酒 物	327	帽 子	3	印 刷、 書 籍、 文 具 類 関 係	156
鮮 魚 介、 乾 物、 か ま ぼ こ	170	窯 業、 土 石 関 係	34	新 聞 出 版	29
豆 腐、 油 揚、 蒟 蒻、 て ん ぷ ら	73	陶 磁 器	14	印 刷 製 本	21
食 肉、 鶏 卵	45	硝 子	12	番 罫	30
佃 煮、 か ん づ め、 乾 物 類	135	瓦、 煉 瓦、 石 材、 セ メ ン ト	6	紙 製 品	20
種 苗、 飼 料	10	木、 竹、 草、 製 品 関 係	411	文 具、 事 務 用 品	43
嗜 好 品 関 係	674	木 材	21	装 具 師、 祭 物、 造 花	13
酒 類	77	家 具、 建 具	52	交 通 運 輸 関 係	50
調 味 料	43	そ の 他 の 木 製 品	17	自 動 車 関 係	12
菓 子、 パ ン	388	竹 及 竹 製 品	302	輕 車 輛	38
煙 草、 喫 煙 具	65	陶 及 磁 製 品	19	金 融 業 関 係	189
清 涼 飲 料、 牛 乳、 茶	101	金 屬、 機 械 器 具 関 係	184	銀 行、 信 用 金 庫、 相 互 銀 行	20
織 雜 関 係	299	機 械 器 具 造 船、 度 量 衡 器	35	質 屋、 貸 金	74
衣 料 品	74	金 物	24	保 險、 証 券、 不 動 産 仲 介	15
洋 服、 洋 裁、 附 屬 品	96	電 氣 機 械 器 具	35	貿 易 関 係	6
洋 品、 雜 貨	38	自 動 車 及 部 品	17	貿 易	6
染 色、 洗 濯、 ク リ ー ン グ	54	自 轉 車 及 部 品	46		
古 衣 類	22	シ ン	10		

2. 商業

1 業態別店舗数及従業者数

昭27.9.1現在

業態	店舗数	個人経営			法人経営		
		家 族 従 業 者	雇 用 従 業 者	計	合 計 の 有 限 公 司	商 用 使 用 人	計
卸賣場	221	227	258	485	196	756	952
貿易業	1	—	—	—	4	—	4
各種商品小賣業	3	3	5	8	6	68	74
専門品小賣業	2,030	3,202	1,071	4,273	297	706	943
製造小賣業	36	55	125	180	16	39	55
飲食店	326	518	559	1,077	28	208	236
計	2,617	4,095	2,018	6,023	467	1,777	2,264

2 経営別(個人)

昭27.9.1現在

業態	店舗数	個人			商品 手持 額 (千円)	商品 売上 高 (千円)	一店當り		
		家 族 従 業 者	雇 用 従 業 者	計			従 業 者 数 (人)	商 持 品 手 額 (円)	商 上 品 賣 高 (円)
卸賣業	126	227	258	485	54,514	428,061	3.8	432,650	3,397,309
貿易業	—	—	—	—	—	—	—	—	—
各種商品小賣業	1	3	5	8	140	3,056	8.0	140,000	3,056,000
専門品小賣業	1,914	3,202	1,071	4,273	85,690	1,057,319	2.3	44,770	5,524,132
製造小賣業	30	55	125	180	2,262	24,086	6.0	75,400	802,866
飲食店	314	518	559	1,077	937	92,104	3.4	2,984	293,026
計	2,385	4,085	2,018	6,023	143,543	1,694,626	2.5	69,185	672,799

3 経営別(法人)

昭27.9.1現在

業態	店舗数	法人			商品 手持 額 (千円)	商品 売上 高 (千円)	一店當り		
		會 社 の 員 の 給 付 役	雇 用 人	計			従 業 者 数 (人)	商 持 品 手 額 (円)	商 上 品 賣 高 (円)
卸賣業	95	196	756	952	174,347	3,244,280	10.0	1,835,231	34,150,105
貿易業	1	4	—	4	661	1,801	4.0	661,000	1,801,000
各種商品小賣業	2	6	68	74	19,014	104,834	37.0	9,507,000	52,417,000
専門品小賣業	116	237	706	943	145,675	910,455	8.1	1,255,818	7,848,750
製造小賣業	6	16	39	55	3,681	24,505	9.1	613,500	4,084,166
飲食店	12	28	208	236	1,386	99,256	3.7	1,486,060	18,901,383
計	232	487	1,777	2,264	314,766	4,385,121	9.8	1,846,060	18,990,194

二 組織別店舗数、従業者数及売上額

昭27.9.1現在

組織別	店舗数	従業者(人)			商品販賣先別売上額(千円)					
		専 業 主 者	常 用 従 業 者	計	卸 賣 業 者	小 賣 業 者	使 用 者	一 般 消 費 者	外 國	計
株式會社	116	—	1,283	1,283	274,716	766,905	163,160	712,020	4,160	1,920,961
合資會社	68	—	580	580	51,792	380,107	33,937	415,341	1,808	882,978
合名會社	1	—	18	18	—	154,682	—	17,185	—	171,847
有限會社	37	—	322	322	26,599	325,197	7,513	145,135	—	504,444
組合	7	—	55	55	239,942	647,756	—	2,245	—	889,943
その他	1	—	6	6	—	—	—	14,949	—	14,949
個人	2,385	6,023	—	6,023	39,391	275,587	83,873	1,205,274	—	1,604,625
計	2,617	6,023	2,264	8,287	632,948	2,538,214	283,483	2,512,149	5,961	5,989,747

3. 工業

1 産業分類別、事業所、従業者数

昭27.12.31現在

産業分類	事業所数	従業者数(人)									生産額 (千円)			
		個人業主及 家族従業者			會社、団体 職			勞務者				計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男		女	計
食料品製造業	184	544	267	811	57	30	87	85	48	133	686	345	1,031	579,596
紡織業	12	15	1	16	—	—	—	6	—	6	21	1	22	4,766
衣類及身型品製造業	6	6	4	10	—	—	—	—	—	—	6	4	10	349
木材及木製品製造業	285	439	152	591	16	6	22	49	9	58	504	167	671	118,921
家具及装飾品製造業	42	128	12	140	12	3	15	27	5	32	167	20	187	99,442
紙及類似品製造業	10	21	23	44	1	1	2	2	2	4	24	26	50	13,468
印刷出版及類似産業	27	157	41	198	25	6	31	30	7	37	212	54	266	60,182
化学工業	11	24	23	47	19	3	16	19	4	23	56	30	86	20,518
石油及石炭製品製造業	1	11	12	23	1	1	2	1	1	2	13	14	27	9,392
ゴム製品製造業	2	2	0	2	—	—	—	—	—	—	2	0	2	280
皮革及皮革製品製造業	1	1	0	1	—	—	—	—	—	—	1	0	1	—
ガラス及土石製品製造業	3	19	12	31	6	1	7	6	1	7	31	14	45	2,589
金屬製品製造業	6	21	1	22	5	1	6	10	1	11	36	3	39	9,313
機械製造業	8	47	13	60	6	3	9	7	3	10	60	19	79	16,144
電氣機械器具製造業	2	2	0	2	—	—	—	1	—	1	3	—	3	210
輸送用機械器具製造業	2	4	0	4	—	—	—	2	—	2	6	—	6	979
その他の製造業	46	101	92	193	8	5	13	16	5	21	125	102	227	42,286
計	648	1,542	653	2,195	156	69	225	261	86	347	1,953	799	2,752	918,435

2 組織別工場数、従業者数

(従業者数4人以上の工場のみ)

昭27.12.31現在

組織別	工場数	電力 内 使用	従業者数(人)									生産額 (千円)			
			個人業主及 家族従業者			會社、団体 職			勞務者				總 計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男		女	計
株式會社	35	35	—	—	—	81	31	112	298	155	453	379	186	565	358,278
合資會社	11	9	—	—	—	18	8	26	135	69	204	153	77	230	116,762
合名會社	1	1	—	—	—	4	1	5	2	11	13	6	12	18	9,641
有限會社	20	18	—	—	—	29	12	41	128	23	151	157	35	192	100,693
協同組合	2	2	—	—	—	3	1	4	16	20	36	19	21	40	9,802
個人	72	44	119	52	171	15	7	22	235	89	324	250	96	346	180,622
計	141	109	119	52	171	156	69	225	814	367	1,181	964	427	1,391	773,998

4. 農 業

イ 農家及農家人口

昭28.2.1現在

区分	農 家 数		農 家 人 口				住 込 常 用 者 数					
	總 数	専 業 農 家 数	總 数		常 住 世 帯 員 数		總 数		男 子		女 子	
			男	女	總 数	男	女	總 数	男	女	總 数	男
總 数	2,036	1,320	716	11,911	5,456	5,461	11,879	5,428	6,451	18	16	2
別 府	269	117	152	1,695	722	973	1,691	719	972	1	1	—
石 垣	782	623	159	4,494	2,108	2,386	4,480	2,096	2,384	12	9	3
朝 日	515	280	235	3,040	1,409	1,631	3,032	1,404	1,628	4	4	—
龜 川	470	300	170	2,682	1,211	1,471	2,676	1,209	1,467	1	1	—

ロ 耕地面積

昭28.2.1現在

区分	田				畑			樹 園 地			合 計
	1毛作田	3毛作田以上	水稲を作物田	計	普通畑	畑作畑	計	茶園	果樹園	計	
總 数	234.20	327.50	56.70	618.40	327.10	46.41	373.51	4.15	18.01	22.16	1014.07
別 府	18.69	46.72	4.12	69.53	39.57	5.58	45.15	—	1.5	5.94	120.62
石 垣	111.62	131.61	34.18	277.41	118.61	17.64	136.25	1.73	3.84	5.57	419.23
朝 日	37.40	89.29	5.79	132.48	107.66	14.80	122.46	1.37	6.64	8.51	263.45
龜 川	66.49	59.88	12.61	138.98	61.26	8.30	69.56	—	1.74	2.14	210.68

ハ 畜力及機械力使用の状況

昭28.2.1現在

区分	畜力及機械力を使用した農家								
	畜力も機械力も使用しない農家数	畜 力			機 械 力		畜力のみ (戸)	機械力のみ (戸)	畜力及機械力 (戸)
		牛	馬	計	動力耕種機	石油動力機			
全農家数	2,036	610	1,241	180	1,421	1	65	1,361	65

ニ 經營耕地面積別農家数

昭28.2.1現在

区分	經營耕地面積別農家数 (戸)						總世帯数	%
	3反歩未満	3~5反	5~1町	1~1.5町	1.5~2町	2~3町		
全農家数	2,033	654	442	655	82	2	23,346	8.72

ホ 専業兼業及自小作別農家数

昭28.2.1現在

区分	専 業 兼 業 別			自 小 作 別					
	専 業 農 家 数	兼 業 農 家 数		自 作	自作兼小作	小作兼自作	小 作		
		農を主とする農を兼とする	農を兼とする農を主とする					計	
全農家数	2,036	1,320	420	296	716	1,308	311	214	203

ヘ しちとうい、い、茶收穫高

昭27.2~28.1

産作物名	作付面積 (畝)	反當收量 (貫)	推定實收高 (貫)	名 稱	收穫園地面積 (畝)	收穫畝在本數 (本)	推定實收高 (貫)
しちとうい	580	160	9,280	茶	415	57,800	14,000
い	50	145	725				

ト 農作物收穫高

昭27.2~28.1

農作物名	作付面積 (畝)	收穫面積 (畝)	反當收量	推 定 推 定		農作物名	作付面積 (畝)	收穫面積 (畝)	反當收量	推 定 推 定	
				實 收 高	販 賣 高					實 收 高	販 賣 高
水 稻	55,856	55,856	2.3	12,845	1,700	しろりり	200	200	300	6,000	3,600
陸 稻	850	850	1.0	85	0	かぼちゃ	350	350	196	6,860	4,800
(小 計)	56,706	56,706	—	12,930	1,700	すいか	290	290	319	9,251	6,500
大 麥	1,870	1,850	1.2	222	135	まくわりり	60	60	130	780	500
はだか麥	29,760	29,760	1.5	4,464	1,600	とうがらし	30	30	15	45	5
小 麥	16,110	16,110	1.4	2,225	90	その他の果菜類	60	60	200	1,200	750
(小 計)	47,740	47,720	—	6,911	2,635	だいこん	3,800	3,800	570	216,600	12,500
とうもろこし 乾燥種實	430	430	0.7	30	5	かぶ	200	200	350	7,000	6,000
とうもろこし 未成熟	200	200	—	280	200	ごぼう	450	450	350	15,750	7,800
ワ イ 麥	25	25	1.2	3	3	にんじん	300	300	230	6,900	4,500
えん 麥	50	50	1.0	5	1	しょうが	120	120	350	4,200	2,500
あ わ	400	400	0.9	36	4	れんこん	440	440	400	1,760	11,500
もろこし	20	20	1.0	2	1	その他の根菜類	40	40	300	1,200	800
ま び	60	60	0.6	4	0	かんらん	600	600	420	25,200	20,200
そ ば	230	230	0.7	16	6	結球白菜	700	700	470	32,900	17,000
大豆 乾燥種實	250	250	0.9	22	10	非結球白菜	280	280	345	9,660	7,500
大豆 未成熟	1,200	1,200	—	1,860	1,400	きょうな	150	150	170	2,550	1,700
あ づ き	710	700	0.6	42	20	その他のつりな	1,500	1,500	250	37,500	21,500
えんどう 乾燥種實	100	100	0.9	9	5	ほうれんそう	320	320	307	9,824	7,800
えんどう 未成熟	170	170	—	98	50	ふだんえつ	600	600	400	24,000	12,000
そら豆 乾燥種實	350	350	0.8	29	20	ね ぎ	850	850	260	22,100	11,000
そら豆 未成熟	310	310	—	4,340	4,000	たまねぎ	1,990	1,990	360	71,640	50,500
さ さ げ	150	150	0.5	7	1	たけのこ	400	400	600	24,000	18,000
いんげん 乾燥種實	100	100	0.6	6	4	その他の葉菜類	300	300	250	7,500	4,900
いんげん 未成熟	270	270	—	3,510	2,400	なたね	440	440	0.9	40	10
さつまいも	8,350	8,350	280	233,800	134,000	ご ま	200	200	0.4	8	4
じゃがいも	2,300	2,300	200	46,000	30,000	らつかせい	160	160	300	4,800	2,700
その他のいも類	2,200	2,200	280	61,600	43,500	いちび	150	150	45	675	500
な す	800	800	220	17,600	12,700	こんにゃく	60	60	180	1,080	600
ト マ ト	410	410	361	14,801	9,500	合 計	139,721	139,691	—	—	—
き う り	1,150	1,150	400	46,000	34,000						

5. 林業

イ 林業者

昭28.2.1現在

目 管 世 帯 数			公 私 有 林 管 理 者 数		
總 数	専 業	兼 業	總 数	個人有関係	會社及團體有林(官公有を除く)關係
戸	戸	戸	人	人	人
350	0	350	1,010	980	30

ロ 造林面積

昭28.2.1現在

區 分	縣 有	市 有	會 社 有	その他の團體有		個人 有	合 計	
				部落有	その他			
造 林 (森 林 更 新) 面 積	針 葉 樹 林	スギ	260	520	2	1	290	1,073
		ヒノキ	90	70	1	—	18	179
		マツ	8	25	—	—	44	77
		その他の針葉樹	—	10	5	—	5	20
		計	—	368	620	3	1	357
	廣 葉 樹 林	クリ	—	5	5	—	5	15
		クスギ	—	50	—	5	30	85
		クス	—	19	—	—	5	24
		キリ	—	—	—	—	—	—
		その他の廣葉樹	10	180	15	20	2	80
計	10	254	20	25	2	120	431	
合 計	10	622	640	28	3	477	1,780	
天 然 造 林	針 葉 樹 林	—	—	5	1	5	12	
	廣 葉 樹 林	—	7	—	1	21	29	
	針、廣葉樹混合林	—	1	10	—	1	12	
	合 計	—	8	15	2	27	53	
總 計	10	630	655	30	4	504	1,833	

ハ 公私有林伐採数量

昭27.1~28.1

種 別	林 野 生 産 物 (用材、薪、竹材の生産高は推定伐採量)		種 別	生 産 高	推 定 販 賣 数 量
	生産高	推定販賣量			
用 材 (業 材)	針 葉 樹 材	スギ	1,900	1,800	石
	針 葉 樹 材	ヒノキ	50	50	
	針 葉 樹 材	マツ	1,500	1,400	
	針 葉 樹 材	その他の針葉樹	—	—	
	針 葉 樹 材	計	3,450	3,250	
廣 葉 樹 材	廣 葉 樹 材	クス	—	—	石
	廣 葉 樹 材	キリ	—	—	
	廣 葉 樹 材	その他の廣葉樹	—	—	
	廣 葉 樹 材	計	—	—	
	廣 葉 樹 材	合 計	3,450	3,250	
炭	製 炭 者	黒 炭	—	4,900	4,800
		白 炭	—	250	250
		計	—	5,150	5,050

6. 畜産業

イ 家畜飼養頭羽数

昭28.2.1現在

區 分	飼 養 農 家 数	仔 畜	飼 養 頭 羽 数				計	内 種 牡 牛、馬 頭 数
			成 牛	成 豚	成 鶏	小 計		
大 家 畜	乳 用 牛	14	9	32	—	32	41	—
	役 肉 用 牛	1,229	239	1,362	11	1,373	1,612	4
	計	1,243	248	1,394	11	1,405	1,653	4
畜	馬	120	5	79	101	180	185	1
	合 計	1,363	253	1,473	112	1,585	1,838	5
中 小 家 畜	綿 羊	2	—	2	1	3	3	—
	山 羊	115	36	137	5	142	178	—
	豚	40	170	430	3	433	603	—
	鶏	370	250	590	43	633	863	—
に わ と り	1,890	1,430	12,930	537	13,467	14,897	—	

ロ 乳及鶏卵生産高

昭27.2~28.1

牛 乳 戸 数	牛 乳 頭 数	牛 乳 産 量	山 羊 乳		牛 乳 産 量	鶏 卵 産 量	鶏 卵 産 量	鶏 卵 産 量			
			一頭当り	一ヶ月平均							
7	25	4,200	140	92	95	1,710	15	1,840	24,500	12,980	130

ハ 畜産品生産高

昭27.2~28.1

區 分	毛				肉				毛
	牛毛皮	馬毛皮	豚毛皮	鶏毛皮	牛 肉	馬 肉	豚 肉	鶏 肉	
生産者数	1	1	1	80	1	1	1	80	313
生産数量	790	220	530	219	75,030	16,590	34,650	81	670
推定販賣高	785	219	520	170	75,000	16,410	71,600	30	120

7. 水産業

イ 漁業者及漁船数

昭28.1.1現在

區 分	個人經營 (漁家)	會 社	團 体	その他	計
經營者数	264	2	1	—	267
従業者数	820	—	69	—	889
定置	65	—	1	—	66
所有漁業権数	—	—	—	—	—
特別 専用	—	1	1	—	2
計	65	1	14	—	80

ロ 漁網数

昭28.1.1現在

區 分	個人經營 (漁家)	會 社	團 体	その他	計
刺 網 類	29	—	—	—	29
敷 網 類	3	—	—	—	3
旋 網 類	10	2	—	—	12
曳 網 類	25	2	—	—	27
定置網類	58	—	—	—	58
延縄網類	46	—	—	—	46
その他	570	—	—	—	570
計	722	4	—	—	726

所有漁船数	5 吨未満		5 吨以上	小 計
	無動力船	動力船		
92	5	—	—	97
92	5	—	—	97
141	6	2	—	149
3	—	—	—	3
1	—	—	—	1
145	6	2	—	153
237	11	2	—	250

漁具数	昭28.1.1現在				
	個人經營 (漁家)	會 社	團 体	その他	
バツグラー	211	16	17	—	244
柴 漁 燈	36	4	4	—	44
電 動 機	7	1	—	—	8
計	254	21	21	—	296

二月別漁獲高数

(單位円)

昭27.4~28.3

漁獲物名	昭27												昭28			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
カダグチ	35,801	1,340	36	221	236	999	17,050	21,600	22,608	47,700	30,420	—	178,011			
カツキ	456	4	—	1	217	64	37	135	—	—	1,200	—	2,114			
マサバ	—	38	20	15	9	12	—	—	—	—	—	—	94			
サワラ	—	—	—	—	26	24	130	2	25	—	—	—	207			
ブリ	—	152	4	38	109	48	50	5	1	—	—	—	407			
マダイ	—	1	769	200	—	—	—	20	—	—	—	—	990			
チダイ	—	—	100	1	—	—	—	—	—	—	—	—	101			
其の他の類	—	—	20	10	261	48	57	66	87	2	—	—	551			
ヒラメ、カレイ	467	444	116	215	32	10	46	144	139	107	65	58	1,843			
タチウオ	—	—	—	—	—	—	60	—	—	—	—	—	60			
マアジ	—	—	—	—	120	—	—	—	—	—	—	—	120			
其の他の類	—	24	78	58	67	72	82	94	28	2	—	—	505			
ボラ、イナ	86	—	2	170	725	840	—	1	4	2	30	24	1,892			
コノシロ	—	—	—	—	—	—	20	—	—	—	29	18	67			
ハモ	—	—	90	353	162	83	5	9	3	—	—	—	705			
アナゴ	55	96	140	88	46	12	3	4	23	98	139	197	901			
スズキ	40	13	7	119	138	71	12	16	19	6	—	9	444			
ハゼ、ゴリ	—	—	—	322	18	9	1	167	95	98	69	52	831			
カマス	—	—	4	20	11	94	—	—	—	—	—	—	129			
ハマチ	—	—	—	16	49	77	2	—	—	—	—	—	144			
フグ	—	—	—	55	263	342	248	217	57	1	—	—	1,183			
コチ	—	—	39	41	15	4	—	1	—	—	—	—	100			
フカ	—	—	—	10	19	17	19	8	8	3	9	3	96			
エソ	23	140	220	400	8	132	21	63	105	58	67	49	1,236			
其の他の類	617	673	1,234	780	871	524	374	271	310	482	1,227	786	8,149			
魚類計	37,545	2,925	2,879	3,127	3,402	3,462	18,225	22,823	23,512	48,559	33,255	1,196	200,930			
イカ類	496	759	255	55	20	342	1,033	4,671	1,952	2,403	425	135	12,546			
タコ	63	45	111	147	186	77	5	5	1,221	11	11	15	1,897			
イセエビ	—	—	4	5	7	1	—	—	—	—	—	—	17			
クルマエビ	13	159	214	205	2,279	119	55	58	98	36	17	13	3,266			
其の他の類	313	220	675	1,800	—	1,218	500	551	779	391	129	344	6,920			
カニ類	—	18	28	24	787	2,107	32	651	1	—	—	—	3,648			
シヤコ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20	20			
ナマコ	—	1,100	—	—	—	—	—	4	1,259	1,056	902	1,600	5,921			
ウニ	1,400	—	—	—	—	—	—	—	—	800	200	2,600	5,000			
其の他の水産物類計	2,285	2,301	1,287	2,236	3,279	3,964	1,625	5,940	5,310	4,697	1,687	4,727	39,235			
合計	39,830	5,226	4,166	5,363	6,631	7,346	19,850	28,763	28,822	53,256	34,939	5,923	240,165			

第八編 金融

- 1 金融機関
- 2 銀行信用金庫業務
- 3 相互銀行業務
- 4 郵便局業務
- 5 農業協同組合業務

第 8 編 金 融

本市の金融界は生産力擴充資金や、現在問題の集点である中小企業への融資に努めると共にインフレ抑制に対処する貯蓄政策に呼應し着々その実績をあげているが、昭和28年末現在の主要金融機関としては、銀行（支店）10、信用金庫5、相互銀行5、郵便局9、農業協同組合4、生命保険会社4、火災海上保険会社4、証券会社3、融資会社9、不動産仲介4、質屋65等があり、各共に経済活動に大きな役割を果たしている。

1. 金融機関

イ 金融機関

普通銀行	信用金庫	相互銀行	郵便局	農業協同組合	生命保険会社	火災海上保険会社	証券会社	不動産仲介	融資会社	質屋
10	5	5	9	4	4	4	3	4	9	65

2. 銀行及び信用金庫業務

本市銀行は大分銀行6支店、東京銀行1支店、伊予銀行2支店、福岡銀行1支店である。尙大正11年以來中小企業を対象とする別府信用金庫があり年と共に健全な發展を示し一般商工業者のうける利便は大きい。

イ 銀行及び信用金庫預金

(単位千円) 昭27.4~28.3

区 分 月 別	當座預金	普通預金	通知預金	納税準備預金	定期及 指置預金	定期積金	政府關係預金	その他預金	計
昭和27.4月	207,533	682,178	23,803	9,178	676,420	110,747	1,287	25,065	1,736,211
5月	184,978	697,681	36,471	11,845	726,095	123,349	455	20,824	1,803,698
6月	161,245	683,528	48,381	11,171	781,358	128,524	803	18,961	1,833,971
7月	156,103	648,984	46,524	11,363	813,989	131,339	730	42,535	1,851,567
8月	172,358	652,898	34,799	9,849	846,283	137,217	482	26,430	1,880,316
9月	194,192	686,079	37,356	10,016	868,830	145,101	1,175	39,223	1,981,972
10月	207,617	697,206	28,206	11,096	896,477	155,459	1,385	23,028	2,020,475
11月	202,449	692,862	20,483	10,838	917,565	161,207	963	33,986	2,040,353
12月	268,146	678,021	36,891	8,857	951,397	171,340	652	31,281	2,146,585
昭和28.1月	239,014	686,691	33,361	9,909	976,231	177,866	465	30,520	2,154,057
2月	219,037	715,524	31,637	10,127	981,605	182,193	993	38,755	2,179,871
3月	271,263	759,874	29,420	10,379	994,601	190,602	630	29,288	2,286,057

(大分縣銀行協會、別府信用金庫調)

□ 銀行及び信用金庫貸付

(單位千円) 昭27.4~28.3

區分 月別	手形貸付		証券貸付		當座貸付		割引手形		貸出合計		現金在高		預ヶ金		有限証券	
	口数	金額	口数	金額	口数	金額	口数	金額	口数	金額	口数	金額	口数	金額	口数	金額
昭27.4月	793,140	7,237	9,421	79,841	889,639	57,639	42,834	15,372								
5月	819,106	22,207	9,543	82,482	933,338	83,431	40,829	15,372								
6月	858,439	20,733	9,251	98,090	986,513	57,812	47,470	15,448								
7月	892,431	26,744	9,654	96,789	1,025,618	56,376	44,464	16,448								
8月	926,573	23,211	10,612	110,360	1,070,756	67,053	40,084	16,660								
9月	957,416	25,021	10,353	102,704	1,035,494	116,972	49,182	17,182								
10月	971,182	20,460	11,361	107,166	1,110,169	81,953	53,238	18,157								
11月	998,885	20,266	11,475	111,691	1,142,320	84,570	46,855	18,172								
12月	1,080,949	18,819	12,605	131,318	1,213,691	129,866	63,991	19,704								
昭28.1月	1,053,081	18,347	13,508	126,866	1,216,802	100,062	49,304	20,694								
2月	1,051,128	16,873	13,794	132,798	1,214,595	85,382	49,805	20,66								
3月	1,098,542	14,471	12,475	137,287	1,262,755	158,801	65,628	21,389								

(大分縣銀行協會、別府信用金庫)

3. 相互銀行業務

本市には西日本、福岡、豊和、旭、宮崎の相互銀行各支店があり主として中小企業者の金融機関として一般に利用されている。

イ 相互銀行踏勘定

(單位千円) 昭27.4~28.3

區分 月別	契約高		資金量		貸出金		受入高		支出高		
	件数	金額	現金	預金	給付金	貸付金	掛金	預金	給付金	貸付金	預金
昭27.4月	959,266	277,335	117,631	252,615	150,517	26,391	45,294	12,684	36,941	55,029	
5月	992,355	291,242	129,713	265,348	155,902	30,496	62,261	18,248	53,913	50,179	
6月	1,038,007	295,953	135,993	264,644	171,143	33,076	67,855	13,511	72,857	61,575	
7月	1,097,334	305,729	144,680	267,893	196,983	35,763	89,742	18,446	91,079	81,055	
8月	1,140,949	331,707	152,951	280,972	208,603	37,185	83,055	18,649	63,244	74,784	
9月	1,178,779	335,085	159,732	292,697	214,325	39,978	111,018	22,262	105,068	104,237	
10月	1,223,672	347,098	168,543	301,575	231,647	41,548	97,412	21,958	70,444	88,601	
11月	1,255,954	365,266	165,613	313,668	232,660	44,775	115,478	21,631	83,427	119,414	
12月	1,311,427	385,173	179,999	327,026	256,410	25,977	154,869	26,248	103,293	139,484	
昭28.1月	1,336,324	399,253	170,517	330,001	250,924	44,627	102,644	17,467	79,980	117,125	
2月	1,355,848	410,748	156,111	336,825	241,479	46,428	99,366	24,648	80,441	113,772	
3月	1,368,497	425,939	160,337	344,982	240,025	52,846	137,277	26,971	108,127	133,228	

(西日本、福岡、豊和、旭、宮崎各相互銀行)

4. 郵便局業務

1 貯金、振替貯金、爲替

(單位千円) 昭27.4~28.3

區分 月別	貯金				振替貯金				爲替			
	受入		拂出		受入		拂出		受入		拂出	
	口数	金額	口数	金額	口数	金額	口数	金額	口数	金額	口数	金額
昭27.4月	14,105	28,149	12,926	23,389	787	4,138	407	3,064	2,182	12,439	(1)	(36)
5月	14,546	28,537	12,044	21,353	944	5,221	344	3,123	2,138	10,998	2,868	13,880
6月	15,277	25,084	12,697	22,961	910	4,106	510	3,925	1,810	10,038	2,806	13,422
7月	12,691	25,988	11,803	21,937	903	4,664	484	3,447	1,862	8,791	(1)	(11)
8月	11,947	22,032	11,515	21,332	759	3,608	411	3,230	1,921	8,072	2,705	12,070
9月	15,240	22,829	10,724	20,509	792	4,623	333	4,190	1,698	8,698	(2)	(13)
10月	9,120	24,895	3,266	21,309	888	6,196	359	3,847	1,697	8,886	(1)	(4)
11月	8,807	21,211	3,038	18,175	916	7,121	326	3,612	1,626	11,510	2,014	10,950
12月	10,123	29,197	3,857	25,539	1,032	6,882	586	5,105	2,380	14,679	(2)	(4)
昭28.1月	9,448	28,053	2,750	18,353	827	5,463	287	2,522	1,357	7,637	(2)	(32)
2月	9,006	26,099	3,300	25,529	832	5,845	311	3,510	1,731	9,532	1,753	11,759
3月	9,741	27,768	3,660	25,017	975	6,884	323	2,928	1,661	10,612	1,990	13,022

() 内外國爲替

(別府、龜川、鉄輪各郵便局)

□ 簡易保険(その1)

(單位千円) 昭27.4~28.3

區分 月別	新契約			復活			月末現在契約		
	件数	料額	金額	件数	料額	金額	件数	料額	金額
昭27.4月	523	140	21,860	6	1	176	34,181	5,385	717,506
5月	432	110	18,115	8	1	196	34,285	5,473	732,919
6月	421	121	20,475	19	3	355	34,156	5,520	741,008
7月	437	126	20,220	4	1	108	33,755	5,597	754,202
8月	435	122	19,310	10	3	325	33,481	5,684	768,780
9月	422	128	19,530	15	5	540	35,007	5,738	775,793
10月	552	181	24,035	27	7	1,064	34,876	5,836	789,581
11月	572	187	25,970	13	3	343	35,030	5,944	800,849
12月	441	141	18,670	40	9	1,582	35,538	6,140	826,070
昭28.1月	632	218	31,350	14	3	429	35,561	6,203	837,672
2月	620	225	31,810	22	5	672	35,975	6,443	871,673
3月	677	235	32,820	30	5	677	36,235	6,586	894,536

(別府、龜川、鉄輪各郵便局)

□ 簡易保險(その2)

昭27.4~28.3

區分 月別	満期		死亡		解約失効		
	件数	金額	件数	金額	件数	料額	金額
昭27 4月	21	1,996	46	468,814	204	22,205	3,087,000
5月	34	4,038	29	325,451	285	38,092	3,752,000
6月	37	4,466	17	136,414	316	51,050	7,628,000
7月	36	4,770	27	261,903	716	51,508	9,466,119
8月	34	4,105	16	171,073	495	46,912	7,360,026
9月	47	6,311	44	460,073	488	55,997	9,412,105
10月	76	8,783	30	266,167	428	54,050	7,712,601
11月	72	7,274	23	232,711	267	53,480	7,922,000
12月	52	6,582	32	308,210	200	37,038	6,103,000
昭28 1月	41	4,957	58	623,000	220	40,095	6,374,000
2月	49	5,041	24	352,165	220	38,831	5,456,953
3月	34	3,657	31	459,289	236	46,807	6,668,000

(別府、壺川、鉄輪各郵便局調)

5. 農業協同組合業務

1 農業協同組合諸勘定

(單位千円) 昭27.4~28.3

區分 月別	組合員数	出資額		積立金	借入金	貯金		貸付金	
		總額	拂込済額			預金者数	預金高	貸付人員	貸付金額
昭27 4月	1,456	1,861	1,209	47	5,096	4,786	10,897	188	3,170
5月	1,456	1,861	1,228	47	5,316	4,803	10,896	200	3,641
6月	1,456	1,861	1,234	47	6,291	4,754	10,728	335	4,141
7月	1,456	1,903	1,296	47	6,291	4,751	11,598	347	4,052
8月	1,456	1,919	1,335	47	6,291	4,815	10,650	341	4,006
9月	1,456	1,920	1,335	47	6,291	5,035	10,902	382	3,856
10月	1,456	1,924	1,340	47	6,105	5,141	11,557	372	3,840
11月	1,456	1,932	1,395	47	6,355	5,034	14,533	404	4,009
12月	1,456	1,952	1,492	47	6,393	5,226	14,408	365	3,652
昭28 1月	1,458	1,953	1,510	47	5,306	5,265	14,637	362	3,055
2月	1,458	1,953	1,519	47	4,981	5,269	13,523	238	3,036
3月	1,458	1,963	1,694	47	4,827	5,274	12,941	249	2,990

(別府、壺川、石垣、朝日各農業協同組合調)

第九編 市民經濟

- | | |
|-------|-----|
| 1 生 | 計 |
| 2 水 | 道 |
| 3 電 | 氣 |
| 4 ガ | ス |
| 5 市 民 | 文 化 |
| 6 宗 | 教 |

第9編 市民経済

順調なる物資の出廻りにより市民生活は稍安定の域に達したかの感じがあるが、世界景気競争に依る輸入原料の高騰が原因して物価は逐日漸騰の傾向があり市民に一米の不安を抱かしている。

1. 生 計

本市に於ける昭和27年度の精米配給量は186日分で蔬菜、果実、魚、肉等の副食物は前年度に比較して夫々5~7%の増加を示めている。

イ 主要食糧（米穀）配給数量 (単位kg) 昭27.4~28.3

消費世帯用	米					計	穀		計
	生産世帯用	船	用	労働加配用	其の他		消費世帯用	生産世帯用	
5,508,052	223,945	6,691	306,846	88,800	6,134,334	88,378	63	89,441	6,222,775

ロ 家庭用主要食糧（米穀）月別配給日数 昭27.4~28.3

区分	27	28												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
梗米	15	15	15	15	15	15	15	14	14	15	18	17	18	186

ハ 蔬菜果實販賣数量 昭27.4~28.3

品目	月別27												28			計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
蔬菜	数量 (千貫)	200	208	219	253	260	210	264	238	281	185	162	196	2,676		
	金額 (千円)	11,502	10,793	10,913	12,237	11,589	11,266	14,927	11,548	12,659	8,563	13,616	10,361	133,934		
果實	数量 (千貫)	72	84	82	110	221	148	158	132	141	82	87	110	1,427		
	金額 (千円)	14,118	15,076	13,921	14,386	22,405	23,694	23,861	19,196	18,821	11,314	12,965	17,795	207,552		

(別府青果、中央青果、青森青果、盛岡青果、盛州青果、三上商店調)

ニ 魚介類販賣数量 昭27.4~28.3

区分	27	28												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
数量 (貫)	63,176	58,554	51,837	46,202	44,088	48,051	69,853	56,066	71,117	55,854	61,624	67,547	693,969	
金額 (千円)	19,766	19,225	14,804	13,167	13,405	14,673	19,552	17,371	22,743	16,999	18,617	20,876	211,198	

(別府魚市場、魚市場調)

ホ 精肉販賣数量

種別	牛肉	馬肉	豚肉	鶏肉	その他	計
数量 (百)	74,070	16,590	34,650	960	470	126,740

牛乳月別販賣數量

昭27.4~28.3

區別	月別	27年												28年		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計		
牛乳	販賣	215	232	227	271	290	250	243	220	194	177	178	211			
	金額	2,486	2,804	2,632	3,158	3,601	3,095	3,085	3,797	2,483	2,280	2,277	2,684			
ヨーグルト	販賣	—	—	3,091	9,981	11,747	11,065	9,427	8,386	8,291	6,947	7,097	11,768			
	金額	—	—	—	44	113	132	124	105	94	93	77	81	128		

(注) ヨーグルトの販賣數量は100cc入瓶の個数

(別府牛乳、双葉牛乳調)

酒類月別販賣數量

(單位石)

昭27.4~28.3

區分	月別	27年												計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
數量		1,006	1,036	909	910	920	988	943	1,037	1,129	1,076	977	1,126	12,057

(別府稅務署調)

酒類別販賣數量

(單位石)

昭27.4~28.3

區分	清酒	合成酒	味醂	燒酎	附雜酒	麥酒	計
數量	4,700	412	15	2,094	481	4,355	12,057

(別府稅務署調)

酒類別販賣金額

昭27.4~28.3

區分	清酒	合成酒	味醂	燒酎	附雜酒	麥酒	計
金額	267,728	7,780	1,589	61,712	27,983	157,446	524,233

(別府稅務署調)

煙草販賣高

昭27.4~28.3

口	付		兩		切		測		その他	
	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額	數量	金額
本	811,600	1,132,182	134,397	308,293	271,812	6,123,500	11,807,862	110,450	194,295	

(日本專賣公社別府出張所調)

煙草種類別販賣數量

昭27.4~28.3

種別	販賣數量	販賣金額	種別	販賣數量	販賣金額
朝日	811,600	1,132,182	きよら	1,267,200	2,356,932
ピース	16,704,400	61,472,192	みのり	6,765,000	9,437,175
光	54,004,800	149,053,248	富貴燄	91,300	13,695
新生	19,189,100	35,691,726	桃山	41,250	113,850
パット	44,499,000	62,076,105	日光	69,200	80,445

(日本專賣公社別府出張所調)

2. 水道

本市が始めて上水道を計畫したのは大正2年で給水人口25,000人を目標とし大正6年3月竣工した。その後大正15年2月の第一期工事により人口75,000人まで給水可能となつたが本市の発展に伴ひ人口の増加、昭和10年の1町2村の合併、観光療養客の來別の逐次増加率により給水能力に不足を來し新たに人口10,000人に対して給水し得る計畫を樹て昭和17年起工昭和22年に竣工を見た。後戦後は占領軍の進駐に伴ひ一部分が専用水源として接收されたため昭和23年市内朝見川から伏流水を一日約5,500M³取水してポンプに依り浄水場に揚水する事によつて断水から救はれた。昭和25年7月本市が國際觀光法の適用を受ける事になり大別府市の都市計畫と並行して上水道の大計畫が立てられ、それにもつづいて目下擴張工事が進められつつある。

イ 水道用地配送水管

昭28.3.1現在

區分	水源地	用地	送水管延長		配水管延長	
			舊市内	1,995m	50,038m	
別府	乙原	貯水池用地 水源保護用地	6,118坪58			
	站返	貯水池用地	918'79			
	淨水場	朝見淨水場用地	6,046'80			
	揚水場	朝見揚水場用地	214'30	朝見川	522	
	送配水管敷設用地		3,308'45			
龜川	湯山	水源池用地	2,872'00	龜川地區	4,156	10,654
	羽室	配水池用地	284'00			
	龜川	配水池用地	2,574'00			
	溫水	水源池用地	1,671'50	溫水線	4,500	
	平田	減壓揚付用地	1'30			
朝日	東山	配水池用地	3,300'00	朝日地區	216	3,775
石垣	春木川	配水池用地	992'89	石垣地區	—	5,200
	實相寺	配水池用地	15'00			
合	計		29,432'89	11,389		69,467

ロ 給水栓數

昭28.3.1現在

區別	専用私設共用	公設	温泉	船舶	計	消火栓	給水戸數
別府	6,138	171	50	4	6,363	504	世帯15,123戸人口62,005人
龜川	1,257	39	7	—	1,303	51	2,274
朝日	285	11	—	—	296	21	450
計	7,680	221	57	4	7,962	576	17,847

ハ 水量

昭27.4~28.3

區分	給水總量	一日使用量	一日一人當り使用量
別府	5,856,356 M ³	16,044.8 M ³	0.264 M ³
龜川	1,019,001	2,791.7	0.272
朝日	316,703	867.6	0.478
計	7,192,060	19,704.1	0.271

ニ 使用料

昭27.4~28.3

區分	専用私設共用	公設共用	温 泉	船 舶	發 水 器	計
別 府	26,657,434	981,632	1,134,933	509,255	1,576,190	30,859,444
龜 川	2,746,283	224,331	576,758		298,370	3,845,742
朝 日	840,094	34,430			72,980	947,502
計	30,243,811	1,240,393	1,711,691	509,255	1,947,540	35,652,690

ホ 消火栓數

(單位個) 昭28.4.1現在

地域別	警 市 内	龜 川	朝 日	石 垣	計
口徑別					
75 MM	48.3	51	21	21	576

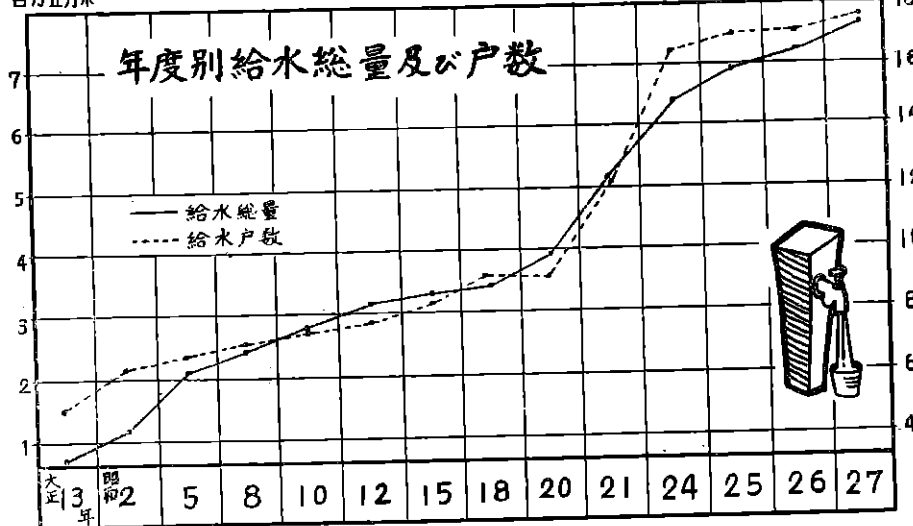
ハ 主要工事一覽表

昭28.4.1現在

工 種	施設名稱	起工年月日	竣工年月日	工 費	計画給水人口
創設(齋別府町)	乙原水源池 點返水源池	大正2年11月25日	大正6年3月27日	373,560円	25,000人
第一回擴張工事	同 上	同 15年2月6日	昭和3年3月31日	502,590	75,000
第二回擴張工事	温木水源池	昭和17年1月19日	同 22年3月30日	1,601,870	10,000
創設(齋龜川町)	湯山水源池	同 7年12月22日	同 9年3月31日	83,940	6,500
" (舊朝日村)	同 上	同 2年9月14日	同 3年4月20日	32,188	2,400
第三回擴張工事	朝見川揚水場	同 23年4月8日	同 23年11月30日	4,621,310	(取水計畫) 一晝夜 5,500立方丈
第四回擴張工事	温木水源池	同 26年3月23日	同 29年3月31日	159,000,000	(予定) (予定額) 91,000

百万立方丈

千戸



3. 電 氣

イ 電 灯

昭27.4~28.3

區分	從 電	定 額	大 口	臨 時	計
軒 數	11,259	6,248	112	61	17,680
灯 數	117,087	12,473	12,589	223	142,372
使用 K W H	7,339,314	2,462,882	1,224,190	39,875	11,066,261
金 額	92,951,697	26,270,062	14,979,726	752,509	134,953,994円

(九州電力株式會社調)

ロ 動 力

昭27.4~28.3

區分	大 口	小 口	業 務	計
軒 數	6	549	6	561
契約 K W	505	2,503	493	3,501
使用 K W H	1,561,436	1,855,202	693,727	4,110,365
金 額	9,615,247	22,745,657	60,38,736	33,399,640円

(九州電力株式會社調)

ハ 其 の 他

昭28.4.1現在

電 熱 使 用 戸 數	支 拂 物 件	電 線 路 百 長	同 回 線 延 長
796	3,230	15,199	69

(九州電力株式會社調)

4 ガ ス

イ ガス消費量

區 分	昭 和 2 6 年 度					昭 和 2 7 年 度						
	家庭用	工業用	醫療用	商業用	その他	計	家庭用	工業用	醫療用	商業用	その他	計
供給戸數	1,256	1	32	98	10	1,397	1,373	1	33	137	8	1,552
全孔數	1,865	20	75	184	25	2,189	2,032	20	78	262	20	2,412
供給量	248,193	3,740	25,120	90,201	5,040	372,284	344,473	4,730	30,780	112,260	6,125	498,368

(別府瓦斯會社調)

5. 市民文化

イ 映画入場者數

昭27.4~28.3

月別	區分											
	27年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	28年1月	2月	3月
人 員	127,834	101,179	97,835	92,914	89,926	88,294	121,069	121,176	100,114	78,856	138,187	73,467
一日當り	4,261	3,164	3,161	2,997	2,901	2,943	3,905	3,739	3,219	2,544	4,935	2,370
金 額	4,666	3,363	2,651	2,384	2,272	2,784	3,674	3,607	3,077	1,635	3,146	1,554
一日當り	155,538	108,468	88,366	76,890	73,279	92,791	118,521	120,237	99,257	52,742	112,352	50,155

(大分縣別府縣稅事務所調)

ロ ラヂオ聴取戸數

地區別	交 信 契 約 數			世 帯 數	普 及 率
	有 料	無 料	計		
大 分 縣	117,442		2,209	119,651	48.5 %
別 府 市	11,108		380	11,488	49.02

(大分放送局調)

ハ 映画館及び劇場

昭28.11.1現在

所在地	館名	種類	定員	所在地	館名	種類	定員
松原	世界館	映画	376	海門寺	シネマパレス	映画	70
"	松葉館	"	764	北町	ブルバード	"	160
泉都街	泉都座	"	600	龜川	銀映	"	108
橋町	スバル座	"	330	松原	松濤館	演劇	800
本町	オリオン座	"	425	龜川	龜川館	"	800
海門寺	新映	"	63	鉄輪	大正館	"	350
"	国際館	"	840				

(大分縣別府縣税別府出張所調)

6. 宗教

市に於ける宗教団体は神社11、寺院25、教会23、で寺院では真宗が最も多く、教会では天理教が首位を占めている。終戦後の宗教界は終戦の虚脱状態から神社寺院の参拝者が一時影をひそめていたが正気を取り戻すと共に次第にその数も増加する傾向を示している。しかし既成宗教にあきたらぬものがあると共に一般に既成宗教の活動がにぶつたのに反して、人を引きつける魅力を持つ新興宗教や、これに類似したものが活気を呈するに至りこれを信じる人も次第に増加している。

しかし何と云っても既成宗教は大きな地盤を持ち衰えた勢力を挽回せんとして近時街頭進出も見られ、今や既成宗教と新興宗教とのせり合せ状態にあるといえる。

兎に角既成新興宗教、いつれを問はず人間の心の糧として宗教は必要な要素と思はれるのでこれらを基盤とする修養会の如きものゝ組成が望ましい。

第十編 社 會

- 1 厚生救護
- 2 労働
- 3 未亡人の現況

イ 神 道

昭28.12.1現在

合 計	神社本廳	天理教	金光教	神理教	PL教團	出雲大社教	天照皇大神宮教
23	11	4	3	1	1	1	2

ロ 佛 教

昭28.12.1現在

合 計	淨土宗	真 宗	黄檗宗	臨濟宗	眞言宗	曹洞宗	法華宗	日蓮宗	天台宗	時 宗
25	3	8	2	3	3	2	1	1	1	1

ハ 基 督 教

昭28.12.1現在

合 計	6	基督教	5	カトリック教	1

第10編 社 会

経済界の不況に伴い企業の整備は多数の失業者を出すに至り老令者、未亡人遺族等の生活能力に乏しいものは勿論、これら失業を契機とする生活の窮迫化に伴う要保護者は逐次増加しつつある。勿論これ等要保護者に對し今日まで種々な対策が施されて来たが必ずしも充分とは言いがたい實情であり今後社会保障制度の確立と共に社会的施策の強化が期待される。

本市の生活保護対象は年々増加の傾向にあつて昭和27年の生活保護者6,379人 支出した金額60,643,722円で昭和24年と比較して2,509人・29,919,492円の増加となつており社会福祉事業の重要性が窺はれる。

1 厚生救護

イ 生活保護法による被保護状況

昭27.4~28.3

種 別	生活扶助	住宅扶助	教育扶助	医療扶助	出産扶助	生業扶助	葬祭扶助	計
實 世 帯 数	883	542	637	897	30	8	107	3,104世帯
實 人 員	2,525	1,614	1,175	920	30	8	107	6,379人
支 出 金 額	15,229,686	1,391,974	3,452,630	40,268,726	31,441	27,570	241,685	60,643,722円

ロ 行旅病人及行旅死亡人

昭27.4~28.3

種 別	行 路 病 人		行 路 死 亡 人		計	
	人 員	金 額	人 員	金 額	人 員	金 額
計	30	156,490	45	95,582	75人	252,072円

ハ 被保護者の保護対象別

昭28.4.1.現在

区 分	外 地 歸 還 者		身 体 障 害 者		單 身 遺 家 族		一 般 未 亡 人	老 令 者	そ の 他	合 計
	中 共 地 区	そ の 他	元 軍 人 軍 属	一 般	未 亡 人	一 般				
世 帯	2	86	8	40	13	9	156	189	490	993世帯
人 員	3	196	17	96	37	18	414	255	1,133	2,169人

ニ 未復員者及特別未帰還者留守家族に対する給與状況

昭27.4~28.3

種 別	實 世 帯	實 人 員	金 額
未 復 員 者	62	116	1,461,200
特 別 未 歸 還 者	25	56	646,740
計	87世帯	172人	2,107,940円

ホ 公 営 住 宅

昭27.4~28.3

種 別	戸 数	収 容 人 員	建 坪	工 事 費	家 賃
庶 民 住 宅	70戸	300人	873.36坪	27,567,524円	1,198,800円
災 害 住 宅	53	220	466.92	9,693,705	546,960
引 揚 者 住 宅	90	376	625.50	6,856,550	372,480
計	213	896	1,970.78	44,117,779	2,118,240

～ 募 金 状 況

昭27.4～28.3

目 標 額			實 績 額		
総 額	共同募金	日 赤 募 金	総 額	共同募金	日 赤 募 金
2,581,840	1,625,800	956,040	2,445,890	1,830,413	615,447

ト 引 揚 復 員 関 係

昭28.4.1.現在

引 揚 世 帯 数	引 揚 人 員	復 員 員	一 般 邦 人 未 引 揚 者				未 復 員			
			ソ 連 地 区	中 共 地 区	そ の 他	計	ソ 連 地 区	中 共 地 区	そ の 他	計
1,960	3,206	1,792	70	12	6	88	52	8	4	64

チ 市 内 収 容 福 祉 施 設

A 育 児 事 業 所

昭28.4.1.現在

名 称	経 営 主 体	職 員	収 容 実 人 員	所 在 地
小 百 合 愛 児 園	聖 母 修 道 會	65	363	本 願 浦 田 分 園 上 原
白 菊 寮	聖 心 光 の 使 徒 修 道 會	10	40	莊 園
平 和 園	慈 愛 園	6	29	北 野 口
希 望 の 家	個 人	3	17	吉 弘
榮 光 園	キ リ ス ト 教 榮 光 園	6	40	莊 園
計		5	90	489

B 養 老 事 業 所

昭28.4.1.現在

名 称	経 営 主 体	職 員	収 容 実 人 員	所 在 地
別 府 養 老 院	別 府 養 老 院	7	68	實 士 見
紅 葉 寮	カ リ タ ス 修 道 女 會	5	41	山 家
計		2	109	

C 保 育 事 業 所

昭28.4.1.現在

名 称	経 営 主 体	職 員	収 容 実 人 員	所 在 地
別 府 障 保 館	障 保 館 賛 助 會	9	168	實 士 見
別 府 中 央 保 育 所	別 府 市	11	190	南 末 園
さ くら ぼ 保 育 所	個 人	4	30	西 野 口
聖 人 保 育 所	個 人	4	38	上 人
計		4	23	426

D そ の 他 の 事 業 所

昭28.4.1.現在

名 称	経 営 主 体	職 員	収 容 実 人 員	事 業 名	所 在 地
別 府 厚 生 館	大 分 縣 福 祉 會	2	55	兒 童 福 祉 施 設	不 老 町
博 愛 寮	別 府 博 愛 會	3	22	更 生 施 設	行 合 町
新 生 の 家	別 府 商 店 街 協 同 組 合	3	250	宿 所 提 供 施 設	山 家 町
計		3	8	327	

2 勞 働

1 失 業 保 險 業 務 取 扱 状 況

昭27.4～28.3

月 別	離 職 票 受 付 件 数	初 回 受 給 者 格 認 定 件 数	任 滿 了 者 数	初 受 給 者 数	保 險 金 給 付 の 失 業 週 数	保 險 金 給 付 総 額	委 嘱 さ れ た 件 数	給 付 限 制 件 数
27年 4 月	252	238	246	232	2,920	2,794	6	30
5	154	154	142	133	3,011	2,915	2	43
6	230	228	159	157	2,958	2,957	8	5
7	131	131	138	211	3,865	3,863	15	14
8	110	109	106	95	3,539	3,690	5	37
9	110	108	95	94	3,454	3,537	8	40
10	128	122	145	143	3,470	3,724	13	35
11	116	116	89	102	2,674	2,963	15	39
12	101	93	97	117	2,895	3,887	7	15
28年 1 月	151	151	115	120	3,254	3,660	3	47
2	128	124	89	91	2,419	3,492	7	41
3	123	123	129	142	2,724	4,004	6	34
計	1,734	1,697	1,550	1,637	37,183	41,486	95	330

(別府公共職業安定所調)

ロ 常 用 有 効 求 入、紹 介、就 職 状 況

昭27.4～28.3

月 別	有 効 求 入			紹 介			就 職		
	総 数	民間事業	そ の 他	総 数	民間事業	そ の 他	総 数	民間事業	そ の 他
27年 4 月	350	327	23	627	520	107	291	223	68
5	337	264	73	620	450	170	272	200	72
6	210	190	20	610	571	39	258	237	21
7	508	352	156	772	577	195	414	245	169
8	297	286	11	415	386	29	130	110	20
9	350	336	14	584	565	19	282	273	9
10	390	380	10	615	602	13	338	333	5
11	237	233	4	418	417	1	177	176	1
12	308	278	30	445	377	68	243	187	56
28年 1 月	515	469	48	580	530	50	309	267	42
2	411	352	59	807	791	16	451	436	15
3	388	376	12	595	589	6	313	309	4
計	4,301	3,843	460	7,088	6,375	713	3,478	2,996	482

(別府公共職業安定所調)

ハ 安定所への来所

昭27.4-28.3

月 別	常用新規 求職者数	常用又は臨時求 職中の日雇に有 効登録された者	臨時又は日雇 新規求職者数	常用求職者の 再来又は再登 録の来所	職業相談及指導面接	
					全 数	身体障害者数
27年4月	899	1,076	84	3,440	1,275	0
5月	914	1,325	69	3,713	1,184	3
6月	876	1,508	67	3,523	1,291	3
7月	940	1,342	107	4,503	1,226	7
8月	861	1,393	94	4,032	1,214	21
9月	970	1,349	93	4,036	1,311	54
10月	757	1,313	84	4,061	769	24
11月	555	1,261	69	2,988	874	12
12月	529	1,304	56	2,920	692	20
28年1月	767	1,272	74	2,927	1,007	8
2月	744	1,233	69	2,884	718	7
3月	833	1,202	96	3,410	649	12
計	9,615	15,378	952	42,437	12,210	171

(別府公共職業安定所調)

ニ 臨時日雇有効人員、求人紹介就職状況

昭27.4-28.3

月 別	有 効 求 人			紹 介			就 職		
	總 数	民間事業	その他	總 数	民間事業	その他	總 数	民間事業	その他
27年4月	15,860	919	14,941	15,796	868	14,928	15,705	777	14,928
5月	17,617	613	17,004	17,442	508	16,934	17,525	578	16,947
6月	16,835	501	16,334	16,731	463	16,268	16,649	409	16,240
7月	16,284	413	15,871	16,246	392	15,854	16,178	349	15,829
8月	18,059	430	17,629	18,055	429	17,626	17,982	396	17,586
9月	15,945	432	15,513	15,938	431	15,507	15,886	403	15,477
10月	17,160	583	16,577	17,154	501	16,573	17,070	544	16,526
11月	12,557	567	11,990	12,540	564	11,976	12,493	546	11,947
12月	21,435	1,203	20,232	21,433	1,201	20,232	21,374	1,162	20,212
28年1月	14,979	713	14,266	14,946	709	14,237	14,894	666	14,228
2月	17,555	757	16,798	17,530	740	16,790	17,482	730	16,752
3月	17,365	512	16,853	17,329	504	16,835	17,274	461	16,813
計	201,651	7,643	194,008	201,150	7,390	193,760	200,506	7,021	193,485

(別府公共職業安定所調)

ホ 労働争議

管内に於ける労働争議としては電産別府分會の本部指令に基く事務スト、職場放棄、日雇直拒否、時間外勤務拒否及び關西汽船の中央指令に基く人員整理、ベースアップ、越年資金斗争の事務スト以外他の労組の實力行使による争議については特記すべきものは見られなかつた。これは管内が中小企業が主体をなしておりその實情からみても争議行為を行うことは不可能に近い状態であり、又昨年以降中小企業が漸次立直り、賞金の遅配欠配の解消、ベースアップ等により生活も一應安定し、すべての問題を団体交渉一本で平和裡に解決していることが主因をなしていることが出来る。しかしながら一年間を回顧するとき最も特記されるのは六月の日雇労働者の賃上げ斗争で積極的な日共の指導による連日の市役所との団体交渉入り込み、ハンスト、武装警官の出動、地勢評議員の乗出し職安前に於ける地勢評對日共の對決、日雇労働者間の對立等々深刻であつた。

A 産業別性別単位労働組合組織状況

昭28.7.1現在

区分	組 合 数	業 別							公 務
		織 業	建 設 業	製 造 業	卸 小 販 業	金 融 及 保 險 業	運 輸 及 通 信 業	サ ー ビ ス 業	
組 合 計	71	760	49	11	30	2,198	3,214	1,422	
合 員 計	46	462	43	9	16	1,700	2,130	1,159	
合 員 別	25	298	6	2	14	498	108	263	

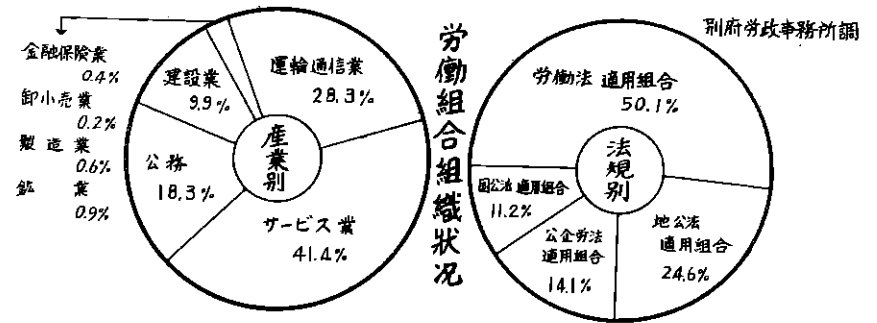
(別府勞政事務所調)

B 關係法規別労働組合組織状況

昭28.7.1現在

区分	組 合 数	法 規 別				合 計
		労働法適用組合	公企勞法適用組合	國公法適用組合	地公法適用組合	
組 合 計	2,851	807	635	1,406	5,709	
合 員 計	2,040	599	397	980	4,016	
合 員 別	821	208	238	426	1,693	

(別府勞政事務所調)



C 労働協約締結状況

昭28.7.1.現計

種 別	協約締結可能なもの		協約を有しているもの		無協約のもの	
	縣内交渉	中央交渉	縣内交渉	中央交渉	縣内交渉	中央交渉
組 合 数	13	20	8	17	5	3
組 合 員 数	831	2,766	564	2,638	267	128

(別府勞政事務所調)

昭28.7.1.現在

D 無協約状況

無 協 約		設立以來締結したことなし		締結したが現在失効	
組 合 数	組 合 員 数	組 合 数	組 合 員 数	組 合 数	組 合 員 数
8	395	5	174	3	221

(別府勞政事務所調)

3 未亡人の現況

本市に於ける未亡人會の現況は昭和27年3月12日約2千人の會員を結集して発足した。本市に於ける未亡人會の組織運営は會長、副會長、書記、會計を置き之を校區別に分けている。そして常に未亡人の相互福祉の爲の活動を目的とし、會の基金は會員自身の手と汗によつて作り出されている。又失業者及び生活困難者に対する内職指導は他に優先し會員の道徳高揚も度々、知名士を招いての講演、座談會等を開催している。

昭28.9.1.現在

イ 年令別未亡人数

年 令 別	20才以下	21~30才	31~40才	41~50才	51~60才	計
人 員	0	94	578	689	484	1,845

昭28.9.1.現在

ロ 寡婦になつた原因別

原 因	職 業 死	死 亡	火 災 死	病 死	障 害 別	未 歸 還	そ の 他	計
人 員	398		35	916	365	36	95	1,845

昭28.9.1.現在

ハ 寡婦になつてからの年数

年 数 別	1~2年	2~4年	4~6年	6~8年	8~10年	10年以上	計
人 員	135	290	377	332	316	395	1,845

昭28.9.1.現在

ニ 未亡人の學歷

學 歴 別	小 未 修 了	小 卒	高 小 卒	旧 制 中 卒	旧 制 專 門 卒	そ の 他	計
人 員	68	388	516	423	70	380	1,845

昭28.9.1.現在

ホ 就業状況

就 業 別	目 営	日 雇	内 職	常 勤	失 業	無 職	計
人 員	272	133	482	138	231	589	1,845

昭28.9.1.現在

ヘ 生活状況

区 別	生活保護を受けている	保護を受けていないが生活困難	どうにか生活している	余裕がある	計
人 員	380	636	749	80	1,845

昭28.9.1.現在

ト 希望貸付金別

希望貸付金	生 業 支 費	生 業 支 費	技 能 修 生 活 金	専 門 修 生 活 金	専 門 修 生 活 金	専 門 修 生 活 金	専 門 修 生 活 金	専 門 修 生 活 金	計
人 員	158	8	20	48	135	75	7	451	

昭28.9.1.現在

チ 月額収入別

收 入	3,000以下	3,000~5,000	5,000~7,000	7,000~9,000	9,000~10,000	10,000~15,000	15,000~20,000	20,000以上	計
人 員	143	427	255	72	34	44	24	16	1,015

第十一編 保健衛生

1 衛生施設

2 防疫状況

3 疾病罹患状況

第11編 保 健 衛 生

1 衛 生 施 設

1 医 療 保 健 調

昭28.3月末現在

分 類	事 業 所 数	組 織 別				従 業 者 数
		個 人	法 人	法 人 で ない 団 体	公 営	
診 療 所	124	121	2	—	1	291
病 院	15	5	4	—	6	595
療 術 業	250	236	—	14	—	330
保 健 所	1	—	—	—	1	55
助 産 婦 業	43	43	—	—	—	195
獸 医 業	4	4	—	—	—	4
保 健 所	24	—	20	—	4	150
総 計	461	409	26	14	12	1,620 ^人

□ 保 健 所 機 関

昭28.3.31現在

所 在 地	管 内 区 域	職 員							
		総 数	医 師	獸 医 師	薬 劑 師	保 健 婦	養 護 婦	事 務 員	そ の 他
別 府 市 上 田 ノ 湯	別 府 市 一 門	55 ^人	7	5	2	8	1	30	2

(大分縣別府保健所調)

ハ 取 扱 件 数

昭27.4.~28.3.

區 分	健 康 集 団	患 者	保 健 婦	榮 養 医 藥	予 防 防 疫	環 境 衛 生	食 料 品	試 験				
	相 談 検 診	治 療	家 庭 訪 問	相 談 社 會 事 業	接 種 措 置	監 視 監 視	監 視	査 査				
総 数	117,439	20,653	28,731	1,621	2,112	400	2,342	7,502	637	10,919	8,727	33,795

(大分縣別府保健所調)

ニ 医 療 従 業 者 数

昭28.3.31現在

區 分	医 師	齒 科 医 師	薬 劑 師	養 護 婦	助 産 婦	保 健 婦	獸 医 師	養 護 婦	事 務 員	そ の 他	
	総 数	2,019 ^人	190	68	113	643	189	82	8	228	167

(大分縣別府保健所調)

2 防 疫 状 況

1 ト ラ ホ ー ム 検 診 治 療 状 況

昭27.4~28.3

種 別	要 検 診 人 員		受 検 人 員		治 療 人 員		期 末 患 者	
	第 一 期	第 二 期	第 一 期	第 二 期	第 一 期	第 二 期	第 一 期	第 二 期
小 学 校	11,687	11,687	11,500	11,032	247	355	869	621
中 学 校	4,836	4,836	4,276	4,301	55	140	344	275

▽ 豫防接種實施狀況

昭27.4~28.3

區分	種痘	腸、パラチブス	百日咳	ジフテリヤ
該當人員	5,337	78,000	2,930	5,337
接種完了者	5,165	23,595	906	3,919
接種率%	96.8%	32.4%	27.2%	73.4%

ハ 定期種痘狀況

昭27.4~28.3

區分	種痘			除性	検査完了	未種痘
	完全痘痘	不完全痘痘	免役反應			
總數	5,337	1,714	167	3,275	9	5,165

ニ DDT撒布狀況

昭27.4~28.3

區分	有料消毒面積		無料消毒面積	
	液体	粉末	液体	粉末
總數	38,919坪	12,669	2,996	18,569

ホ 定期消毒狀況

昭27.4~28.3

場所	市公共温区泉	官社公署施設	劇場	その他
回数	3,705	1,146	544	213

ヘ、ダスタンゴ成績

昭27.4~28.3

總數	人体撒布	差風除除
21,712人	5,907人	15,805人

ト 鼠族驅除狀況

昭27.4~28.3

施行世帯數	配布毒餌	食用數比	死体發見數
67,857	365,599	46%	552

チ ツベルクリン反應陽性者數

昭27.4~28.3

區分	總數	ツ反應實施數	陽性者	百分比
幼稚園	1,865	1,473	801	54.4%
小學校	11,557	10,887	5,867	53.8%
中學校	4,790	4,291	3,241	75.5%

リ 狂犬病予防狀況

昭27.4~28.3

登録頭數	予防注射済數	捕獲數	処分數	鑑札再交付數	被害(咬傷)
1,845	2,836	1,189	1,060	104	62件

ヌ 埋火葬狀況

昭27.4~28.3

區分	火葬			埋葬		
	市民	非市民	死産	男	女	死産
總數	846	176	320	49	49	213

ル 屠畜頭數

昭27.4~28.3

區分	月別												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
牛	823	60	70	44	60	74	59	78	70	96	90	57	65
馬	237	6	9	10	16	30	25	14	14	35	18	31	29
豚	693	55	57	41	48	38	38	62	55	70	72	81	76
鴨	30	6	2	4	2	0	2	2	4	2	3	2	1

ヲ 塵芥

昭27.4~28.3

塵芥搬出車	塵芥搬出量				掃除対象戸數	搬出人一人當り戸數
	自動車	三輪車	馬車	計		
6台	4台	1台	11,099,600	33,300	11,132,900	15,683

ヲ 屎尿

昭27.4~28.3

屎尿搬出車	屎尿搬出量			農村貯溜槽還元投入戸數	掃除対象戸數	搬出人一人當り戸數	公衆便所
	自動車	リヤカー	計				
2台	1台	10,293	14,366	24,654	2,380	22,284	13,439

3 疾病罹患狀況

イ 月別病床利用率

昭27.1~27.12

區分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
精神病院	115	115	115	115	115	112	112	112	112	112	112	112	113
入院患者延數	1,287	1,159	1,208	1,233	1,401	1,411	1,372	1,459	1,509	1,518	1,511	2,729	17,797
一日平均患者數	41.5	41.3	39.6	41.1	45.1	47.0	44.2	42.9	40.3	43.9	48.7	83.0	48.7
病床利用率	36.0	36.0	30.9	35.7	39.2	41.9	39.4	38.3	44.9	43.6	43.4	78.5	43.3
総合診療所	777	797	807	807	807	807	807	807	807	807	807	807	803
入院患者延數	22,818	22,029	23,757	23,380	24,405	23,635	24,405	24,661	23,543	24,154	33,364	24,379	283,933
一日平均患者數	736.5	705.7	761.3	799.2	787.2	787.8	787.2	776.2	784.7	779.1	778.8	786.4	777.8
病床利用率	94.7	98.7	94.9	96.5	97.8	97.8	97.5	96.1	97.2	96.5	96.5	97.4	96.8
その他の病院	1,164	1,184	1,184	1,184	1,160	1,160	1,160	1,160	1,160	1,110	1,110	1,010	1,147
入院患者延數	27,632	26,058	29,771	29,099	29,899	27,469	28,420	29,289	26,939	27,341	24,760	23,166	331,004
一日平均患者數	892.9	839.2	960.3	966.9	964.4	928.3	916.7	944.8	897.9	881.9	825.3	747.2	906.8
病床利用率	75.4	81.0	81.0	81.6	83.1	80.1	79.0	78.8	77.4	86.0	74.3	73.9	79.0
合計	2,075	2,096	2,106	2,106	2,082	2,079	2,079	2,079	2,079	2,029	2,029	1,829	2,064
入院患者延數	51,737	50,046	54,735	53,625	55,905	52,915	54,177	54,910	51,997	53,013	49,635	50,274	632,734
一日平均患者數	1,671.8	1,787.3	1,965.5	1,787.5	1,796.9	1,763.9	1,748.2	1,763.2	1,733.0	1,710.0	1,654.5	1,622.7	1,733.5
病床利用率	80.5	85.5	83.6	84.8	85.3	84.8	84.0	85.0	83.3	84.2	81.5	81.1	83.9

(註) 病床利用率とは病床平均数100に対する1日当り入院患者数の割合

(大分縣別府保健所調)

ロ 年令別死亡者數

昭27.4~28.3

年令別	死産	1~5才	6~10才	11~20才	21~30才	31~40才	41~50才	51~60才	61才以上
總數	533	139	16	45	120	102	108	176	447
100%	31.6	8.3	0.9	2.7	7.1	6.1	6.4	10.4	26.5

病名別死亡者数

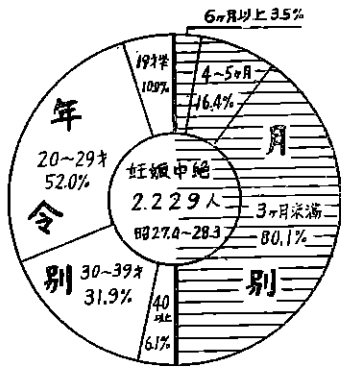
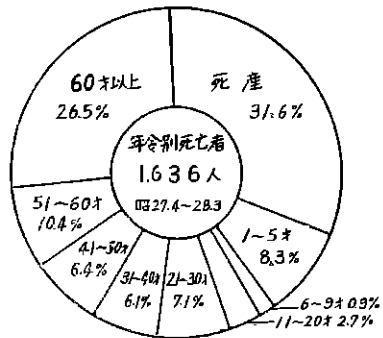
昭27.4~28.3

病名	老衰病	消化器	呼吸器	脳溢血	肺炎	腸炎	胃腸病	心臓病	肋膜炎	腎臓炎	發育不全	委縮腎	傳染病	死産	腹膜炎	癩死	癩失調	その他
總数	85	14	230	111	24	19	109	99	4	23	8	8	15	542	25	79	7	274
100%	5.0	0.8	13.6	6.6	2.0	1.1	6.5	5.9	0.2	1.4	0.5	0.5	0.9	32.1	1.5	4.7	0.4	16.3

二 傳染病発生数

昭27.4~28.3

病名	赤痢(疫痢)	腸チフス	パラチフス	猩紅熱	日本脳炎	デフテリア	總計
患者数	108人	5人	4人	3人	9人	23人	152人
轉歸別							
全治	102	5	4	3	4	20	138
死亡	6	0	0	0	5	3	14
市立病舎收容数	99	5	4	2	9	16	135



三 妊娠届出数

昭27.4~28.3

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
總数	128	176	153	157	149	140	146	137	139	153	151	159

四 妊娠中絶状況 (月別、年令別)

昭27.4~28.3

区分	月別			年令別			
	3ヶ月未満	4~5ヶ月	6ヶ月以上	19才以下	20~29才	30~39才	40才以上
總数	1,786	365	78	223	1,158	712	136
100%	80.1	16.4	3.5	10.0	52.0	31.9	6.1

五 妊娠中絶状況 (職業別)

昭27.4~28.3

職業	無職	農林水産業	商工業	銀行、會社員	その他
總数	1,805	221	22	3	178
100%	81.0	10.0	1.0	0.01	8.0

チ 法定傳染病発生死亡数の年次的推移

昭23~昭27

区分	年次	昭和23年		昭和24年		昭和25年		昭和26年		昭和27年	
		實数	率	實数	率	實数	率	實数	率	實数	率
腸チフス	患者	8	8.4	1	1.05	2	2.14	4	4.29	3	3.22
	死者	7	(8.4)	(1)	(1.05)	—	—	(2)	(2.14)	—	—
パラチフス	患者	5	5.3	1	1.5	1	1.07	2	2.14	—	—
	死者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
赤(疫)痢	患者	12	12.7	13	13.7	17	18.4	85	91.1	97	104.30
	死者	(4)	(4.2)	(1)	(1.05)	(5)	(5.36)	(21)	(22.5)	(9)	(9.67)
日本脳炎	患者	1	1.06	5	5.26	2	2.14	3	3.21	6	6.44
	死者	(1)	(1.06)	(3)	(3.17)	—	—	(2)	(2.14)	(5)	(5.36)
流行性腦膜炎	患者	5	5.3	8	8.42	3	3.21	3	3.21	—	—
	死者	(2)	(2.1)	(3)	(3.17)	—	—	(1)	(2.14)	—	—
猩紅熱	患者	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2.14
	死者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
デフテリア	患者	28	26.7	22	23.1	15	17.1	9	9.64	18	19.34
	死者	(6)	(6.3)	(2)	(2.11)	(3)	(3.21)	—	—	(3)	(3.22)
發疹チフス	患者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	死者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
コレラ	患者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	死者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ペスト	患者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	死者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
痘	患者	—	—	2	2.11	2	2.14	—	—	—	—
	死者	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	患者	59	62.5	55	57.8	41	43.9	106	113.5	126	135.43
	死者	(13)	(13.8)	(10)	(10.5)	(9)	(9.64)	(26)	(27.8)	(17)	(18.27)

註 率は罹患率及び死亡率を以て人口10万対である

(大分縣別府保健所調)

リ 結核死亡数及び死亡率の年次比較

昭22~昭27

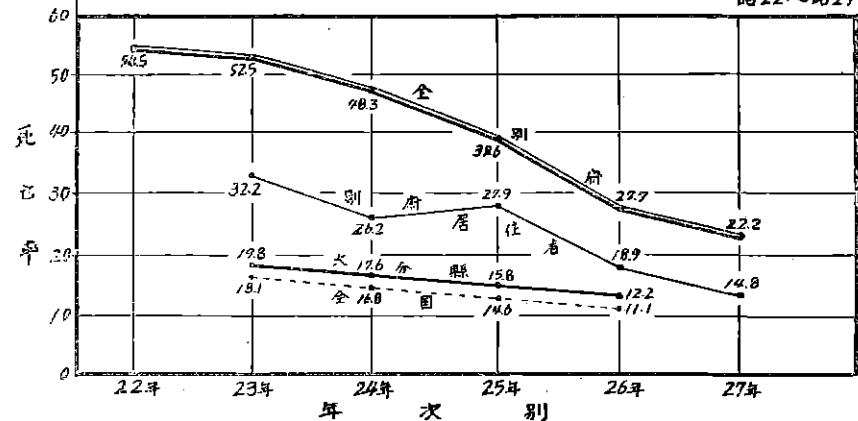
年次	結核死亡者總数		別府市居住者のみ	
	死亡数	死亡率(人口1万対)	死亡数	死亡率(人口1万対)
昭和22年	527	54.5	—	—
昭和23年	496	52.5	304	32.2
昭和24年	462	48.3	249	26.2
昭和25年	368	39.6	260	27.9
昭和26年	257	27.7	176	18.3
昭和27年	207	22.2	138	14.8

註 別府市には結核療養所等の施設が多いので他地区より転入する者が多い
結核死亡者については本来別府居住者と管内にて死亡した者とを區別した

(大分縣別府保健所調)

別府市・大分県・全国の結核死亡率の年次比較

昭22~昭27



最近五ヶ年間の性病発生届出数

昭23~昭27

年次	昭和23年	昭和24年	昭和25年	昭和26年	昭和27年
淋病	1,361人	1,640人	1,059人	1,160人	864人
梅毒	1,115	1,091	583	510	260
軟性下疳	140	68	45	115	76
第四性病	5	2	1	—	2
計	2,621	2,801	1,688	1,785	1,202

傳染病

(1) 法定傳染病 法定傳染病は昭和21年を限度として減少の傾向を示していたが昭和26年より稍増加昭和27年は126名の患者が発生前年より20名増加、勿論これは全国的に赤痢が多く発生した関係で管内のみの現像とは見られない従つて赤痢の罹患率104.26 死亡率7.67で腸チフス、日本脳炎、猩紅熱、ジフテリアの罹患率、死亡率の集計數値は赤痢と同數値以下である。

(2) 届出傳染病 本病類中の届出數の急増は結核とトラコーマであつてその他は各病類共に減じている。
結核

- (1) 死亡 結核死亡は管内死亡率23.2 市内居住者14.8 で乳兒死亡は零であり幼兒並に青年層における著明なる死亡率の低下は喜ぶべきことである死亡の場所は自宅59%で療養所は30%にすぎない。
- (2) 發生 幼兒及青年層では男子に多く職業別では無職の460に次ぎ學生の229、次ぎに公務員、會社員、農耕者となつている、これ等の患者の感染源を見れば家族感染が壓倒的に多い。
- (3) 治療 生活保護法によるもの14.1% 健康保險その他38.4% 患者の約半數47.5% は自己負擔の止むない状態である従つて生活保護の線を僅に上廻つた者は正規の醫療を受け得ずして放置する者もありその率は8.7% となつている療養所の入所者の93% 迄が社會保障制度の利用者であることは自費による治療の如何に困難なものかを示している。

性病

性病の治療は民間で廣く行はれている事實があり罹病率を正しく知ることは困難であるが街頭では性病罹患率5.8%貸席従業婦では3.1% で以外に低い率を示している之は數年來の教育及取締の結果目録的檢診が多くなつたのも原因している。

第十二編 交通通信

- 1 道 路
- 2 國 鐵
- 3 船 舶
- 4 軌道及びバス
- 5 貸切乗用車
- 6 貨物自動車
- 7 諸 車
- 8 通 信
- 9 電 話

第12編 交 通 通 信

交通は人体に於ける血管の如きものでその状況如何は市民生活及都市発展上に大きな関係がある。本市は國鉄日豊線の要点にあり、電車及びバス路線は市内は勿論、大分龜川間にまで延び、別府港を起点（終点）とする海上交通も亦、本州、四國、その他海上遠隔地とも連絡を持つている。今後此等交通機關は観光法と共に一層発展して行く事と思う。

1 道 路

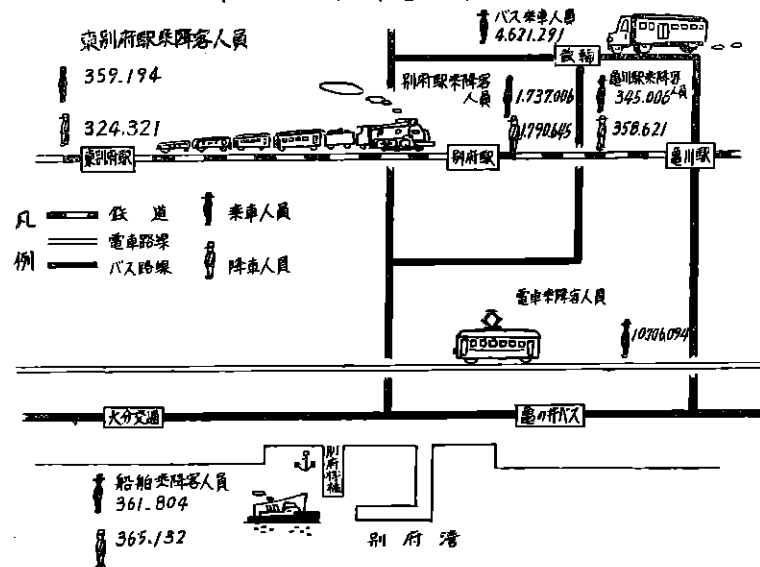
1 道 路

昭和24.4.1現在

區分	種別	延 長	内 訳			舗装延長	非舗装延長	全道路に対する舗装道路の比
			10m以上	9m~6m	5m以下			
國	道	45,015	9,700	35,315	—	11,046	33,962	24.6%
縣	道	157,270	—	26,803	130,467	19,577	137,693	12.5
市	道	454,817	1,683	7,491	445,643	17,619	437,198	3.9
計		657,102	11,383	69,609	576,110	48,242	609,850	7.3

(大分縣別府土木事務所調)

車輛別乗降客人員



橋 梁

昭28.4.1現在

區 分	國 道	縣 道	市 道	計
延 長	507米	1,150米	881米	2,538米

(大分縣別府土木事務所)

2 國 鉄

1 月別乗降客数

昭27.4~28.3

月 別	乗 客 数				降 客 数			
	別府駅	東別府駅	亀川駅	計	別府駅	東別府駅	亀川駅	計
27年 4 月	175,750人	34,521人	32,227人	242,498人	172,765人	29,785人	33,446人	235,996人
5 月	174,331	32,243	32,200	238,774	210,045	29,015	33,292	272,352
6 月	122,730	26,576	25,576	174,882	119,962	24,479	26,343	170,784
7 月	134,485	29,629	28,758	192,872	130,476	27,273	29,760	187,509
8 月	148,164	29,969	28,519	206,652	149,515	27,246	29,407	206,168
9 月	141,965	30,257	30,145	202,367	155,061	27,886	31,053	214,000
10 月	163,080	33,009	29,390	225,479	196,865	28,615	32,238	257,708
11 月	151,999	29,487	27,876	209,362	149,693	26,202	29,104	204,999
12 月	131,916	29,591	27,505	189,012	126,132	27,596	29,203	182,942
28年 1 月	136,666	29,032	27,853	193,551	131,831	26,463	30,516	188,848
2 月	114,128	24,860	25,552	164,540	108,533	22,779	22,447	153,759
3 月	141,792	30,020	29,405	201,217	139,758	26,977	31,787	198,522
計	1,737,005	359,194	345,006	2,441,206	1,790,615	324,321	358,621	2,473,557

(大分鉄道管理局)

貨物発着量

昭27.4~28.3

區 分	貨 物				手 小 荷 物			
	昭和27年度		一日平均		昭和27年度		一日平均	
	發送屯数	到着屯数	發送屯数	到着屯数	發送個数	到着個数	發送個数	到着個数
別 府 駅	23,240.4屯	65,048.9屯	63.7屯	178.2屯	74,194個	177,164個	203個	485個
東 別 府 駅	964.0	682.0	2.6	1.8	6,657	3,325	18	9
亀 川 駅	4,907.0	6,208.0	13.4	17.0	6,552	20,857	18	58
計	29,111.4	71,933.9	79.7	197.0	87,403	201,356	239	552

(大分鉄道管理局)

入 收 入

昭27.4~28.3

區 分	旅 客 收 入	貨 物 收 入	手 小 荷 物 收 入	計
別 府 駅	188,846,689円	33,167,202円	12,356,816円	234,370,707円
東 別 府 駅	16,502,409	285,000	1,029,240	17,816,649
亀 川 駅	15,562,538	3,087,890	1,031,091	19,671,519
計	220,911,636	36,540,092	14,407,147	271,858,875

(大分鉄道管理局)

定期券数及団体券数

昭27.4~28.3

區 分	定 期 券		団 体 券	
	發 賣 枚 数	金	發 賣 枚 数	人
別 府 駅	6,021枚	4,764,554円	396件	17,641人
東 別 府 駅	3,347	2,603,851	67	1,769
亀 川 駅	2,314	1,381,412	60	1,440
計	11,682	8,749,817	523	20,850

(大分鉄道管理局)

国鉄年度別乗降人員

駅 別	乗 降 別	年 度 別						
		10年	15年	20年	22年	25年	26年	27年
別 府 駅	乗車人員	433,430人	975,155人	1,770,061人	2,351,393人	1,619,647人	1,693,107人	1,737,009人
	降車人員	468,080	933,853	1,699,781	2,311,775	1,597,665	1,728,356	1,790,645
東 別 府 駅	乗車人員	93,797	121,981	139,684	302,432	248,721	327,150	359,194
	降車人員	47,442	105,871	115,227	241,791	206,075	299,097	324,321
亀 川 駅	乗車人員	84,809	126,150	165,811	238,362	319,006	331,169	345,006
	降車人員	89,909	123,621	171,475	367,133	341,770	344,770	358,621

3 船 舶

1 航路状況

昭27.4~28.3

船 別	航 路 名	期 別	経 営 者	本航路の就航船舶		寄 港 地	寄 港 数	代 表 船	船 名	總 屯 数
				艘 数	總 屯 数					
貨客船	大阪・別府線	定期	關西汽船	6艘	8,812屯	大分、高浜、今治、高松、神戸	日 1回	りり丸	電	1,920
〃	宇和島・別府線	〃	宇和島運輸	2	798	大分、八幡浜	日 1回	あかつき丸	443	
〃	吳、廣島・別府線	〃	關西汽船	1	343	榑井、宮島、廣島	月 12回	第14宇和島丸	313	
〃	八幡浜・別府線	〃	青木運輸	1	198	佐賀關	日 1回	悠久丸	198	
〃	姫島・別府線	〃	東魚汽船	1	51	大分、國東	日 1回	竹島丸	51	
〃	宿毛・別府線	〃	山口廻船店	1	80	船越、深浦	月 1回	すくも丸	80	
貨物船	大阪・大分線	不定期	關西汽船	3	1,500	高浜、大分	—	和光丸	600	

(大分縣別府土木事務所)

入 港 船 舶

昭27.4~28.3

船 別	汽 船			機 帆 船			帆 船			合 計		
	船 数	總 屯 数	重 荷 屯 数	屯 数	總 屯 数	重 荷 屯 数	屯 数	總 屯 数	重 荷 屯 数	屯 数	總 屯 数	重 荷 屯 数
客船	1,666	1,072,707	1,070,976	766	67,996	134,960	25	393	786	2,457	1,141,096	1,205,722
漁船	—	—	—	1,441	27,812	54,340	211	3,085	6,200	1,652	30,897	60,540
その他	30	3,600	5,400	118	4,131	8,094	—	—	—	148	7,731	13,494
計	1,696	1,076,307	1,070,376	2,325	99,939	197,394	236	3,478	6,986	4,257	1,179,724	1,289,756

(大分縣別府土木事務所)

入 港 船 舶 屯 数 階 級 別

昭27.4~28.3

種 別	5,000 屯 未 滿		1,000 屯 未 滿		500 屯 未 滿		100 屯 未 滿		20 屯 未 滿		計
	艘 数	屯 数	艘 数	屯 数	艘 数	屯 数	艘 数	屯 数	艘 数	屯 数	
汽 船	艘 数	377	—	—	—	—	—	—	—	—	1,856
	總 屯 数	686,314	—	—	—	—	—	—	—	—	1,078,598
機 帆 船	艘 数	2	—	—	—	—	—	—	—	—	1,850
	總 屯 数	3,140	—	—	—	—	—	—	—	—	92,482
帆 船	艘 数	—	—	—	—	—	19	—	189	—	208
	總 屯 数	—	—	—	—	—	—	1,270	1,798	—	3,068
合 計	艘 数	379	17	—	—	—	19	—	189	—	3,944
	總 屯 数	689,454	11,849	—	—	—	—	24,788	27,788	—	1,174,148

(大分縣別府土木事務所)

二 航路別乗降人員

昭27.4~28.3

航路別	乗込人員	上陸人員	計
別府—大阪線	227,412人	203,827人	431,239人
別府—吳、廣島線	20,818	56,508	77,326
別府—宇和島線	90,351	85,654	176,005
別府—八幡浜線	22,010	17,979	39,989
別府—宿毛線	612	852	1,464
別府—姫島線	601	312	913
計	361,804	355,132	726,936

ホ 海上出入貨物

昭27.4~28.3

品 種	細 別	輸 移 出		移 輸 入	
		数	重(屯)	数	重(屯)
動物	歌 類	151	—	15	大分
油	類 油	—	—	3	神戸
薬 品	薬 品	102	—	272	大阪
鉄鉱石及同製品	土 石、石 灰	33,806	—	1,041	高山、守江
セメント	セメント	—	—	160	津久見
金属及同製品	金属及同製品	91	—	13	津久見
木材	木 製 品	293	—	463	兵庫、佐伯
漁獲物	漁 獲 物	—	—	1,639	宇和島
肥料	其の他肥料	136	—	—	—
生 糸	生 糸	119	—	—	—
石 炭	石 炭	—	—	74	愛媛
其の他雑貨	水産加工品	—	—	647	宿毛
シ	飲 食 物	1,264	—	4,422	大分、神戸、八幡浜
シ	布 帛 及 同 製 品	1	—	155	大阪
シ	陶器類硝子製品	—	—	82	高松、三田尻
シ	車輦、時計、機械	20	—	116	広島
シ	雑 品	4,668	—	10,217	大阪、八幡浜
總 計		40,651	—	19,319	

(大分縣別府土木事務所調)

4 軌道及バス

イ 乗車人員

昭27.4~28.3

路線名	區分	路線延長	車 輛 数		停 車 場 数	昭 和 27 年 度		一 日 平 均		
			實 働 台	備 用 台		乗車人員	乗車料金	乗車人員	乗車料金	
別 大 線	大 線	6.35KM(單線)	27	12	39	31	11,027,469	98,465,423	30,212	269,768
		12.63KM(複線)	—	—	—	—	—	—	—	—

(大分交通株式會社調)

ロ 貸切バス

昭27.4~28.3

種 別	區 分	總走行軒数	輸送人員	運輸收入	實在車数	延實働車数
大 分 交 通 公 司	大 分 交 通 公 司	740,602	328,100	21,557,061	10	3,159

(大分縣乘合自動車協會調)

ハ 定期バス輸送実績

昭27.4~28.3

路線名	區 分	片道行程	延運行回数	總走行軒数	輸送人員	輸送収入	實在車数	延實働車数
環状線(地蔵巡り)		13.5	10,375	192,015	402,745	29,469,534	14	4,774
由布院線		22.6	4,610	104,183	196,944	9,599,940	3	1,095
堀 田 線		6.0	2,123	12,780	28,046	293,751	1	365
鉄 輪 線		7.6	23,852	181,537	767,500	20,747,770	5	1,795
明 龜 線		6.1	2,190	13,357	223,879	2,799,405	2	730
明 鉄 線		2.6	730	1,904	—	—	—	—
觀海寺線		5.1	6,454	33,121	137,037	1,792,234	1	365
温 研 線		4.0	13,034	51,901	360,488	3,926,036	2	730
北廻鉄輪線		6.2	8,824	54,708	109,333	1,815,504	2	730
龜川病院線		6.0	9,502	56,988	163,222	2,417,450	2	730
鯨乳洞線		117.4	104	11,503	2,816	1,111,250	1	123
耶馬溪線		184.4	80	14,196	2,530	1,733,340	1	96
設 輪 場 線		5.1	118	599	2,394	36,680	—	—
安心院線		35.5	1,928	69,207	105,516	5,672,634	3	973
ケーブル線		2.4	17,390	41,737	388,625	3,525,132	2	730
キャンブ線		2.9	508	1,473	3,326	66,520	1	61
石 垣 線		6.8	1,454	9,927	27,990	138,490	1	365
湊 房 線		9.2	468	4,304	5,660	114,135	—	—
ゴルフ場線		23.9	192	4,565	2,089	160,420	1	139
別府競輪場線		4.3	965	10,208	44,118	889,276	共用	1,197
シ 龜 川 線		6.8	1,079	15,117	24,053	377,365	共用	2,158
シ 棧橋線		1.1	342	703	5,434	49,910	共用	342
シ 鉄 輪 線		6.5	9,134	121,162	444,578	7,538,564	4	1,555
シ 山 山 香 澤 土 寺 線		37.9	1,666	43,056	98,630	2,379,962	2	733
シ 大 分 線		13.1	12,523	314,194	637,072	25,381,240	6	3,735
シ 中 津 線		67.2	1,673	245,282	383,049	14,420,769	6	1,666
シ 安 心 院 線		35.5	797	47,250	54,089	2,756,932	2	790
シ 杵 築 線		25.8	9,405	411,193	652,796	22,493,463	10	3,963
大分 福阿 線		195.8	205	191,853	27,859	3,018,753	2	406
計		656.7	141,705	2,280,040	5,301,228	164,730,658	74	30,346

(大分縣乘合自動車協會調)

5 貸切乗用車

イ 貸切乗用車輸送実績

昭27.4~28.3

乗用車現在数	営業所数	延走行軒数	輸送人員	輸送収入	延實働台数
67	10	2,135,095	870,242	87,995,810	15,312

(大分縣乘合自動車協會調)

6 貨物自動車

4 貨物自動車月別輸送実績 (輸送屯数)

昭27.4~28.3

種別 月別	米	其の 他類	馬 蹄 銻 類	鮮 魚 貝 類	食 料 の 他	石 灰	コ ーク ス	木 炭	石 油	木 材	石 材
4月	443	44	36	8	32	1,730	375	16	1,776	848	
5月	324	504	14	299	687	317	549	44	2,210	1,184	
6月	1,205	442	0	323	608	300	192	84	1,456	1,432	
7月	61	471	0	135	592	293	69	52	598	1,640	
8月	517	180	128	96	955	313	783	36	1,177	1,414	
9月	299	429	116	110	927	317	116	56	1,019	533	
10月	117	465	199	352	940	229	264	36	1,689	1,152	
11月	587	292	370	220	981	155	239	88	1,014	1,656	
12月	823	16	805	271	515	201	313	8	1,486	740	
1月	734	498	288	110	636	219	468	40	1,366	808	
2月	614	179	188	52	998	378	382	52	1,551	1,428	
3月	596	320	669	77	513	147	412	52	1,627	1,429	
計	6,320	3,840	2,813	2,053	8,334	4,539	4,152	561	16,974	13,704	

種別 月別	セ メント	鉄 鋼 石 類	機 車 輛 類	肥 料	郵 新 便 聞	其 の 他	路 線 貨 物	計	総走行杆数	
									普通車	小型車
4月	190	20	261	—	1,007	3,320	1,092	11,223	112,943	26,937
5月	385	45	358	31	1,422	3,306	1,147	12,826	101,957	21,102
6月	91	30	201	27	925	3,097	1,182	11,595	84,839	26,703
7月	234	105	233	16	958	3,551	1,084	10,692	79,566	26,012
8月	184	30	76	1,370	939	3,133	1,312	12,539	94,449	26,534
9月	226	60	250	62	961	4,104	1,460	17,019	96,078	26,994
10月	273	—	212	8	933	3,637	1,208	11,714	95,279	32,456
11月	343	—	188	32	980	3,481	1,355	11,332	99,381	30,774
12月	237	—	155	—	1,105	4,114	1,448	12,237	99,425	29,739
1月	92	—	84	3	950	2,829	1,716	10,816	99,376	27,995
2月	146	—	327	28	692	3,367	1,216	11,593	97,249	29,904
3月	205	—	82	78	715	3,291	1,214	11,433	99,266	28,233
計	2,607	290	2,427	1,560	11,537	41,234	15,435	138,543	1,158,808	336,333

(東豊運送、日本通運、郵遞別府、別大合同調)

ロ 貨物自動車々輛状況

昭27.4~28.3

ガ ソ リ ン		輕 油		計	
普通車	小型車	普通	小型	普通	小型
實在	實働	實在	實働	實在	實働
120	97.7	75	68.3	13	10.3
				133	107.8
					75
					68.3

(東豊運送、日本通運、郵遞別府、別大合同調)

7 諸 車

イ 諸車台数

昭28.5.1現在

区分 種別	乗用車	バ ス	小 型 乗用車	ス テ ー ター 二 輪 車	トラ ク ク	小 型 三 輪 車	特 殊 車	消 防 車	電 車	小 型 貨 物 車	計
総台数	142	93	22	126	209	253	23	13	5	60	945
官公庁用	13	2	1	4	25	12	10	13	—	5	85
目家用	16	1	9	107	110	232	11	—	5	49	540
営業用	63	90	11	—	74	9	2	—	—	6	255
外人用	50	—	1	15	—	—	—	—	—	—	66

ロ 自轉車及荷車

昭28.3.30現在

区分 種別	自 轉 車			荷 車			
	二 輪 車	三 輪 車	原 動 機 付	荷 積 牛 馬 車	荷 積 大 車	荷 積 小 車	リ ヤ カ ー
台数	7,918	268	133	71	409	554	1,150
總数	8,319			2,184			

8 通 信

イ 郵便局

昭28.4.1現在

普通局	特 定 局		郵 便 切 手 賣 捌 所		郵 便 函		
	集 配 局	無 集 配 局	市 内	市 外	掛 函	柱 函	私 書 函
1	1	7	71	19	30	49	40

(別府、亀川、鉄輪郵便局調)

ロ 郵便物

昭27.4~28.3

区分 月別	常 運				邊 運				小 包			
	引		受		引		受		引		受	
	普通	特殊	普通	特殊	普通	特殊	普通	特殊	内 國	外 國	内 國	外 國
27年4月	404,033	6,680	429,470	12,513	6,636	1,116	9,872	1,063	4,481	55	6,653	71
5月	393,692	7,081	414,006	13,697	6,330	1,096	9,785	1,092	5,123	51	7,470	49
6月	311,881	6,920	336,003	13,150	5,125	952	7,852	958	4,650	28	6,973	75
7月	469,043	6,976	520,236	13,826	5,374	1,002	8,211	1,062	4,360	20	7,124	69
8月	421,624	6,888	435,135	13,410	6,136	956	8,702	1,172	4,801	30	7,083	49
9月	354,063	6,921	424,690	12,540	6,146	971	8,229	1,079	3,997	29	6,337	65
10月	351,615	7,227	374,698	13,357	6,229	1,170	8,117	1,104	4,941	55	7,901	42
11月	364,951	6,892	435,749	12,775	6,980	1,088	8,603	1,264	5,020	178	6,723	60
12月	1,178,688	9,504	1,222,711	17,311	6,744	1,505	8,532	1,852	6,876	88	11,385	81
28年1月	445,443	5,691	458,601	11,401	6,183	566	6,289	809	4,261	91	7,464	79
2月	341,405	6,413	396,284	11,937	6,751	652	10,013	891	4,596	85	7,271	59
3月	392,495	5,385	427,107	13,677	7,209	746	7,508	1,075	5,410	87	7,928	43
計	5,428,933	82,570	5,874,684	158,994	75,843	11,821	101,713	13,423	58,519	907	90,313	742

(別府、亀川、鉄輪郵便局調)

電 報

昭27.4~28.3

月別	区分	内 國				外 國				
		發 信	受 信	中 繼	料 金	發 信	受 信	中 繼	料 金	
27年	4月	16,968	17,122	3,379	1,304.242	207	66	—	118.442	
	5月	16,416	16,250	3,030	1,262.197	239	60	—	92.752	
	6月	11,910	12,630	2,623	923.832	109	82	—	45.256	
	7月	13,654	13,908	2,706	1,066.913	89	70	—	45.344	
	8月	13,376	13,893	2,715	1,025.017	98	68	—	37.415	
	9月	13,744	13,597	2,743	1,072.245	68	55	—	53.905	
	10月	16,237	16,616	3,120	1,253.234	116	88	—	75.305	
	11月	13,880	14,179	2,432	1,092.566	232	74	—	143.566	
	12月	19,007	18,637	3,362	1,423.187	436	151	—	235.488	
	28年	1月	14,332	14,059	2,495	1,119.850	138	92	—	86.926
		2月	13,717	13,920	2,697	1,081.729	159	53	—	88.486
		3月	17,277	17,412	3,386	1,313.676	136	64	—	93.178
計		180,518	182,236	31,739	13,938.689	2,027	924	—	1,116.064	

(別府、龜川、鉄嶺郵便局調)

第十三編 温 泉

- 1 温 泉
- 2 温 泉 効 能
- 3 温 泉 案 内

9 電 話

1 年度別加入者数及電話機数

昭28.4.1現在

年 度 別	加 入 者 数	電 話 機 数	公 衆 電 話	火 災 報 知	警 察 電 話
昭 和 2 5 年	1,824件	2,410台	10台	1台	1台
昭 和 2 6 年	2,338	3,327	12	1	1
昭 和 2 7 年	2,675	4,011	16	1	5
昭 和 2 8 年	3,103	4,618	29	1	—

(別府電話局調)

□ 月別通話数

昭27.4~28.3

月 別	区 分	電 話 回 線 路		市 外 通 話 厘 數			市 外 通 話 料 金	
		市 内	市 外	發 信	中 繼	着 信		
27年	4月	2,650	97	25,118	10,277	84,720	2,707.471	
	5月	2,651	97	25,476	10,438	84,843	3,025.436	
	6月	2,651	98	20,733	7,957	73,937	2,766.956	
	7月	2,651	99	22,370	8,563	79,346	2,705.319	
	8月	2,656	99	23,250	9,269	79,991	2,690.639	
	9月	2,676	98	23,107	9,012	81,466	2,722.668	
	10月	2,704	93	24,983	9,788	92,848	2,902.225	
	11月	2,714	93	22,761	8,621	83,208	3,029.912	
	12月	2,720	98	24,587	9,182	93,077	3,329.861	
	28年	1月	2,726	98	23,844	9,642	82,497	3,354.612
		2月	2,726	98	23,011	9,258	80,875	3,205.013
		3月	2,737	98	26,698	10,963	96,970	3,574.658
計		—	—	285,943	112,970	1,013,746	36,074.170	

(別府電話局調)

第 13 編 温 泉

温泉の起源は遠く神代にあり、伊予風土記には少彦名命が大分遠見の湯を汲んで大己貴命に浴せしめ、その病を癒した事が書かれている。聖武天皇の代に日子三依が別府に温泉を開き、薬師堂を建て鎮守としたと伝えられる。社会情勢の變轉と海陸交通の発展により、年と共に繁榮の一途を進んでいる。

1 温 泉

イ 温泉数

昭28.3.1現在

年 度 末 現 在			活 動 数	本 年 掘 出 額		
公 有	私 有	計		公 有	私 有	計
70	2,250	2,320	1,650	1	3	4

ロ 噴氣孔数

昭28.3.1現在

亀 川	石 垣、南 立 石	朝 日	計
37	216	185	418

ハ 地区別温泉数

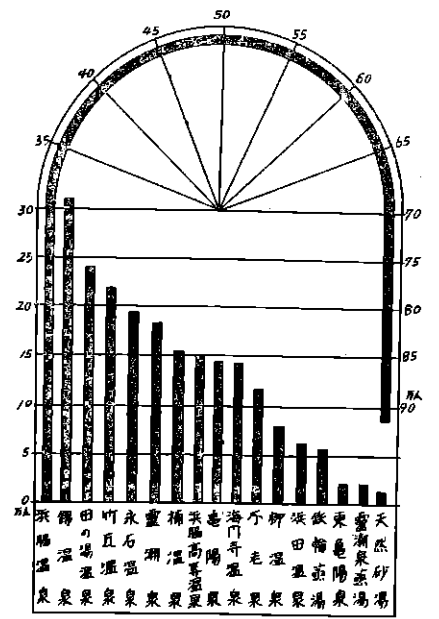
昭28.3.1現在

旧 市 内	亀 川	朝 日	石 垣	南 立 石	計
1,233	373	148	80	43	1,877

ニ 市営有料温泉入浴者数

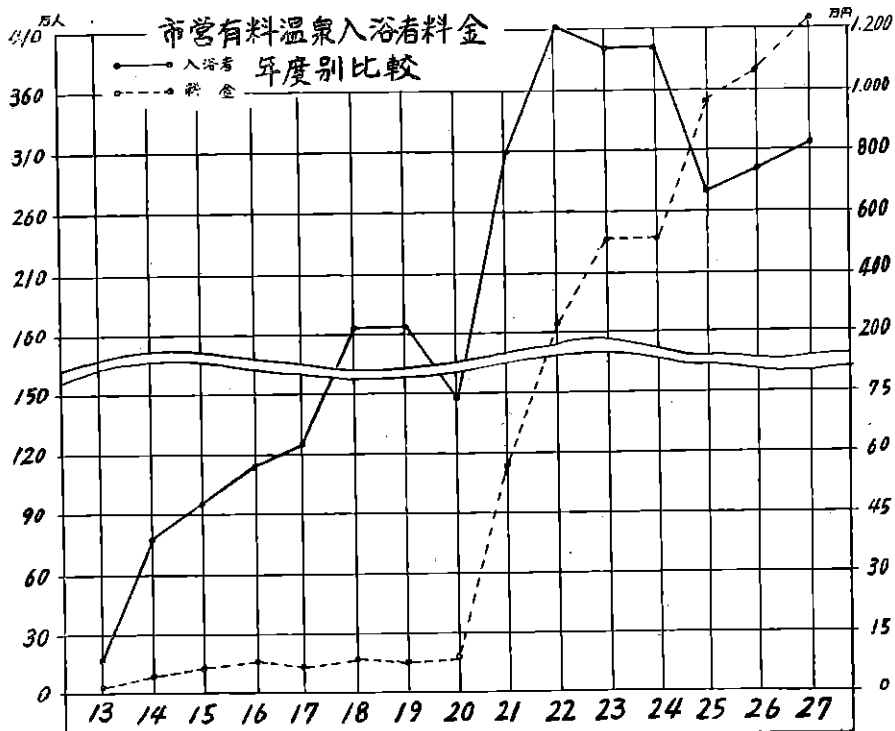
温 泉 名	一 日 平 均 入 浴 者 数	一 年 間 入 浴 者 数	率 %
浜 脇 温 泉	2,528	922,727	29.96
鯉 温 泉	851	310,855	10.10
田の湯温 泉	657	239,914	7.80
竹 瓦 温 泉	613	223,744	7.26
永 石 温 泉	531	193,674	6.28
鯉 瀬 温 泉	511	186,445	6.05
楠 温 泉	437	159,405	5.17
浜脇高等温 泉	410	152,482	4.95
亀 湯 温 泉	399	145,671	4.73
海門寺温 泉	395	144,376	4.70
不 老 温 泉	337	122,939	3.98
柳 温 泉	241	88,013	2.85
浜 田 温 泉	177	64,550	2.10
鉄 輪 蒸 湯	175	63,988	2.07
東 亀 湯 温 泉	66	24,062	0.80
鯉 瀬 泉 蒸 湯	66	24,040	0.80
天 然 砂 湯	34	12,292	0.40
計	8,436	3,079,137	100.00

市営有料温泉別入浴者数



市営有料温泉入浴者及料金年別比較

年別	温泉数	期 間	入 浴 者	前 年 増 減	料 金	前 年 増 減
昭 13	6	9月~12月	156,591人	—	8,635.07	—
14	6	1月~12月	773,522	616,941	40,675.21	32,040.17
15	7	1月~12月	955,145	161,623	54,713.67	14,023.43
16	8	1月~12月	1,164,013	208,868	58,252.62	3,538.95
17	7	1月~12月	1,239,651	75,838	53,327.47	△ 4,925.15
18	9	1月~12月	1,603,721	363,870	74,296.55	20,963.08
19	9	1月~12月	1,606,107	2,396	73,364.65	△ 955.09
20	9	1月~12月	1,483,730	△ 122,377	78,836.95	5,472.29
21	16	1月~12月	3,080,152	1,596,422	563,423.00	434,585.05
22	16	1月~12月	4,183,071	1,102,919	2,010,605.00	1,447,182.00
23	17	1月~12月	3,918,407	△ 264,664	5,263,270.00	3,257,665.00
24	17	1月~2月	3,929,508	11,101	5,280,770.00	12,500.00
25	19	1月~12月	2,781,265	△ 1,148,243	9,466,405.00	4,185,715.00
26	17	1月~12月	2,991,399	210,134	10,543,054.00	1,076,579.00
27	17	1月~12月	3,115,601	124,211	12,281,856.00	1,738,782.00



2 温泉効能

1 温泉効能

経営別	温 泉 名	所在地	泉 質	入浴設備及施設	医 療 効 能
市 営	田ノ湯温泉	田ノ湯	含炭酸単純泉	泉 浴	腸管、皮膚病、胃腸病、婦人病、神経痛、ロイマチス等
〃	不老泉	不老町	含炭酸単純泉	〃	胃腸病、皮膚病、腫物神経痛、ロイマチス、新陳代謝病等
〃	竹瓦温泉	北浜	含炭酸単純泉	砂湯、臥湯泉浴	ロイマチス、神経痛、婦人病、新陳代謝病等
〃	遠南泉	港町	含土類単純泉	〃	ロイマチス、神経痛、内分泌病、新陳代謝病等
〃	鏡湖泉蒸湯	〃	〃	温泉氣浴、泉浴、休憩室	咽喉症、ロイマチス、神経痛、關節強直等
〃	桶温泉	桶町	含炭酸単純泉	泉 浴	疝痛、腫物、ロイマチス、婦人病、神経痛關節強直等
〃	浜臨温泉	魚薬	炭酸性硫酸泉	〃	慢性皮膚病、頑固ノ潰瘍、消化不良、利尿、痛風、慢性關節、ロイマチス
〃	錦温泉	錦町	〃	〃	〃
市 有 区 営	八幡温泉	八幡	〃	〃	〃
〃	朝見温泉	朝見	〃	〃	〃
〃	堀田温泉	堀田	〃	〃	〃
〃	堀田東温泉	〃	〃	〃	〃
市 営	浜臨高等温泉	魚薬	含土類含塩泉	泉浴、休憩室、家族室	ロイマチス、神経痛、一般虚弱者、病後恢復期等
〃	柳温泉	桶浜	含炭酸単純泉	泉 浴	外傷後恢復期、神経衰弱、半身不遂關節、皮膚病、ヒステリー、婦人病等
〃	永石温泉	南町	含炭酸単純泉	泉 浴	外傷後恢復期、神経衰弱、半身不遂關節、皮膚病、ヒステリー、婦人病等
〃	海門寺温泉	海門寺	〃	〃	〃
〃	浜田温泉	浜田	含土類塩類泉	〃	ロイマチス、神経痛
〃	海岸天然砂湯	北浜	含食塩アルカリ性炭酸泉	泉浴、臥湯、休憩室、家族室	一般虚弱者、ロイマチス、神経痛、病後恢復期等
〃	亀陽泉	亀川	塩 類 泉	泉 浴	ロイマチス、神経痛、外傷、婦人病、虚弱者、瘰癧病等
〃	鯉亀陽泉	〃	〃	泉 浴、砂 湯	〃
市 有 区 営	四ノ湯温泉	〃	アルカリ性土類	泉 浴、飲 用	胃腸病、神経器麻痺、運動麻痺、外傷、神経痛、ロイマチス等
〃	柴石温泉	柴石	含鉄芒硝泉	湯湯、蒸湯、泉浴	虚弱者、皮膚病肝臓病、便秘、神経衰弱、貧血症等
市 営	鉄輪蒸湯	鉄輪	〃	温泉氣浴、泉浴	ロイマチス、神経痛、關節強直、運動麻痺、咽喉症等
市 有 区 営	滋ノ湯	〃	土類含有食塩泉(含鉄鹽性泉)	泉浴、砂湯、湯湯	虚弱者、病後恢復期、ロイマチス、神経痛、慢性胃腸カタル、貧血性機能性神経系諸病等
〃	然ノ湯	〃	含硫酸単純泉含炭酸単純泉	泉 浴、蒸 湯	ロイマチス、神経痛、運動麻痺、消化不良婦人病、神経系諸病等
〃	地蔵温泉	明睿	含土類(硫酸)酸性泉	温 浴	慢性皮膚病、外傷(頑固ノ潰瘍)慢性下痢、婦人性強器、慢性カタル等
〃	醜壽泉	〃	土 類 硫酸泉(含鉄硫酸泉)	〃	皮膚病、筋肉疾患、婦人病
〃	薬師温泉	〃	含鉄硫酸性泉	〃	皮膚病、筋肉疾患、咽喉症等
〃	観海寺高等温泉	観海寺	炭酸単純泉	〃	疝痛、腫物、ロイマチス、婦人病、神経痛、關節強直等
〃	観海寺温泉	〃	〃	〃	〃
市 有 区 営	西部温泉	石垣	硫酸泉	温 浴	皮膚、筋肉疾患、婦人病
〃	吉弘温泉	北石垣	〃	〃	〃
〃	中津留温泉	南立石	〃	〃	〃
〃	望湖泉	北石垣	塩 類 泉	〃	ロイマチス、神経痛、外傷、婦人病、虚弱者、瘰癧病等
〃	日の出温泉	向浜	硫酸泉	〃	皮膚病、筋肉疾患、婦人病
〃	富士見温泉	富士見	炭酸性硫酸泉	泉 浴	慢性皮膚病、頑固ノ潰瘍、消化不良、利尿、痛風、慢性關節、ロイマチス
〃	大和温泉	大和	〃	〃	〃
〃	天満温泉	北野口	〃	〃	〃
〃	古市温泉	古市	含土類、塩類泉	〃	ロイマチス、神経痛

3 温 泉 案 内

保 健 都 市 別 府

別府市は世界公園と稱へられる瀬戸内海に連なる温泉郷で、泉質の多様多種と泉量の豊富なことは蓋し世界第一と云はれている。天與の温泉と景趣さまざまな自然美に恵まれている上に、幾多の近代的施設が完備し實に理想的な温泉療養地である。所謂別府入湯と名付ける明礬、鉄輪、龜川、柴石、觀海寺、濱脇、別府等大別府市内の温泉は随所に滾々と湧出ている。

泉質は硫黄泉、鉄泉、アルカリ泉、土類泉、食塩泉、単純泉、炭酸泉、酸性泉で世界薬劑學會の認定した十一種類中八種を占め、之等の靈泉は九州大學温泉治療學研究所、鉄道療養所、大会社大工場其他の經營する療養所、病院、保養所、國立病院、市内數百の旅館、貸間、商店一般家庭の湯壺に溢れている。湧出口四千余、一晝夜の湧出量四十万石に及ぶと推定され、保健と療養方面に大きな役割を演じていて、治病上の効能はあらゆる方面に及んでいる。

更に此の天恩豊かな、温泉や地熱は生産方面にも利用され蔬菜の速成栽培、醸造、孵卵、乾燥、製薬、製茶、養蠶、織維工業其他各方面にまで應用されている。

交通は陸路日豊本線により、北は門司、小倉、福岡方面に南は宮崎、鹿児島に通じ、西は豊肥線、久大本線等により阿蘇、熊本、久留米、佐賀方面に連絡している。

海路は關西汽船が大坂、別府間の急行遊覧船が毎日往復している外、宇和島線、廣島線等によつて四國中國との海上交通は極めて繁く文字通り四通八達して訪れる浴客は年間三百万を算している。別府温泉こそ平和の復興に寄與せんとする國民の健康と資源、体力増進のオアシスであり明日への飛躍に備へるよき休養地である。更に又戦後更生の日本にとつては、この豊富なる温泉を有する別府はその良き風光と共に世界の観光地として將來の發展を約束されている。

別 府 温 泉

交 通 日豊線別府驛下車 附近一帯
 泉質効能 多種多様、炭酸鉄泉、単純泉、単純炭酸泉、
 弱食塩泉 泉温45°—68°
 特 色 保養並に慰安向

別府温泉群の中心で街は殆ど湯の上に浮いていると云うべく、市營、區營、部落經營、共同浴場合せて八十箇所に余り、旅館その他にある内湯の数は千を以て數える程である。その中主な共同浴場は次の通りである。



【不老泉】(不老町) 炭酸鉄泉、泉温52° 神経痛、胃腸病等に効く。
 驛から300m別府第一の浴場、和洋折衷の三階様、屋上の眺望がよい、家族湯、普通湯の外に電気治療室、娛樂室、賣店、ダンスホール等の設備がある。

【靈潮泉】(港町) 単純温泉、泉温60°—63°咽喉諸病、筋肉疾患等に効く。
 驛から700m別府棧橋から30m 和洋宏壯な建物、砂湯、蒸湯の設備あり海岸に近く、潮が満ちると浴湯は温海水となり、潮が退くと砂に仰臥し、或は砂中に半身を、埋めて入浴が出来る。

【楠温泉】(楠町) 単純温泉、泉温63° 筋肉疾患、腫物などに効く。
 驛から1.1km老楠の根元から湧く。

【竹瓦温泉】(北濱) 炭酸鉄泉、泉温54° リウマチ、神経痛に卓効
 港棧橋附近、設備、砂湯、休憩室あり。

【田の湯温泉】(田ノ湯町) 単純泉、泉温51° 皮膚病に効く。

驛から半軒湯の肌さわりが軟かい。

【喬温泉】(港町) 弱食塩泉45° 婦人病に効く。

棧橋附近洋館二階建設備は婦人本位である。

【柳温泉】(柳町) 弱食塩泉、泉温50° 皮膚、婦人病古來から持病に効くとして名高い。

港棧橋附近

【二棟温泉】(新榮町) 弱食塩泉、泉温68° 神経痛、リュウマチに効く。

港棧橋から300m二階建、階上は眞宗説教所、浴槽は泉浴と臥湯がある。

【紙屋温泉】(南町) 単純炭酸泉、泉温47° 神経痛、リュウマチに効く。

市の中央に位し、軟肌觸りのよい湯。

【薬師温泉】(驛前通り) 炭酸鉄泉、泉温49° 慢性胃腸病、病後衰弱などに効く。

二階建、階上は休憩室。

その他海門寺、永石、北町、白湯、野口、的ヶ濱、高松、梅園温泉なども知られている。海邊の砂湯は指宿と共に誇りとするもので他に類のないものである。港の南北海濱一帯に湧出する温泉を利用しての天幕張の浴場で干潮の際、砂を掘り分け、各自隨意の場所と適當の温度を選んで、自由に入浴する仕組で、半身を砂中に埋めるもの、横臥するもの、仰臥するもの、或は温砂を患部に盛つて治療するものあり、その快味は忘れられない。泉質食塩泉、神経系統諸病、リュウマチなどに効く。

龜 川 温 泉

交 通 日豊本線龜川驛下車附近一帯
 泉質効能 弱食塩泉、含食塩酸性綠礬泉、泉温53°—76°
 リウマチ、婦人病、胃腸病、外傷
 特 色 保養並に療養向

別府温泉郷の北の門戸をなし旧別府と同じく海邊の温泉場で繁華な一郭をなし龜の井バス地獄巡りの通路となつている。

龜陽泉、東龜陽泉、四ノ湯、濱田の湯、筋湯温泉がある。

【龜陽泉】塩類泉、泉温60° 神経痛、ロイマチス、外傷、婦人病等に効く。驛から南方300m、一千余年前の記録を有し、その廣大なる浴槽は非常に有明で俗に千人風呂といわれ階上は休憩集會場、家族室も完備している。隣接して東龜陽泉ありて砂湯、龍湯の設備がある。

【四ノ湯】は古來日本四靈泉の一と呼ばれ、黄金の湯ともいわれる海邊には干間土堤稱する天然砂湯がある。ここでは温泉利用の醤油製造、製塩、蔬菜栽培等が行われ國立龜川病院があり温泉による物療治療が施されている。附近には承知年間(9世紀)にこの浦から出た雌、雄の白龜を祀つたといふ白龜塚、鐵泥浴場、血の池地獄、かまど地獄、上古の墳墓という鬼の窟、大友、黒田兩氏古戦場の石垣原、實相寺山等がある。實相寺山は別府温泉地帯の中央に位し石垣原合戦の時黒田氏の本營を置いたところで古刹實相寺がある。山の麓は新別府温泉と稱し、海地獄から引湯している。

柴 石 温 泉



(温泉の湯籠)

交通 龜川驛から西二軒バスの便あり
泉質効能 含鉄芒硝泉、泉温58° 神経痛、皮膚病、リュウマチ、貧血性諸症、便秘等
特色 療養向

鶴見岳北麓の谿間にあり、風致に富んでいる。温泉は巖石の隙から湧出し、泉となり、澗となり渓流となる。渓流は即ち蘆泉の流である。柴石の名は附近から柴の化石が出るので起つたのである。谿間の瀧湯と蒸風呂は市営の共同浴場で瀧湯は約3米余の高さから落下して溪水に入る。附近には後朱鷺間の瀧湯と蒸風呂は市営の共同浴場で瀧湯は約3米余の高さから落下して溪水に入る。附近には後朱鷺天皇の代(11世紀)皇太子親仁親王、豊後、龍ノ庄の華師如來の靈夢を感じ入浴したとの由緒ある親仁親王御枕石、赤の坂石佛、かまど地獄、血の池地獄などがある。血の池地獄は龜川からの途中にあり、海地獄に次いでの大い地獄である。水酸化鉄を含有するのでその熱湯は朱紅色を帯びている。この地獄の鉄泥をとつて浴するので鉄泥浴場という。



鉄輪温泉

交通 龜川驛から西南四軒、別府から西北六軒、柴石から南八百米バスの便あり
泉質効能 「澗の湯」 炭酸鉄泉、泉温89° 皮膚病、下腹充血、貧血、水銀中毒
「熱の湯」 単純温泉、泉温52° 無色透明、胃腸病、消化不良、婦人病、性病
「新湯」 酸性硫酸泉、泉温62° 胃腸病、貧血等

別府の西北に位し鶴見嶽の前山であつた扇山の東北にある。東に別府灣を眺め西に由布、鶴見の連山を負い南に鎌山がある。土地高燥、海山の眺望がよい。温泉の豊富なことは別府に譲らず天然蒸氣を利用して戸々櫓前に直径38種のセメント製壺状の籠を設けて炊事をしている。其の吸入浴や竹材の抜油にも利用され温泉を利用して味噌醬油の醸造、蔬菜の速成栽培、製塩、養蠶、養鶏、製薬等が行われている。鉄輪は昔は一軒四方の地獄であつたが、建治年間(13世紀)一遍上人が大藏經の一字一石を投じて地獄を埋めて開いたものと傳へられ、現在蒸湯、澗湯、熱の湯、上人風呂皆市営である。熱の湯は清澄の如く、落した針も拾うべく、蒸湯は鉄輪の生命といわれる程世に知られ、熱泉の上に石室を建てて、十六羅漢に擬した十六箇の石枕を設けて、十六人宛臥浴する仕掛になつている。入口上にある薬師様に奉納山積せる松葉杖は、この治療法の効験を語るものである。温泉場の中央に鉄輪地獄があり、約1軒を隔てゝ温泉を神とする火男火賣神社があり、九月九日のお祭は賑う。

附近には城が塚、一遍上人に因みある温泉山永福寺、海地獄、坊主地獄、鬼石坊主、金龍、雷園、白池、十万、鬼山、御西方公園地獄、養驛場があり、地獄めぐりの中樞地をなし、紺屋地獄を経て明礬温泉へ行かれる。海地獄は鉄輪から西に半軒登つたところ、廣さ264米の碧緑高熱の湯地と、小壁を隔てて33アールの澄明湖水の如き噴湯井を併せ、地獄中最大のもので底知れぬ青藍の色を湛え、渦巻騰るその湯煙は遠くから望見せられる池中の湯は、鰐卵が數分間で茹でられる程の温度である。新坊主地獄や白土の製造所がこの近くにある。

坊主地獄は海地獄から西南約1軒、沸騰の壯觀第一のところで、高さ約1米に昇ることさえある。附近は朝日公園といふ泉趣に富んでいる。坊主地獄から西北明礬温泉に向ふこと約半軒で紺屋地獄があり、そこから約半軒で明礬温泉に着く。紺屋地獄は沸騰せず、熱泥紺色の波紋を作つて渦巻いている。

明礬温泉

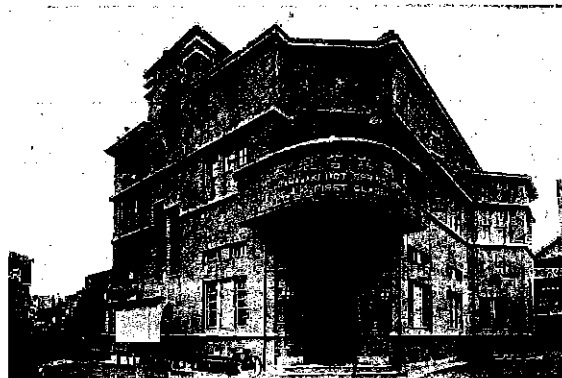
交通 別府驛から西北10軒、龜川驛から7軒バス
泉質効能 酸性明礬硫酸泉、泉温52°—91° 性病、皮膚病、胃腸病、婦人病(飲用)慢性胃腸下痢等
特色 療養向



(湯の花採取) 濱脇温泉

交通 日豊本線東別府下車附近一円
泉質効能 弱食塩泉、硫酸泉、泉温50。リュウマチ、神経痛、病後恢復期等
特色 保養向、並に慰安向

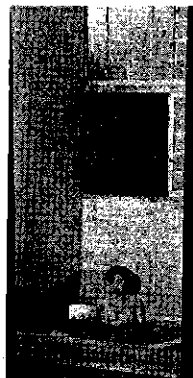
濱脇は朝見川の流を界にした別府市の南端にあり、特異の禁園氣を有する温泉場である。市営の濱脇高等温泉があり、高等温泉は洋風建築で階上は休憩室となつている。濱脇の南丘は東公園と云ひ、丘陵に秋葉神社、丘上に金毘羅社があり、附近海山の展望台となつている。松原公園は東別府驛から西北1軒、街路公園で八幡朝見神社の御旅所を中心に、池、噴水、櫻樹を配し、園内と附近に劇場、映画館があり繁華の色を見ている市の南方に兎型の頭を見せる高崎山や、大分市八幡の海邊にある佛崎公園も、濱脇浴客の散策区域である。



(濱脇高等温泉)

觀海寺温泉

交通 別府驛から西約3軒、バス
泉質効能 単純温泉、泉温56。胃腸病、リュウマチ、神経痛、婦人病、貧血症等
特色 保養並に療養向



觀海寺山の中腹にあり、後に鶴見岳を負うて高燥な崖上に、一の温泉郷を成している。前面には石垣原を見越して別府灣を見下し、伊予の連山も雲煙漂渺の間に望まれる。展望の勝別府諸温泉中の目眉とされている。春は六百余株の櫻に粧はれ、別府市の美観をここにちりばめた観がある。旅館の盡きるところ山路羊腸の間に清湯山觀海寺があり眺望がよい。また北方峽谷の間に一面の硫質の蒸騰を見るは、いわゆる觀海寺地獄である。温泉から200米ばかり登つた處に白湯で、白濁の硫酸泉硫氣鼻を衝く、疥癬、惡瘡腫物などに特效があり、膏藥を製造している。觀海寺温泉の北麓一帯の地域は鶴見ヶ丘または石垣原と呼ばれる高燥な土地で、慶長5年(1600年)の秋、大友義統が黒田如水と戦つたところで、千人塚、鐘掛の松などの遺跡がある。今は鶴見園、山水園の設あり、京大理學部附屬火山温泉研究所、九大温泉治療學研究所等がある。觀海寺から堀田温泉に至る途中に鶴見海獄がある。



(堀田温泉)

堀田温泉

交通

別府駅から西北6軒、バス、観海寺温泉の西北2軒2。

泉質効能

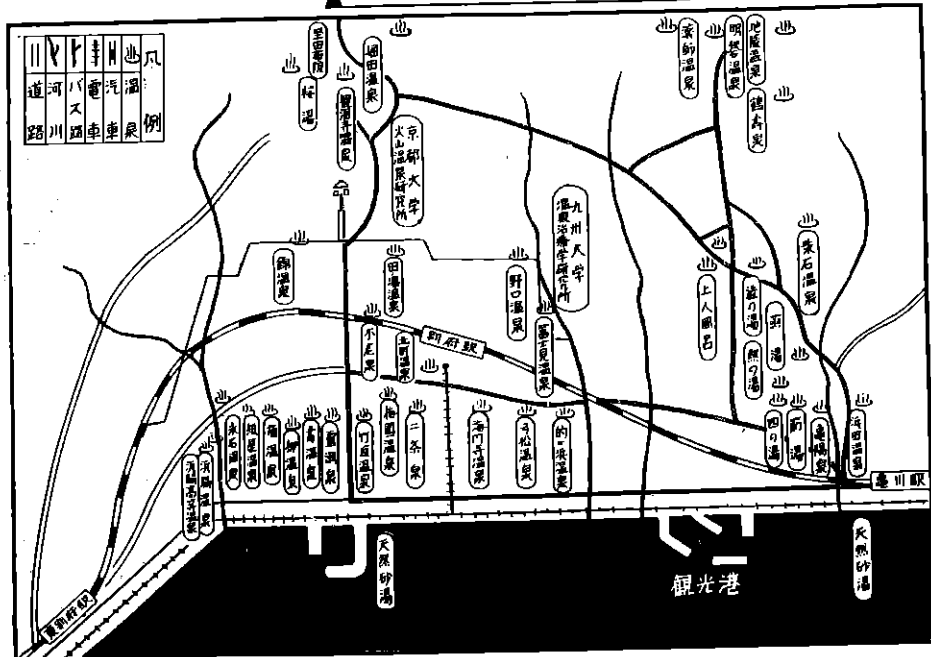
単純炭酸泉。泉温80° 皮膚病、胃腸病、婦人病、リュマチ等。

鶴見ヶ丘の東麓にあり、三方岳巒に囲まれ前面遙かに海光を望み野趣豊かな温泉場である。附近の田圃、谿間は硫烟を噴出するところが多く濛々としてさながら激しい霧をこめたようなと

ころが堀田地獄である。この噴氣孔を利用して水を注入し鶴見ヶ丘の文化住宅その他に引湯浴泉の便を計っている。

附近には石垣原合戦を物語る鐘樹の松、細川公菩提寺跡、生目神社などがある。

別府代表温泉案内図



第十四編 観 光

- 1 観 光 案 内
- 2 名 所 舊 蹟
- 3 別 府 の 民 謡
- 4 別 府 観 光 案 内 圖

第14編 観 光

1 観 光 案 内

〔別府への交通路〕 陸路は日豊本線、本土直行の急行に依り北は東京、京都、大阪、小倉、門司、福岡方面に、南は宮崎、鹿児島方面に、西は豊肥線及び久大線に依り阿蘇、熊本、久留米、佐賀方面に連絡している。

海路は關西汽船の大阪、別府航路が毎日往復し、又吳、広島への中國線、八幡浜、宇和島の四國線の航路がある。

〔別府への交通運賃〕

鉄 道	東京行急行 (急行料金を含む)	
	東京 1.920円	大阪 1.360円
日 豊 線	福岡 380円	門 司 270円
	小 倉 250円	広 島 590円
	宮 崎 420円	鹿児島 600円
豊 肥 線	熊 本 340円	
久 大 線	久留米 330円	長 崎 530円
急行バス	中 津 200円	杵 築 80円



別 府 驛

關西汽船

阪 神 航 路	大阪、神戸	920円
	高 松	720円
	今 治	530円
	高 浜	430円
吳、広島航路	吳、 広島	530円
	宮 島	510円
	岩 國	490円
宇和島航路	宇和島	450円
	八幡浜	330円



關 西 汽 船

〔旅 館〕 当市別府は旅館の數二百六十戸貸間、簡易宿泊所 160戸の多きに連し、市街海岸、郊外到るところに観光、療養に快適なサービスをモットーとしたる多種多様な施設を以つて皆様の御來遊をお待ちしている。

別 府 市 街	130軒	下車驛	別府驛、東別府驛	附近一帯
觀海寺温泉場	15軒		別府驛	亀の井バス北浜本社より15分
亀川温泉場	30軒		亀川驛	附近一帯
鉄輪温泉場	25軒		別府驛、亀川驛	大分交通御成町 別府支社 亀の井バス北浜本社より30分、亀川驛より20分
明薬温泉場	10軒	下車驛	亀川驛	亀の井バスにて30分

宿泊料金

一般個人	400円~1,200円 (1泊2食 飲食税率仕料を含む)
一般団体	350円~ 800円 (1泊3食 ")
学生団体	1 小学生 150円~ 250円 (1泊3食 飲食税率仕料を含む)
	2 中学生 250円~ 300円 (" ")
	3 高校生 300円~ 400円 (" ")

〔四季の別府〕

春	温泉祭	4月1日より5日まで
観	櫻	観海寺温泉場、吉弘公園、乙原高台、浜脇公園、朝見淨水池、佛崎公園
わ	らび狩り	志高湖畔・六枚屏風附近・高崎山麓
夏	ほたる狩り	由布院温泉場・浜脇鳴川・石垣春木川
魚	釣	ぼら 浜脇埋立海岸 黒鯛・いな北浜海岸 きすび・かれい・こち 餅ヶ浜上人ヶ浜一帯
海水浴場		餅ヶ浜海岸(市營)
キャンプ場		志高湖畔(市營) 城島高原(高原ホテル經營)
夏祭り		七月下旬
花火大会		八月上旬別府棧橋突堤
音頭大会		" 仲よし公園内
栗師祭		八月下旬 見立細工・盆おどり
秋	茸狩り	鏡坂越・乙原附近・旗の台・十文字原
紅葉		鶴見溪谷・山水園・由布院山腹
観光祭		10月初旬 3日間
温泉市		11月下旬
沖釣		いかの舟釣 別府沖一帯
冬	霧氷見物	由布嶽頂上・鶴見嶽頂上
観	梅	乙原梅林・石垣南山荘



観海寺温泉場

登山・キャンプ・海水浴

登山

鶴見岳 (標高1,375米) 休火山にて頂上附近に噴気孔があり頂上より別府灣、豊後水道方面眺望雄大なり。

交通 亀の井バスにて鳥居下車 45 円、徒歩 3 時間

由布岳 (標高1,584米) 一名豊後富士と稱し頂上より祖母嶺山系、久住山等九州アルプスの遠望が出来、夏季の登山者にて賑う、山麓に由布院温泉場がある。

交通 亀の井バスにて登山口下車 65 円、徒歩 3 時間

キャンプ場 城島高原キャンプ場西方7kmの高原にて兩翼に由布岳、鶴見岳ありて附近の眺望は又格別なり。亀の井ホテル經營のキャンプ場はヒュウテ、ロマンスヒュウテ、テント式等完備して居り、附近には高原ホテル牧場等あり。

交通 亀の井バスにて城島下車 55 円

海水浴場 市營餅ヶ浜海水浴場には海の家、温泉シャワー、ボート等が完備している。

交通 大分交通の電車、亀の井バス等の便あり。

〔観光遊覧〕

地獄めぐり「東洋のナポリ」泉都別府を訪れる旅客は必ず地獄めぐりに観光の第一歩を印して、別府温泉を象徴する地獄一造の神祕に驚異の眼を見張られることであろう。此の地獄巡



りは観光ガイドがバスの進行につれて車窓に移る沿線の風光や名所舊蹟を古き傳統を誇る亀の井バス独自の名調子で説明しながら更に小唄に民謡に一興を添えて多種多様な地獄九ヶ所を次から次へと案内する。

行程 22 軒 所要時間 1 周 2 時間半
午前八時半より午後四時半まで三十分乃至一時間毎に発車。(適宜臨時増発もある)

白池地獄

- ◎九地獄 血の池地獄 瀧巻地獄 坊主地獄 カマド地獄 海地獄 鬼山地獄 白池地獄 雷園地獄 金龍地獄

◎一周バス料金 一人 100 円 ◎学生並に一般団体は団体割引優待がある。

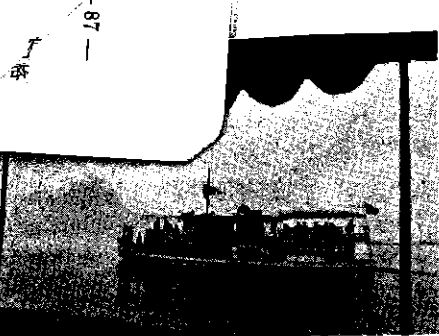
◎貸切バス (展望式大型ロマンスカー及び大型トレーラーバス) も利用出来る。

◎地獄観覧料 (一般) 九ヶ所共通券 120 円 一ヶ所 20 円
(学生) 九ヶ所共通券 50 円 一ヶ所 5 円

ケーブル楽天地 西日本唯一のケーブルで、ケーブルカー車中よりの別府市街、海の眺望は實に雄大である。楽天地内は子供は勿論、一般の方の各施設が完備しており、展望大温泉浴場、家族湯温泉、観音地獄、動物園、電気科学館、人形館、運動場、望月荘、子供の國(おサル)の電車、豆自動車トレーバス、スクーター、スケート、飛行塔、ビックリハウス)等を備えて皆様方の御来遊をお待ちしている。

ケーブル楽天地料金表	一般	高校生	中学生	小学生 幼稚園
1 人	100円	100円	80円	60円
30人~99人	95円	90円	75円	55円
100人以上	90円	85円	70円	50円

ケーブル線時刻表 8時15分~18時45分 (30分毎)



かもめ丸

〔別府を中心とした日帰り観光コース〕

風連鍾乳洞 深田石佛めぐり

風連鍾乳洞 大分縣大野郡川登村野津川右岸に在り。舊洞と新洞に分れ洞内白色無垢その壯麗無比なること實に言語に絶し地下の一大殿堂として我國鍾乳洞中の白眉。

洞内夏涼しく冬暖かく施設も完備して婦女子の探勝も容易であり天然記念物に指定されている。

舊洞 長さ400米、金世界、銀世界、龍宮城の三区に分れている、白銀に輝く、鍾乳石は天井より、よろらくの如く垂下し或は石筍の群衆となり千狀万態、造化の妙趣に唯々感歎驚異の外はない。

新洞 舊洞より東半軒、長さ70米、自然井戸をなし九米の梯子によつて下る。千体薬師、人待地藏、北斗七星、冥想閣等17の名所があり其の美観は舊洞に劣らない。入場料 大人 50円 小人 25円

深田石佛 大小60餘体の石佛は其の大部分は鷹崖佛で丘陵の大懸崖に羅列遺存し平安時代及鎌倉時代の作と謂はれる。その規模の大にして、作の優秀なる我が國石造美術界の最高峯として史蹟に指定されている。

行程 約117km (約30里) バス所要時間 6時間

由布院温泉 海拔480m、別府奥の院と稱され九州の軽井澤として絶好の避暑地である。

朝霧の大観、初夏並群れ交ふ美観。鯉鮒と混浴する金鱗湖畔の温泉は独得のもので幽雅な舊蹟、秀麗な風光と共に浴客を喜ばせている。泉質効能胃腸病、神経痛、皮膚病

行程 約23軒、唯一の交通機關として亀の井バスが一日六往復している。

所要時間 1時間半 料金 90円

耶馬溪めぐり 海内無双の奇勝として始めて耶馬溪を周く世に紹介したのは申す迄もなく一代の詩聖額山陽である。



青の洞門

耶馬溪は山國川流域總面積70余万里に亘る峽谷一帯の總稱で山陽の命名した耶馬溪より遙かに広く名勝並に天然記念物に指定されている。

紅葉谷 「この深耶馬溪は名にし負う、紅葉の名所なれば……

晩春、初夏の新緑と雪降る冬の雪景色共にそれぞれ美しく四季の名所である。」

鶴見地獄遊園地

交通 亀の井バス鶴見地獄下車 20円

入園料 大人 20円 小人 10円

学生 5円 その他団体割引あり

別府灣遊覧船

別府灣一周約一時間

大人 200円 小人 100円

一目八景 「此の溪谷の西、約7軒奥の谷筋一帯は耶馬十溪谷の一つである。」

裏耶馬溪 「此の溪谷の西、約7軒奥の谷筋一帯は耶馬十溪中の一つである。」

擲筆峯 「山陽先生が繪にも文字にも書き得ざる、絶景なりと感嘆し、筆を投げたと傳へられる筆投山である。」

羅漢寺 「あの岩窟の右の方、断崖上に高く立つ、その名も高い羅漢寺は、開基六百年前の曹洞宗の一名刹」

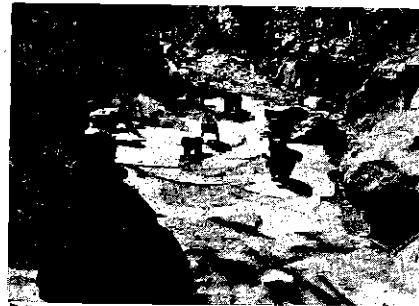
青の洞門 「碑海和尚が衆生済度のため、30年を費して掘り抜いたと云う、競秀峯直下のトンネルの跡である。……かの菊池寛の「恩讐の彼方」と云う小説で有名である。」

行程 約190km (49里) 所要時間 9時間

2名所旧蹟

一、別府八景

〔高崎山〕 別府灣頭に聳ゆるかぶと型の裨峰で大別府を象徴する代表的名山にして史蹟又豊富である。標高二千三百四十尺、山脚は直に海中に入り山頂は小高原をなし六百年の昔大友氏が武威を九州に振ひし高崎城の遺趾があり現に残存する烽火台は往時の史實を偲ぶものである。全山保安林にして山猿の禁獵区に指定され、珍鳥亦よく繁殖し、現在国立公園として指定せられ喜嬉として棲息する山猿の姿を見られる。浜脇東山より赤松峠を越えて登れば行程約一里にして山上の遠望は筆舌の及ばぬものがある。



高崎山自然動物園

〔鷗見ヶ丘〕 秀峰鷗見の裾野が海に續かんとする緩漫なる傾斜地帯で古來石垣原と呼ばれた所である。往昔慶長五年九月大友義統の軍三千餘騎と黒田孝高の軍八千餘騎とが秋風荒涼たる石垣原に對戦し激戦五日、屍山血河殺氣天地を震撼せしめた古戰場で當時の史實を偲ぶ幾多の古蹟がある。今は緑ヶ丘、雲雀ヶ等の住宅地となり、京都大学温泉火山研究所、九州大学温泉治療学研究所等の學術機關もある。

〔實相寺山〕 別府市街の西北一里、温泉地帯の中央に位し、山容恰も饅頭の如き翠嶺である。慶長五年中津城主黒田孝高が本陣を布き、大友義統の軍と力戦奮闘した古戰場である。頂上に稍々平らかに樹木森々として繁り別府灣の碧水と茫漠たる石垣原とを脚下に俯瞰し得る、附近には忠烈の名を千載に傳ふる吉弘公祀廟及古刹實相寺がある。

〔觀海寺、乙原高台〕 別府の西方に位する一帯の高台で別府市街を脚下に俯瞰し、洋々たる豊豫の大觀を滿眸する眺望は古來幾多の詩歌に詠ぜられている。

〔東公園〕 別府の南部、高崎山に連なる一帯の丘陵で金比羅山を中心としている。脚下に泉都の大市街を展望し、豊後湾の碧波に反映する國東半島を遠望し、西方はるか由布鶴見の秀峰を仰ぎ、實に山岳美、海洋美、市街美を一眸の中に収むる景勝地で四季の行樂に適し附近には古來百穴と稱する古墳及北西には河度鳴く河内谷と云ふ溪谷がある。



城下海岸

治遊ばされし地と傳へられる附近に柴の化石の出づるに依り柴石の名を生じた。流るる靈泉に身を浸せば滾々たる溪流の音は蟬の啼聲と和し、さながら人外境にあるを覺ゆる。春の櫻、秋の紅葉も亦一入美しい眺めである。

〔由布仙境〕 豊後富士の稱ある靈峰由布の西に位する一大盆地で海拔二千尺、風光明媚、温泉も亦豊富である。別府を距る西方約五里、堀田温泉を過ぎ、鳥居峠を越せば途中広漠たる城島原や神秘的な猪ノ瀬戸等を過ぎ、現地の仙境に一步を踏み入れば靜寂の天地、雄大の景観は泰西の名画を見る如く盛夏尙晩秋の爽涼を感じる恰好の避暑地である。鬱蒼たる巨木老杉、神さびた六所権現・清泉湧出す若宮八幡、美しい金鱗湖、銀鱗湖、とりわけ朝霧のかすむ由布は見逃せぬ美観である。

二、別府三勝

〔内山溪谷〕 別府の西方約二里、鶴見連峰と伽藍嶽と扇山の間に存在する一大溪谷で蜿蜒一里余懸崖數千尺にして壯觀を極めてゐる。背後の山勢は急峻にして千古斧鉞の大原始林に接し、春夏秋を通じ鶯の聲を聞く事が出来る。殊に晩秋の紅葉は美しい眺めである。溪流中に温泉の湧出する地がありキャンプに絶好の適地である。

〔志高湖〕 別府の西南方約二里、鳥居峠に近く、海拔二千尺の高原中に在り、周圍約一里、湖面鏡の如く美しい湖水である。由布、鶴見の連峰を湖面に浮べ、春若草の萌出する頃、湖畔に悠々として牡の牛群のつどひ風景は正に其のままの名画にして、浮世の黄塵を絶つ仙境である。夏はキャンプに冬はスケートに、一泊の清遊に好適の地である。

〔日出城下海岸〕 別府湾頭の景勝地で別府より約三里、慶長六年以來の木下氏の舊城趾である。城下一帯の海岸には幾百年の皇霜を経た巨木老松が聳立し、湾内の波靜かに帆影のここかしこに浮遊する状、わけても仲秋の月影映する金波の眺は一幅の畫を見る様である名物に城下蝶がある。又松屋寺の蘇鉄は日本一を以て誇るに足るもので現に天然記念物に指定されている。

〔柴石溪流〕 別府の西北約二里、柴石川の溪流に臨む幽邃境で往昔後朱雀天皇の皇太子親仁親王の御湯



高原ホテル

〔佛崎公園〕 別府より南へ一里半、大分へ通ずる國道の中途にある小丘陵で海邊には奇巖怪石磊々として相並び千古の緑を傳へる(鶴の松)がある。丘上には無数の櫻樹の鬱蒼として園内到的所風光に富み、一時の中に収むる別府湾一帯の景観は全く近郊無比である。花時に來遊する人多く、電車自動車の便がある。

三、其の他の名所舊蹟

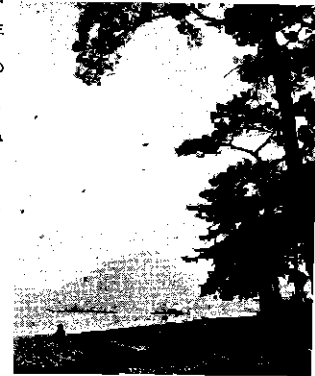
〔井上侯千辛萬苦の場〕 別府驛の西南五丁、市民館の北側にあり、元治元年九月故侯府が山口城外袖付橋にて俗論派の兇刃に撃れし後別府に亡命し、若松屋主人、松尾彦七及び俠客巖龜の仁侠に依り匿われ創痍を養う傍ら維新の大業を劃策した所である。明治四十四年五月侯は再び別府に來り、若松屋を訪ひ舊恩を謝し、四十七年前潛伏の室に入り往時を追憶して感慨に堪へず、直ちに筆を執つて「千辛萬苦の場」と書し之を楯間に掲げた由緒ある建物である

〔大佛〕 別府驛を距る西北十三丁の處にある釋迦像で高さ、八十尺、拇指の周圍六尺八寸東洋一の稱がある。

〔つつじ園〕 別府西方の郊外にあり、園内全部つつじを植え、閑雅にして幽邃、満開の際は美觀言語に絶する。

〔城島原高台〕 別府西方二里余、由布鶴見の兩山に抱かれた海拔二千尺の大高原で、空氣高燥にして眺望雄大である。

〔聖人ヶ濱〕 市の北方餅ヶ浜海岸の北部、海中に突出した小松林で往昔一遍上人がここに船をつつ初めて九州の地を踏んだ處と傳へられる風光明媚の地である。



聖人ヶ濱

四、史蹟

〔石垣原古戰場〕 觀海寺温泉、温研附近から寶相寺方面一帯がこの地で慶長五年大友義統の臣吉弘嘉兵衛尉統幸と黒田孝高の將井上九郎右衛門の兩軍が合戦した所現在の地獄回遊道路石垣原一帯が激戦の場所と云はれ附近の境川にはこれに因んで「古戰場橋」と呼ぶ橋が架せられている。黒田軍が陣を構へたと謂はれる寶相寺山は、將來の國際觀光都市のセンターとして色々の計画が立てられているこの寶相寺には遺蹟が多く大面塔、法面印塔等が舊寺内に殘存し、山下の三島神社には奇れがあり風光の地である。

〔鎮西八郎高朝の城趾〕 亀川と鉄輪温泉の中間に位し野田と稱する高地にある。久壽二年四月鎮西八郎高朝が遠見郡領主大神惟敏父子及窺内庄司貞繼等を伐ち從へ羽室山上に城を築き其の女達を質として弓術の練習をしていたと云ふ所で東西を塚の城、東北を羽室城と云ひ、弓掛松と云ふのが東北面の丘に残つている。城地高燥眺望絶佳守るに易く攻るに難き要害である。地内に御靈社といふのがある社殿の背後に十二基の五輪塔がある、内二基(鎌倉時代嘉元四年正月二十一日、吉野時代暦應二年六月二十八日)在銘俗は爲朝十二妃の墓だと傳へている。

〔追の横穴古墳〕 浜脇の田ノ口にあり、吉備山の東北の中腹廻り逸路の一角追の部落にある突出した岬處を宇土と云ひ東西の岬腹に各々三個の横穴古墳があつて形状規模等金毘羅山の横穴古墳群に同じである。宇土は洞穴を意味する古語である。

〔姫山メンヒル〕 亀川野田区の姫山の北面山中にある。此の巨石文化の遺蹟は二千五百年以前のものだと云はれている。周囲は鬱蒼たる原始林にかこまれている、この石は神代紀の千引の整境に等しいもので古來同所は神靈の地域と崇められている。

〔鬼の岩窟古墳〕 北石垣地区にあり、景行天皇紀に「天皇速見に到る女あり速津姫と曰ひ、一處の長となす天皇の軍怨を自ら迎へ奉る語に依りて言へらく茲の山に大石窟に住す一を青と曰ひ二を白と謂ふ云々」とあり、又豊後國志には「鼠窟は今北石垣村にあり、俗に鬼の岩屋と謂ふ蓋し土蜘蛛賊の巢居する所なり云々」とある我が國考古学泰斗故鳥居龍藏博士は九州稀有の円形大古墳であると考證した。古墳の高さ十八尺東西六十尺南北五十尺入口より最奥まで三十六尺五寸玄室の高さ十尺五寸三室より成つている亦西方三十間離れて石廊式西側古墳があり、二室より成つている。

〔鮎返の瀧六枚屏風岩〕 吉備山の西腹にあり庄内道に面す。瀧は落下する事数十尺飛瀑は溪谷を経て朝見川へそそいでいる、是より鮎返の名がある。

瀧より登る事二百米溪谷の断崖左右に迫り山麓山伐たる數十丈の大巖石に宛も六曲の屏風を展げた様に屹立して奇觀であるので別府耶馬の名があり、附近には秋初松茸の産地として有名である。

〔乙原の瀧〕 市内乙原区にあり、飛瀧断崖絶壁に懸り落下する事百八十尺瀑音轟々と溪間に響くので附近を鏡音原とも云つた。水源は立石、小麗等の山溪に発し、大巖石に堰かれ二段二條に枝れて落下その壯觀は遠く海上より望むことが出来る、上段を雌瀧下段を雄瀧と云ひ、巖頭に瀧神の石祠あるが参拜者の爲鐵鎖が設けてある、昔は英彦山の山伏の修験場であつたといふ、岬角の怪巖を天狗岩と稱し文武天皇の守役の行者並に仁聞菩薩法蓮和尚等の修験だともいふ、又瀧壺は雌雄の大蛇が棲み夜々乙原の里に出て人畜及田畑を荒すので里民が國主に訴へた處、大友氏時の屈強の武士を派遣したが之を滅する能はず鎌倉より下つた昌華祐公和尚が法華經を誦讀し念被觀音力を以て遂に之を退治し五戰成就萬民快樂の本懐を達したので國主氏時は祐公和尚の徳を敬ひ古祥寺を創立したとの説がある。

〔お土産品〕 竹細工品、黄湯細工、湯の花、さばん漬、ゆづねり、温泉おこし、しぼり染、藍胎漆器、針、温泉製菓等が当市の特産品で、品質も年々良くなつて、主として楠銀天南、銀座街、流川通り、中浜筋、彌生町各所の商店街で販賣されている。

〔観光案内所〕 御來別前、旅館、遊覧コース等申出であれば下記の処で御選定の相談に應じています

別府市役所観光局観光課 電話代表 1.610番
 別府市観光協会 ” ”
 同観光案内所(驛前) 電話 2.275番

<p>流行歌 別府エレジー</p> <p>坂口 淳作詞 吉田 正作曲 小沢直興志 編曲</p> <p>一、湯の香消えても 思ひは残る 今宵一と夜の うちす情 流す 流すギターも 哀しぢやないか 月も泣いてる 涙水灘</p> <p>二、旅で結んだ はかない恋は 風にほろりと 散る種 別れ 別れ切ない 手をとりあへば 佐がの岬の 灯もうるむ</p> <p>三、たごえこのま、別れたとて なんて忘りよか 君のこと 別府 別府恋して 旅路の裡で 流すギターは さみしかる</p> <p>(制作担当 磯部健雄)</p>	<p>流行歌 湯の香小唄</p> <p>坂口 淳作詞 吉田 正作曲 小沢直興志 編曲</p> <p>一、別府よいとこ 湯の香に明けて 夢の名残りか 白いうなじに サノセ とけてからまる さけてからまる 洗ひ釜 サツテネ (彌子言葉以下同じ)</p> <p>二、浜の砂湯で 見染めた二人 いつか一と夜の あつち情で とけてはすかし</p> <p>三、月の田ころか 四極の山は 淡い瀧の香に 暮れてほのぼの ネオン花咲く 名残川 ネオン花咲く</p> <p>四、恋の榎橋 出船のドラに 投げたテープも 切れて悲しや 泣いて別れる 人もある</p> <p>五、夜の眺めは 遊覧船で 夢は七色 好きなお方と 二人連れなら</p> <p>六、地獄めぐりは 乗合バスで 君と寄り添う 窓にたのしく 豊後富士さへ</p> <p>七、春は櫻よ 秋なら紅葉 恋のケージアル のぼりつめれば 浮世はなれた 樂天地</p> <p>八、扇山から 別府を見れば 湯もや朝もや 沖の白帆を 架めて真紅な 陽がのぼる</p> <p>(制作担当 磯部健雄)</p>
<p>別府ブルース</p> <p>磯部 良一 作曲 洗 作詞</p> <p>一、戀の七色 テープが切れて 船は出て行く 湯の街港 波止場しぐれてまつげがぬれて あそこホテルの カーテン越しに すり泣くよな サキソホン</p> <p>二、君は今頃 多度津の沖か 又の逢ふ日が つれない月日 一人松原 柳のかけで ぬれるいすみの しぶきのそばで 乙女襟の 散る夕べ</p> <p>三、思い浮べて 流れてゆれて 流川町 サロンのすみで 君がのこした やさし言葉 書いて消しては つくため息の 港娘に夜が更ける</p>	<p>別府流し</p> <p>友永 豊 作詞 平川 英夫 編曲</p> <p>一、郷土の名物 流しは牙える ヨイヤナ コレワイセ 月もヨイヤサで ヤンレ踊り出す ヤートコセーノ ヨイヤサ ハレワイセ コレワイセ ナンデモセー(以下断り同じ)</p> <p>二、手振り品よい 姉さんかむり ちらりえくぼが 投げる謎</p> <p>三、旅業浮かれりや 月様笑ふ 四極山まんまる 腰ていやる</p> <p>四、別府名どころ 色よし所 瀬戸のかもめが 文づかい</p>

別府音頭

西条八十作詞
中山晋平作曲

(一) 別府湯の街ヨサコリヤサイサイ
別府湯の町湯川に湯瀧アリヤサ
一々夜千兩のヨサコリヤサイサイ
一と夜千兩のお湯が湧く

ハイノ~~~~ヨイシヨ~~~~ナ
ヨイシヨ~~~~ハイノ~~~~ハイ
(以下同じ)

(二) 虹は由布から縁は湯から
虹は由布から縁は湯から
戀しお方はヨサコリヤサイサイ
戀しお方は瀬戸越えて

(三) 誰に似たヤサコリヤサイサイ
誰に似たヤサコリヤサイサイ
すね見ヤサコリヤサイサイ
すねて見せたりなびいたり

(四) 浜の砂場でヨサコリヤサイサイ
浜の砂湯で細日傘させば
沖の白帆がヨサコリヤサイサイ
沖の白帆が寄つて来る

(五) 音頭とれ~~~~聲はりあげて
音頭とれ~~~~聲はりあげて
由布の高嶺ヨサコリヤサイサイ
由布の高嶺にとどくほど

温泉おどり

西条八十選詩
大村能章作曲

(一) おぼろ湯煙り紫そめて
ハアー 別府よいとこ山と海
お湯の情に抱かれて暮しや
いつも春風 夢ごこち
トコトロトサ 夢ごこち

(二) 結ぶ縁を砂湯が招く
ハアー 君と北浜仲の良さ
ままよ浮名はかもめの唄に
沖の白帆も 波まかせ
トコトロトサ 波まかせ

(三) 行こうか八景巡るか地獄
ハアー ころ梅樂ハスのうへ
うれし揺られてより添ふ笑顔
豊後富士さへ 日本晴
トコトロトサ 日本晴

(四) うらら旅衆も浮かれて踊る
ハアー 温泉まつりの春景色
あの娘齢ころ 櫻は見ごろ
ほろり緋の上に 花がちらる
トコトロトサ 花がちらる

瀬戸の島々

山下彬磨作詩
松平信博編曲

(一) 瀬戸の島々ヨ 浪々こえて
豊後へつぶへはるくと
豊後別府は東洋のナポリ
今じや世界の湯のみやこ

(二) 花に若葉にヨ 鶴見丘ヨ
波に月浮くのがはま
浜の彼方はアリア日出の城
磯にカレイの住むところ

(三) 地獄めぐりてヨ 石垣原ヨ
ここは大友古戦場
戦場とほれば夏草しげる
今もつわもの夢のやど

(四) 鶴見蔵しにヨ テープはなびく
峰はしぐれて招く由布
由布よくもるな鶴見よさらば
一と夜波路じやまた逢へる

別府行進曲

西条八十作詩
江口夜時作曲

(一) 別府通ひの 汽船のうへで
ちらり見交す 顔と顔
あなたも アベックノ
わたしも アベックノ
ホネームーンの~~~~青い空

(二) 派手なバラッル 散る花うけて
地獄めぐりの 麗かさ
あなたも ドライヴノ
わたしも ドライヴノ
街は湯の川~~~~湯のながれ

(三) 瀬戸の礎 そよそよ夜風
なぜか嬉しい 対浴衣
あなたも スマートノ
わたしも スマートノ
ダンスしませうか~~~~月の下

(四) 浜の砂湯で ほのぼの二人
夢みごころの 眞帆片帆
あなたも 永久ノ
わたしも 永久ノ
別府湯どころ~~~~縁どころ

音頭とれ／響はりあげて
由布の高嶺ニヨサコリヤサイサイ
由布の高嶺にとどくほど

あの娘飾ごる 櫻は見ごる
ほろり繪の上に 花がちる
トコトトサ 花がちる

由布よくもるな鶴見よさらば
一と夜波路じやまた逢へる

別府湯どころ／縁どころ
わたしも 永久ノ

附 録

- 1 縣 議 会 議 員
- 2 官 公 署、其 の 他
- 3 新聞支局印刷物發行通信所
- 4 文 化 團 体
- 5 政 治 團 体
- 6 各 種 組 合 員
- 7 自 治 委 員
- 8 民 生 委 員

1. 県議会議員

昭和28年12月1日現在

氏名	生年月日	職 務	電 話 番 号	住 所
西田 龍太郎	明治31. 9. 17	會社役員	2 3	流川
池田 敬	明治19. 5. 1	會社役員	1 5 8	浜町
加藤 柔郎	大正 8. 10. 26	大學講師	1. 8 4 0	弓ヶ浜
佐藤 文生	大正 7. 2. 1	會社重役	1. 7 5 8次	盛光寺

2. 官公署其他

昭和28年12月1日現在

名 称	職 名	代 表 者 氏 名	電 話 番 号	位 置
別府市役所	市長	脇 鉄 一	1 610~1. 615	大字別府100番地の1
別府市公民館	館長	阿部 紘平	642	上田ノ湯
別府市美術館	館長	芹田 保衛	〃	〃
別府市図書館	館長	芹田 保衛	〃	〃
別府市廻輪場	課長	藤内 辰藏	8. 211. 3. 212	亀川平田
別府市亀川出張所	所長	高橋 熊寛	8. 001	亀川 下
〃 朝日	〃	荒金 正志	8. 321	鉄 輪
別府市警察署	署長	淺野 徳義	67. 191	御成町
別府市消防署	署長	林 秀太郎	1. 570	南町 下
別府市立工務研究所	所長	脇 鉄 一	342	立花通り
大分縣別府縣稅事務所	所長	石川 正高	1. 778	浜 脇
大分縣産業獎勵館	館長	安藤 忠次	1. 623	浜 脇
大分縣別府工務指導所	所長	古代 幸三	1. 482	秋葉通り1丁目
大分縣別府土木事務所	所長	稻 妻 眞	8. 208	亀川浜田
大分縣別府勞政事務所	所長	阿部 礼	346	中浜通り1丁目
大分縣別府外務管理事務所	所長	池 田 駿 三	51	上 原
別府公共職業安定所	所長	小原 由岐雄	192	曙通り2丁目
大分縣砂防工事事務所	所長	小石 曾登雄	1. 578	庄園町
大分縣立別府病院	院長	五井 輝賢	260	八幡區
大分縣立別府保健所	所長	高橋 了介	1. 200	田の湯
大分縣農民療養所	所長	神田 榮治	84	莊園町
縣立教員保健所	所長	熊野 御堂 繁	1. 255	〃
別府測信診療所	所長	岡本 芳生	1. 400	上田の湯
九州大學温泉治療學研究所	所長	八田 秋	1. 213	莊園町
國立別府病院	院長	高安 慎一	8. 062	亀川内蔵
國立別府病院田ノ湯病棟	病棟長	阿久津 敏	258	田の湯
國立別府温泉病院	院長	氏 家 兼	2. 250	緑ヶ丘
國立療養所別府莊	院長	島 湯 恒 雄	460	浜 脇
國立療養所光の園	所長	南 壽	1. 518	莊園町
國立療養所石垣原病院	院長	甲 嶋 俊 郎	835	〃
別府電話局	局長	墨 島 伸 雄	1. 800	南町 下
別府電報局	局長	三 宮 一	1. 750	北 町
別府郵便局	局長	大 塚 延 雄	700	北 町
浜 脇	〃	永 田 欣 也	1. 551	上ノ町
松 原	〃	甲 斐 隼 之 助	1. 552	松 原

富士見郵便局	局長	村田 潔	1,553	富士見通り四丁目
滝川	局長	滝 湯 武 臣	1,554	滝川9丁目
雨町	局長	河 村 鶴 一	1,555	南 町
亀川	局長	藤 内 寛 吉	8,042	亀川下
鉄 輪	局長	佐 原 晃	8,342	鉄 輪
親海寺	局長	佐 藤 保 雄	1,556	親 海 寺
別府特別電話局	局長	伊 東 三 夫	1,190	野 口 原
大分縣別府簡易裁判所	所長	米 田 太 市	519	不老泉通1丁目
別府調達局事務所	所長	古 長 豊 利	1,677	原 區
門司税關別府出張所	所長	後 藤 三 生	8,203	北 別 府
別府區検察庁	副検事	山 元 一 雄	311	不老泉通1丁目
大分地方方法務局別府出張所	所長	堀 江 一 等	151	北 末 廣
別府税務署	署長	吉 田 健 次	2,110	滝川11丁目
農林省大分統計調査事務所別府出張所	所長	岡 田 一	1,852	西 遠 田
京都大學理學部附屬火山温泉研究所別府研究所	所長	長 谷 川 万 吉	713	野 口 原
農林省大分食糧事務所別府出張所	所長	衛 藤 州 生	1,728	立花通り2丁目
運輸省第四港灣建設局別府港工事務所	所長	福 内 大 正	2,450	南 石 垣
別府 駅	駅長	相 澤 隆	236,193	北 町
東 別 府 駅	駅長	橋 本 敷 夫	442	東 町
亀 川 駅	駅長	青 柳 義 之	8,016	亀川浜田町
別府市観光協會	協會長	岡 本 忠 天	1,610	大字別府100番地の1
別府商工會議所	會 頭	西 田 熊 太 郎	1,100	御 成 町
日本專賣公社別府出張所	所長	池 田 作 郎	1,210	富士見通2丁目
日本交通公社別府案内所	所長	菅 永 千 秋	2,480	北 浜

3. 新聞支局、印刷物発行通信所

昭和29年1月10日現在

名	称	代表者氏名	所在地	発行種別	電 話	発行年月日
毎日新聞	別府通信部	天野次夫	不老町	日刊	1,105	大正11年10月23日
朝日新聞	別府支局	森部善七	不老町	日刊	76 471	大正14年3月28日
産業経済新聞	別府通信部	松浦邦天	上田ノ湯	日刊	1,233	昭和8年1月1日
大分合同新聞	別府支社	佐藤太有	向浜上町	日刊	295 1,621	昭和17年4月3日
西日本新聞	別府支局	柏田正文	太呂湯町	日刊	1,406	昭和17年4月18日
新九州新聞	別府通信部	八嶋次男	浜町商工會議所内	日刊	1,100 1,220	昭和25年9月1日
大分新聞	別府總局	榎 藤 馨	橋本町1丁目	日刊	2,003	昭和15年12月3日
讀賣新聞	別府通信部	梶本俊良	西 町	日刊	—	昭和24年3月10日
大分放送	支局別府通信部	有吉晴雄	市役所肥後寄	放送	1,610	昭和16年6月2日
大分縣經濟新聞	別府支局	南 金 輔	北野口町	旬刊	1,745	昭和20年12月30日
西日本商工新聞	社	梅村 彰	向浜下町	旬刊	1,465次	昭和21年5月1日
別府タイムス	社	田井正三	南 區	旬刊	1,146次	昭和21年12月15日
商 報	タイムス	山 藤 智 誠	松原町8組	旬刊	1,751	昭和22年3月10日
泉都	べつ	渡 谷 銀 藏	上田ノ湯町	旬刊	1,853	昭和22年3月22日
東九州新聞	社	有田耕也	北末廣町	旬刊	1,181	昭和22年5月20日
産 業	新聞	山 本 耕 平	上田ノ湯町	月刊	—	昭和22年9月10日
鉄道觀光新聞	社	神崎豊星	上原町5組	旬刊	1,978次	昭和22年7月1日

九州觀光タイムス	社	仁科昌男	北浜電停前	旬刊	73	昭和23年6月1日
八雲短歌	社	田吹繁子	錦 町	月刊	525次	昭和13年7月1日
済美タイムス	別府支局	都留政教	朝 見	旬刊	—	昭和21年11月20日
關門北九州別府通信部		遠藤幸隆	向 浜 下	日刊	—	昭和22年6月2日
國鉄新報	社	時元長一郎	西 行 町	旬刊	—	昭和21年3月7日
西日本商工時報		築城 東	行 合 町	月刊	—	昭和24年4月1日
觀光別府	社	市原且久	上的ヶ浜	月刊	—	昭和25年1月10日
二疊の文化	社	西 香 山	亀川四ノ湯	月刊	—	昭和22年11月1日
湯けむり	社	松本 登	鹿 光 寺	月刊	—	昭和26年5月1日
大分讀賣新聞	社	戎 算 一	西立田町	旬刊	—	昭和25年5月5日
泉都タイムス	社	鶴 素 文	朝 見	旬刊	—	昭和25年12月25日
九州産業經濟新聞	社	岩田正樹	亀川濱田	旬刊	—	昭和25年1月1日
國際觀光新聞	社	小野良太郎	東 伊 町	旬刊	—	昭和27年2月1日
大分報知	社	矢木武天	永石通七	月刊	—	昭和27年11月10日
觀光九州路		松井良起	海 門 寺	月刊	—	昭和28年10月1日
觀光時事通信		瀬戸山鉄太郎	親 海 寺	旬刊	1074	昭和28年4月1日
新別府新聞	社	松岡 實	秋 葉 通	週刊	—	昭和29年1月10日

4. 文化団体

昭和23年12月1日現在

名	称	事務所所在地	役員氏名	名	称	事務所所在地	役員氏名
亀川文化協會		亀川下72の1	宮崎 欽彌	別府模製飛行協會		梅 園 町	村上 務
別府エスプラント會		中 浜 通り	清水 源八	別府大分商刺文化組合		山田區2班	筒井 恰
八雲短歌會		錦町田吹方	後藤 春枝	こまどりグループ		青 山 町	菊地與志雄
大分縣歌人協會		—	深口 龍	佛教文化協會		上 原 區	首藤 戒定
大分縣女流歌會		—	坂巻 節子	日本希望文化協會		—	馬見塚義雄
別府史談會		圖書館内	若田 保衛	別府市兒童文化協會		圖書館内	石橋 英雄
池ノ坊別府支部		山 田 區	分藤 義助	新 豊 文 化 會		上 原 區	上方 澄
別府市華道連盟		上田ノ湯	有田 玄	別府パレット會		滝川通り四	中條 正一
井本明精會		北野口	矢野 謙雄	映画藝術同好會		松原通り	安達 昭一

5. 政治団体

昭和28年12月1日現在

名	称	結成年月日	所在地	代表者氏名	名	称	結成年月日	所在地	代表者氏名
自由党	別府支部	昭26.1.14	仲 町	西田龍太郎	殉國青年隊	別府支部	昭24.11.30	浜 區	小林 健
改進黨	別府支部	昭27.5.8	秋 葉	安部 雅也	大分縣反共連盟		昭23.8.24	桶 町	尾無安右衛門
日本社會黨	別府支部	昭23.9	滝 川	内藤 慎三	別府市政革新同志會		昭27.6.6	滝 川	江藤 隆夫
日本共產党	別府支部	昭26.10.13	北野口	永松 道夫	愛 市 青 年 連 盟		昭27.6.7	桶 浜	渡邊 晴州
別府市政刷新連盟		昭27.4.25	秋 葉	牧 福一	白 菊 會		昭28.11.30	南 區	古賀 一郎

6. 各種組合

昭和28年12月1日現在

名	称	代表者氏名	所在地	電話	名	称	代表者氏名	所在地	電話
別府市農協同組合		佐藤 清人	曙通り	1,483	大分縣助産婦部會別府支部	河野 シメ	秋葉		
龜川		高橋 作市	龜川浜田	0,216	別府リンク協同組合	八尾字之助	錦		2,151次
朝日		矢田 光天	鉄輪	8,341	別府理容師會	加藤 正齊	不老		
石垣		彌田 五郎	南石垣	601	別府美容協會	藤村ユリ子	中浜		
別府蒸業協同組合		岩尾 斎藏	泉町	1,738	別府美容師連盟	安東 未子	浜町		677
龜川		松村 三郎	龜川古市	8,049	別府遊戯場組合	森田忠太郎	楠本町		
龜川北部		寺山 耕一	中	8,218	別府興業組合	八坂眞兵衛	日ノ出		847
別府小賣商業協同組合		西尾 隆	流川	224	別府商店街協同組合	青木 光次	銀座		1,029次
別府小間物化粧品 石鹼小賣商組合		生駒 一夫	銀座		中央市場	齊藤一三三	梅園		440
別府廢物小賣商組合		伊吹 源吉	日ノ出	639	標準市場	駒田 団二	錦		2,024
別府織雜協同組合		近藤 健一	仲町	455	松原市場	藥山弘三郎	松原		
別府專門店會		近藤 健一	仲町	455	流川市場	小林 廣二	仲町		
別府百貨運盟		西尾 隆	流川	224		武井 嘉三	流川		548
別府竹製品商業協同組合		諸賀 彌十	秋葉	914	別府釣道具商組合	朝來野島吉	浜町		
別府竹製品工業協同組合		岩尾 直	秋葉		別府質屋組合	野田 幹雄	秋葉		
別府医薬品商業組合		益田 學	錦	2,080	大分縣不動産商事組合	大塚 熊喜	流川		1,629
別府竹製玩具工業組合		得丸 積	松原		別府木材商組合	淺井傳二郎	南末廣		1,804
別府時計眼鏡商組合		小田原政爾	松原		別府家具組合	田村今朝季	中		623次
別府寫真商組合		久保田 要	港町	515	大分縣建設協會別府支部	大石 哲也	浜町		1,100
別府陶磁器商組合		野口 喜一	羽衣	2,325	別府日輪車物品運送委員會	中川 清市	北町		1,227
別府紙文具商組合		森澤 光雄	楠町	751	大分縣別府地区社修理組合	原田 次郎	下野口		1,297次
別府印刷業組合		梶原 君三	南町	1,016	別府菓子商組合	宮崎 益雄	秋葉		
別府和傘工業組合		釘宮 隆雄	南下		別府果實商組合	安部 定雄	浜町		573
別府電氣工業組合		金尾 留藏	不老	1,381	別府藝妓組合	木村 男也	仲町		1,310
別府ラジオ商組合		山田 周見	彌生町	632	別府藝妓組合	中村藤太郎	中		
別府自轉車商組合		安部 博	浜町	1,829		目黒 あき	中		1,019
別府青果商組合		富山 政市	泉町	1,360	別府地獄組合	高橋 万吉	鉄輪		8,305
大分縣冷業工業組合 別府支部		西田熊太郎	櫻町	23	龜川旅館組合	田中 忠	龜川		
別府鮮魚商組合		芳藤 八郎	御成町	139	新正龜川旅館組合	手島 藤夫	中		8,174
別府豆腐商組合		阿部 猪七	秋葉	1,934	鐵輪旅館組合	原 良三	鉄輪		8,358
大分縣食肉商業協同組合		山崎 春生	銀座	141	觀海寺旅館組合	吉武 義人	觀海寺		339
大分縣清浄工業協同組合		本山 秀雄	御成町	423	明琴旅館組合	緒方 英	明琴		8,328
別府酒類販賣組合		村井 操市	秋葉	956	海門寺市場	齊藤 生知	海門寺		
大分縣酒類協同組合 別府營業所		水江 保男	浜町	477	竹瓦市場	佐藤 武夫	竹瓦		
別府醫師會		畑 義雄	流川	102	別府旅館組合	佐藤 雅治	楠浜		401
別府齒科醫師會		酒井 修一	港町	421	別府料亭組合	森川 泰慶	不老		360
別府鍼灸按摩師會		今井 飯	南区		別府食安商業協同組合	津田 八郎	本町		546
大分縣米穀協同組合		星野 敷夫	松原	911	別府旅館從業員組合	板東 茂	駅前		2,293
別府電療術師會		中村嘉那伊	東町		別府洋食店組合	新宅 喜一	秋葉		473

別府喫茶店組合	井口 春吉	銀座街	1,684	尾花町通り會	前田 松夫	行合	892
別府貸座組合	阿部 新梅園		1,128	銀座繁榮會	井口 春吉	銀座街	1,684
別府入湯宿泊業組合	木村 男也	仲町	1,310	別府衣料品協同組合	健倉周太郎	不老	
別府ダンスホール組合	西田熊太郎	流川	869	北町繁榮會	松野 直	北町	941
別府ABC組合			869	別府景都街	村上 貞天	羽衣	1,818
楠本町通り會	近藤 健一	楠本町	615	濱陽商店街	渡部 昌志	新町	2,021
中浜通り會	江藤 直次	中浜	534	新天地食堂街	松田 喜一	海門寺	
流川通り會	西尾 博	流川	224	別府土産品協會	河村 友吉	別府市所 高橋町内	1,610
北町製通り會	津田 八郎	北町		別府自家用自動車組合	紀井 進	浜町	1,100
別府竹製品販賣協同組合	河村 茂	楠町	1,209	日豊輸出竹製品協同組合	小泉 吉三	東町	164
藤田竹製品協同組合	佐藤 武夫	中浜	514	南豊竹製工協同組合	友永 彌市	八幡	1,682次
別府竹製品工業協同組合	大野 彰一	原区		大分縣主食卸商協同組合	草本 利雄	北町	78
彌生町通り會	玉井 政美	彌生町	1,444				

7. 自治委員

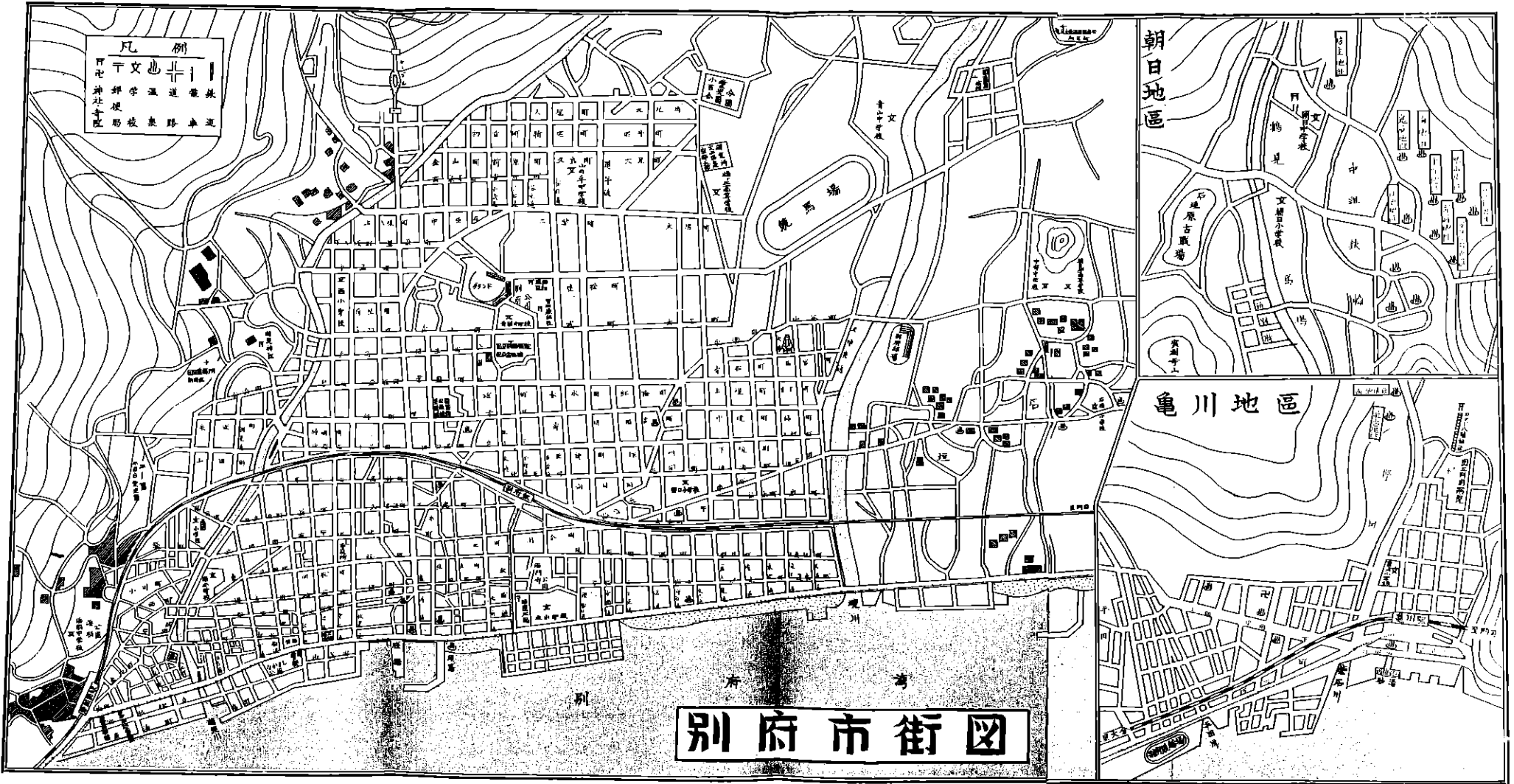
昭和29年5月1日現在

町名	氏名	町名	氏名	町名	氏名	町名	氏名
東野口	河島 守義	浜町	三上 信賢	此花	増山 藤一郎	春木	伊藤 若松
南野口	羽田野 義夫	羽衣	淺部 武雄	錦	山本 哲次郎	中須賀	岩本 鶴夫
下野口	矢野 道雄	北末廣	中道 定介	乙原	浜崎 和枝	南石垣	荒金 利喜太
富士見	矢野 崇雄	南區	玉田 榮太郎	原	大野 彰一	若草	土居 作二郎
行合	山崎 正一	南下	岩尾 權平	上朝見	糸 永辰雄	吉弘	三浦 累三
北町	殿成 久天	南町	河村 万平	龍光寺	工藤 強喜	實相寺	松川 庄作
天満町	新田 百一	中浜	江藤 直次	榮町	松田 長四郎	小倉	安部 鐵夫
上野口	西本 順一郎	秋葉	野田 幹雄	八幡	尾林 佳	竹ノ内	荒金 昭二
大和	藤本 長藏	上ノ町	友永 剛平	本町	堀 七衛	新別府	新邊 林一
楠浜	野田 敏彦	赤松	浜崎 鈴天	不老	森川 金藏	鳩見	後藤 繁造
流川	林 庄吉	西町	佐々木 稔	西野口	安部 英吉	火賀	後藤 武重
中町	田 夢光	山田	分藤 政市	田ノ湯	草野 貞雄	鉄輪	欠
的ヶ濱	藤原 虎之助	南末廣	松井 鶴雄	上田ノ湯	山内 春吉	北鉄輪	椎木 清
上のヶ濱	玉田 初平	魚菜	高橋 豊之進	上原	村上 嘉市	馬場	吉本 末彦
港町	河合 式太郎	浦田	古澤 又一郎	龜上	手島 康夫	大畑	荒金 俊平
弓ヶ濱	河村 担吾	東町	加藤 榮治	龜中	宮 森源吾	明琴	平野 伍一
梅園	佐藤 衛	河内	手島 野介	龜下	堀下 八郎	莊園	太田 止
北浜	石井 嘉俊	鳥越	石井 森吳	浜田	伊東 鶴孝	扇山	家田 政雄
海門寺	二宮 威徳	柳	欠	古市	高橋 作市	南立石	相部 吾助
老松	久間 敏弘	西運田	梶原 幸造	平田	荒金 男	二甲	斐 豊喜
日ノ出	井上 親雄	東運田	荒金 信市	四ノ湯	荒金 武八	堀田	荒金 吉郎
楠町	近藤 健一	東仲	阿部 信明	内池	上原 虎太	東山	阿部 勝龜
住吉	久保 純繁	新町	角田 日吉	野田	竹下 傳	二大野	彦馬
松原	藤 富典	田ノ口	近藤 サヲ	湯山	草牧 來良	杖廻	大野 卓勝
向原	無 万藏	山家	佐藤 右近	上人	小林 末吉	山ノ口	矢野 亥三
向	下 藤原 一	朝見	手島 市郎	南須賀	佐藤 輝男	城島	田原 春吉

8. 民生委員

昭和28年12月15日現在

町名	氏名	町名	氏名	町名	氏名
本町	柳七衛	南區二	今村カナエ	南石垣	矢田保
不老町	明石泰良	南下野	村直次	吉弘	宮本彦吉
田ノ湯	大塚將登	中浜	豊島森大	寶相寺	板井録市
上田ノ湯	檜原満雄	羽衣	安藤晴齋	北石垣	矢多豊水
上原	末松利治	南町	梶原君三	上人	平松實
西野口	吉野秀夫	秋葉	野田幹雄	石垣全校區	上野サク
谷校區	堀水みつ子	北末廣	有田耕也	平田	塚大見
上野口	安部佐一	南全校區	工藤馬	四ノ湯	高橋律雄
天満	久恒百應	細	大津留雄一	亀川上	宮内政彦
東野口	友永辰平	此ノ花	上野光榮	亀川中	田中慶作
南野口	加藤八五郎	榮	黒田清次郎	亀川下	加藤寛
下野口	片野貞老	眞光寺	中河原チエ子	古市	藤内隆止
北町	高橋一	上朝見	大野一郎	浜田	佐藤庄一
行合町	又野勝	朝見	河村無我	内籠	高橋哲夫
大和	亀川秀次郎	乙原	浜野亨	野田	關藤壽夫
富士見	住原得雄	原	大野鶴雄	湯山	恒松助之丞
野口全校區	工藤壽香	八幡	石松正木	亀川全校區	松村孝子
弓ヶ浜	指原黒衛門	西全校區	山本久子	北鉄崎	矢野光夫
的ヶ浜	藤原虎之助	山田	青木貞吾	明鑿	加藤馨
上のヶ浜	中妻新作	西葦田	野副春三	鉄崎	丸山四郎
老松	安部サヲコ	西町	河越利一郎	火置	近藤喜一
海門寺	長山憲弘	上ノ町	糸永今日平	新別府	久末吉次
日ノ出	末友清	新町	角田日吉	馬場	西山大二
北泊	中野作一	魚養	入江文雄	筒見	猪頭理市
梅園	佐藤衛	東仲町	阿部信明	大畑	荒金俊平
流川	藤岡秀雄	東町	永井壽一郎	竹ノ内	桑原貞夫
桐町	佐藤喜代秀	山家	東保數雄	小倉	大野弘
楠濱	後藤義彦	浦田	佐藤高藏	朝日全校區	安波サキ
仲町	田邊みつの	田ノ口	佐藤高藏	莊園	太田治
港町	河合藤七	河内	佐藤幸三郎	原山	倉田晴一
北全校區	平野富貴子	柳	大野喜衛門	南立石一	相部吾助
濱町	竹本顯馬	鳥越	葛城倉一	南立石二	村上有仙
松原	久保好雄	赤松	葛城倉一	南立石全校區	林松江
向浜上	聲万親	栗選田	森與之吉	東山一	田中久喜
向浜下	藤原金一	南末廣	仲元寺久男	山ノ口	小野清彦
住吉	波多野泰一郎	蓮田全校區	糸永スギ	城島	田原亀翁
南區一	荒金兼薫	若草	土居作治郎	東山二	大野豊吉
				枝郷	大野朴



凡例

丁字	文	池	十	一
丁字	文	池	十	一
丁字	文	池	十	一
丁字	文	池	十	一

丁字 文 池 十 一
 丁字 文 池 十 一
 丁字 文 池 十 一
 丁字 文 池 十 一

別府市街図

朝日地区

亀川地区

8. 民生委員

町名	氏
本町	堀
不老町	明
田ノ湯	大
上田ノ湯	指
上原	末
西野口	吉
全校區	堀
上野口	安
天滿	久
東野口	友
兩野口	加
下野口	片
北町	高
行合町	又
大和	龜
富士見	住
野口全校區	工
弓ヶ浜	指
的ヶ浜	藤
上のヶ浜	中
老松	安
海門寺	長
日ノ出	末
北濱	中
梅園	佐
流川	藤
楠町	佐
楠濱	後
仲町	田
港町	河
北全校區	平
濱町	竹
松原	久
向浜上	舞
向浜下	福
住吉	波
南區一	荒

別府市勢要覽

昭和29年7月31日印刷
昭和29年4月1日發行

【非賣品】

編集者 別府市役所市長室調査係

印刷者 梶原君三

印刷所 東洋印刷社

發行所 別府市役所